Canon

JPN

操作ガイド（総合編）

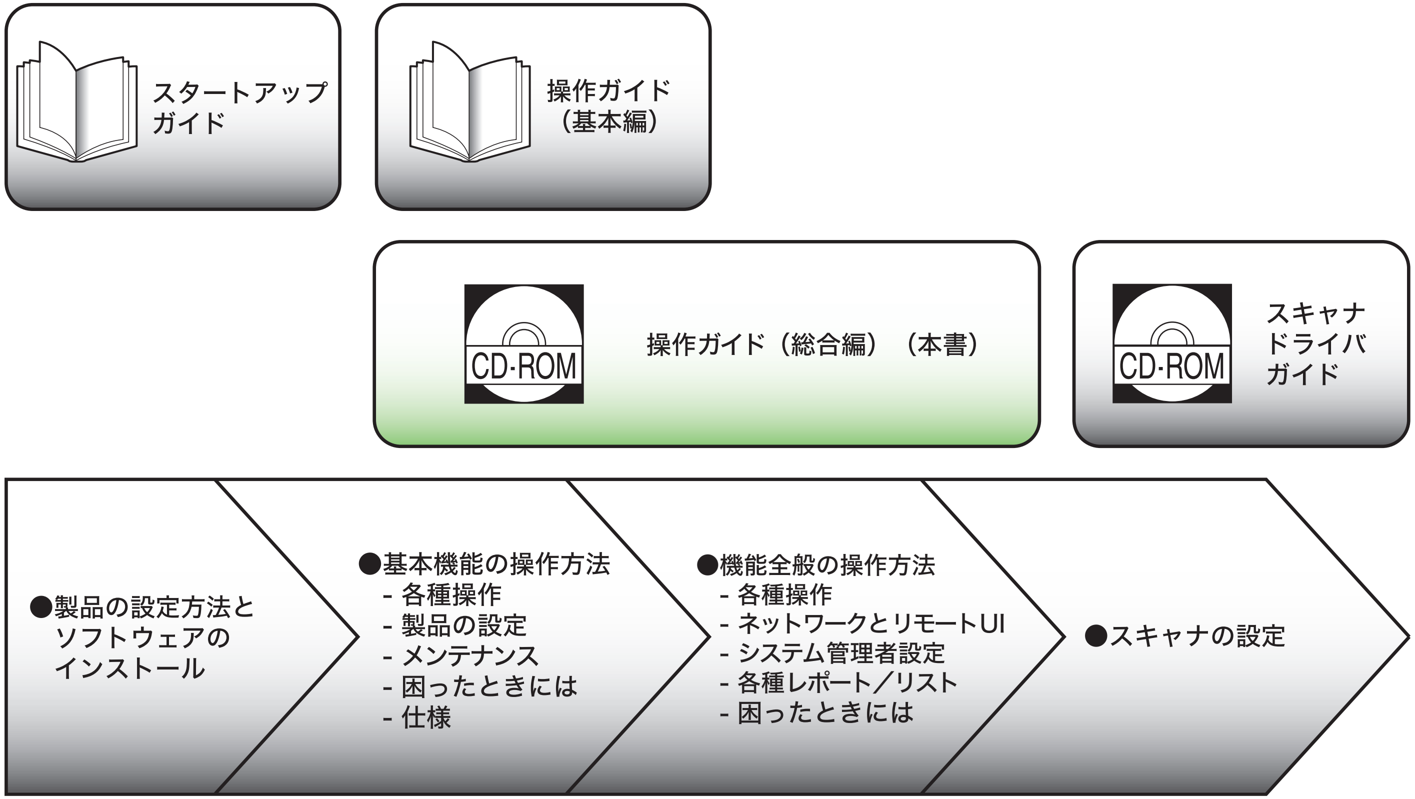
Satera MF4270



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の使いかた

取扱説明書の分冊構成について

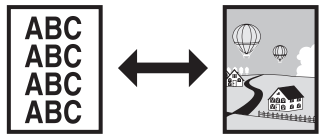


- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面などは予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

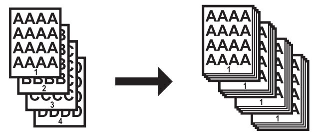
こんなことができます

原稿の種類に合わせて、画質を調節する



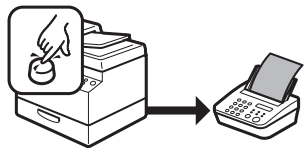
コピー画質の調節
→ P.3-3

ページ順に並べる



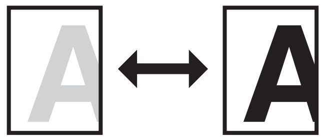
ソートコピー
→ P.3-5

ボタン一つで宛先を指定する



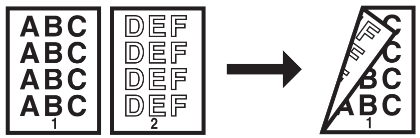
ワンタッチダイヤル
→ P.4-11

原稿の読み取り濃度を調節する



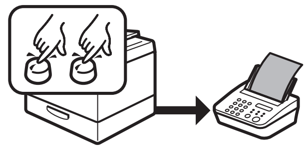
読み取り濃度の調節
→ P.3-3

両面にコピーする



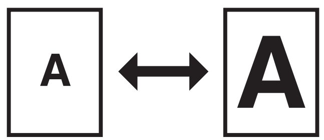
両面コピー
→ P.3-6

2 桁の番号で宛先を指定する



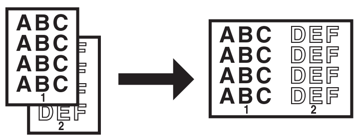
短縮ダイヤル
→ P.4-11

コピーサイズを拡大・縮小する



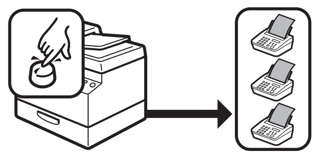
拡大／縮小コピー
→ P.3-4

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーする



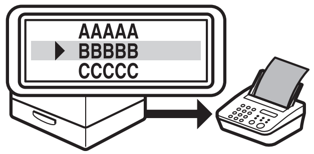
2 in 1
→ P.3-6

複数の宛先を 1 つの宛先として指定する



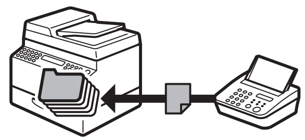
グループダイヤル
→ P.4-12

宛先を検索する



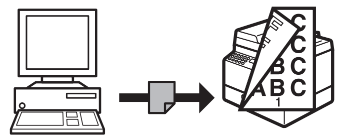
宛先表からのダイヤル
→ P.4-12

受信した文書をプリントしないでメモリに蓄積する



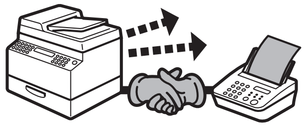
メモリ受信
→ P.4-24

コンピュータからプリントする



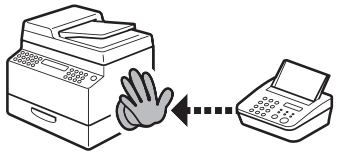
プリント
→ オンラインヘルプ

通話中の場合かけなおす



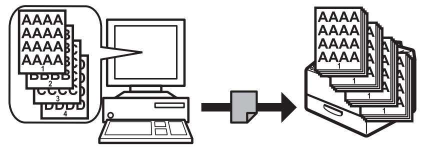
リダイヤル
→ P.4-17

番号非通知のファクスの受信を拒否する



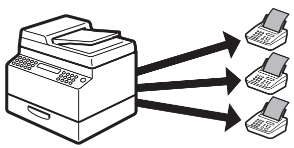
DM 制限
→ P.4-26

出力紙をページ順に並べる



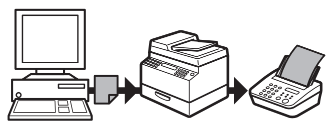
ソートプリント
→ P.5-3

複数の宛先に文書を送る



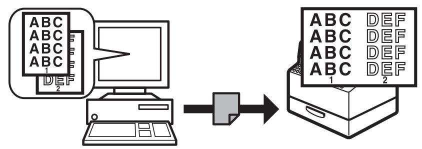
同報送信
→ P.4-15

コンピュータからファクスを送信する



PC ファクス
→ オンラインヘルプ

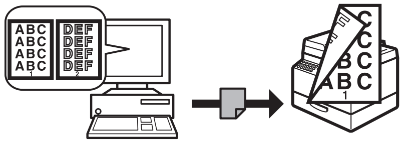
2 枚の原稿を 1 枚の用紙にプリントする



2 in 1
→ P.5-3

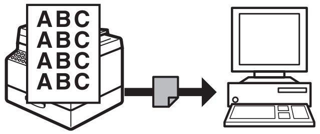
お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

両面にプリントする



両面プリント
→ P.5-4

画像に合わせてスキャナを設定する



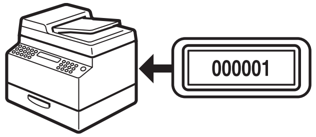
スキャン
→ スキャナドライバガイド「MF Toolbox を設定する」

コンピュータから本製品を管理する



リモート UI
→ P.7-1

システム管理設定の内容を暗証番号で保護する



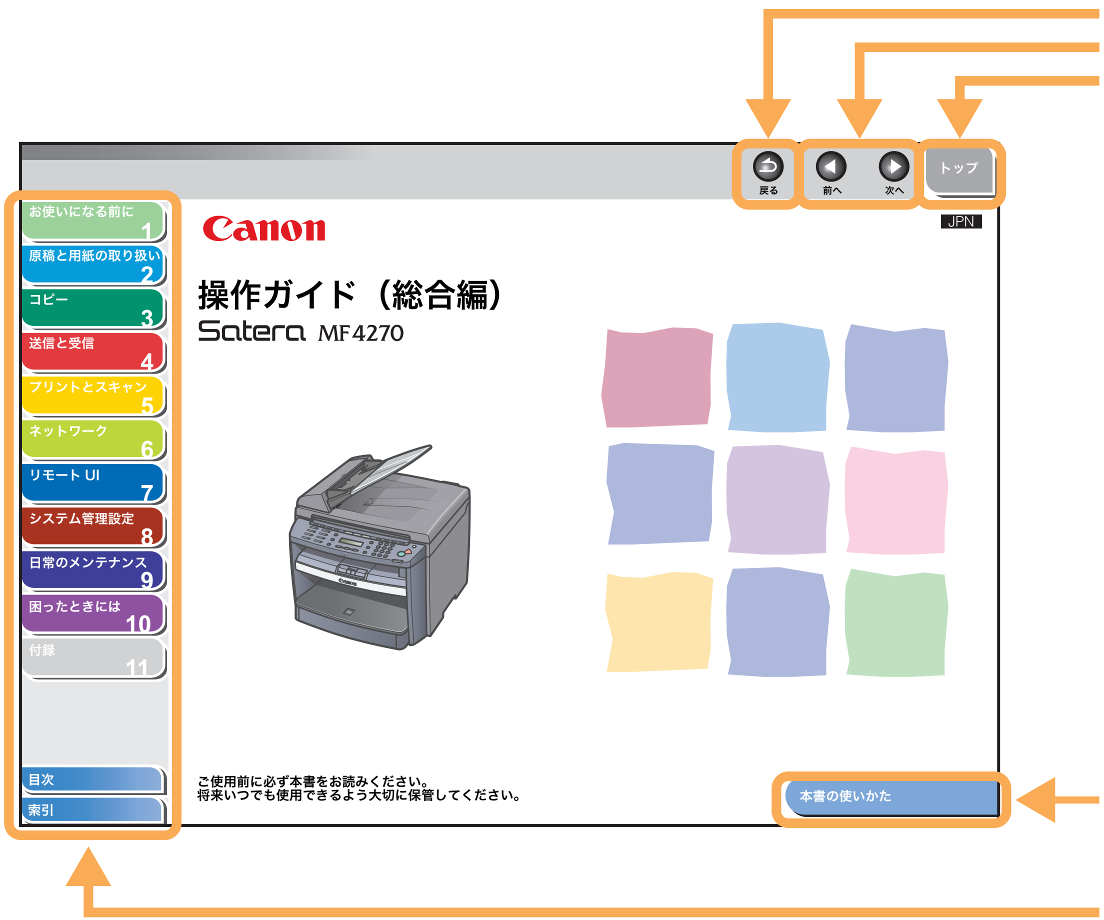
システム管理設定
→ P.8-2

目次

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

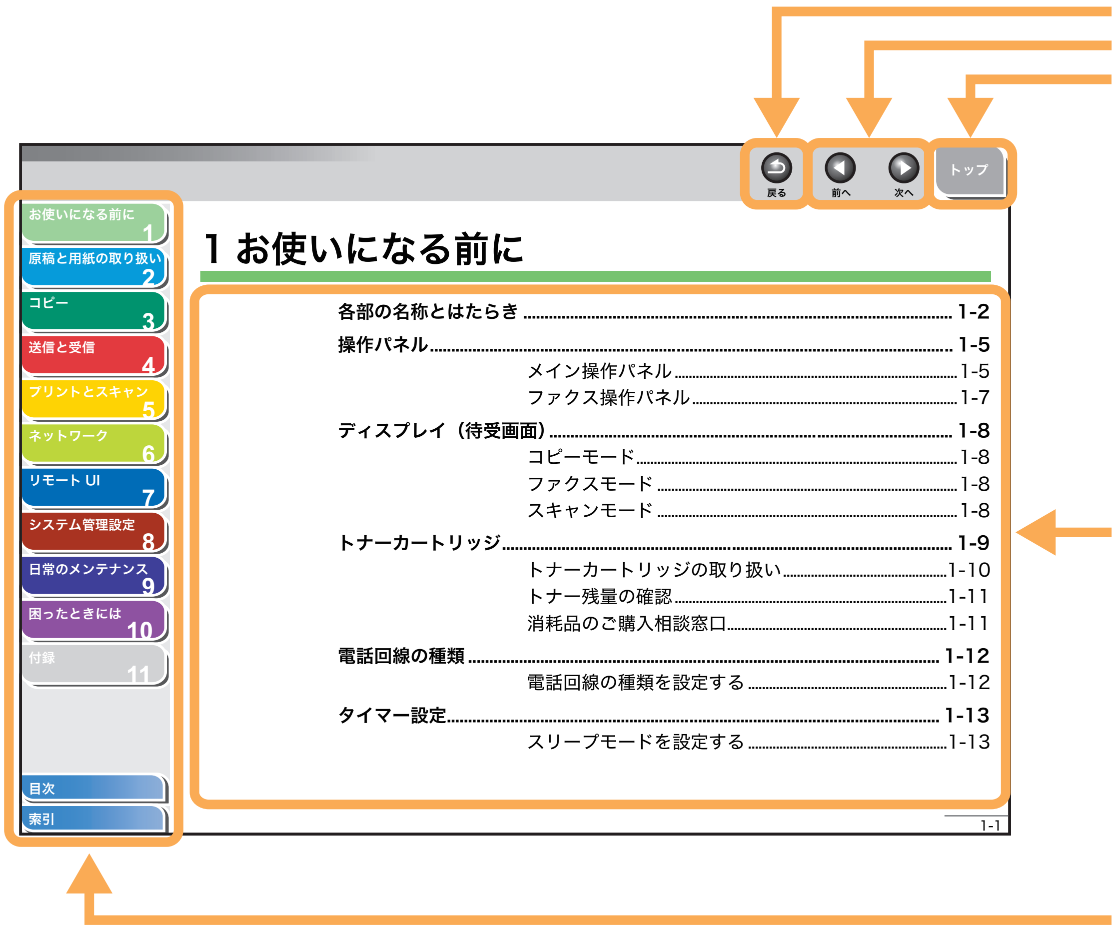
本書の使いかた

■ トップページについて



お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

章扉について



一つ前に表示したページに戻ります。

前のページまたは次のページを表示します。

トップページに戻ります。

章の目次が記載されています。

クリックすると、それぞれの章や目次、索引ページを表示します。

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや本製品を使用する上で役に立つ情報に、下記のマークを付けています。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。

メモ

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上のボタンや項目を以下のように表記しています。

- キー名称：[ストップ／リセット]
- ディスプレイ：＜ヨウシ　セッテイ＞
- コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目：[詳細設定]

商標および著作権について

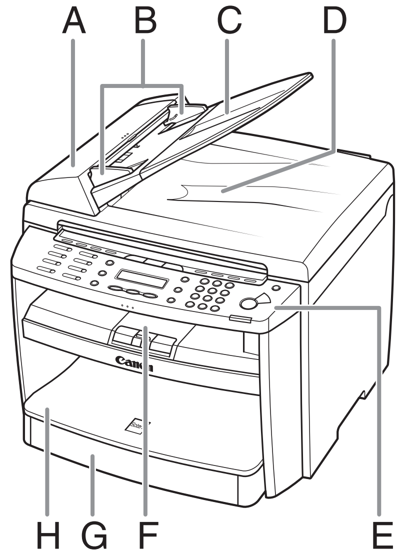
商標について
Canon、Canon ロゴ、Satera および NetSpot はキヤノン株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

免責事項
本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

1 お使いになる前に

各部の名称とはたらき



A　ADF（自動原稿給紙装置）
　セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送ります。

B　原稿ガイド
　原稿の幅に合わせて調節します。

C　原稿給紙トレイ
　原稿をセットします。

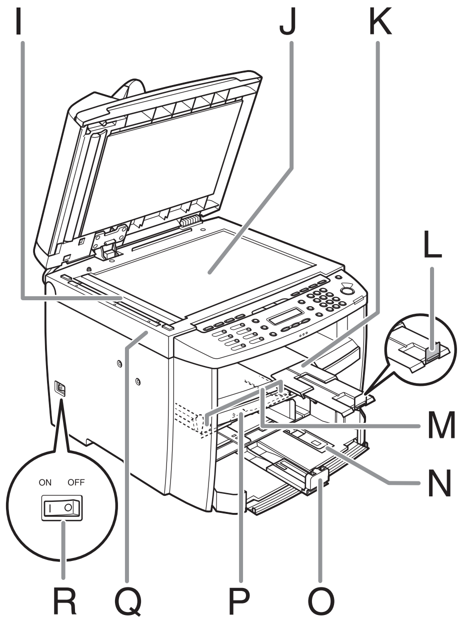
D　原稿排紙トレイ
　原稿が排出されます。

E　操作パネル
　本製品を操作します。

F　排紙トレイ
　コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出します。

G　用紙カセット
　用紙をセットします。

H　用紙カバー
　用紙カセット内の用紙をほこりやチリから保護します。



I ADF 読み取りエリア
ADF にセットされた原稿を読み取ります。

J 原稿台ガラス
原稿をセットします。

K 排紙補助トレイ
引き出して使用します。

L 排紙ストッパー
排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを開いて使用します。

M 手差しトレイ用紙ガイド
用紙の幅に合わせて調節します。

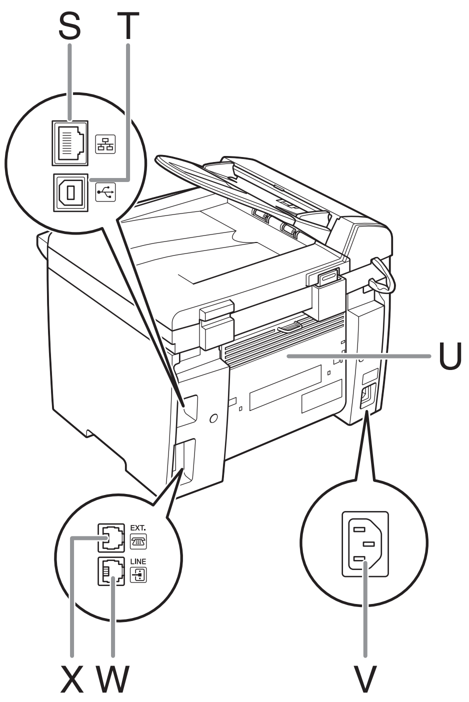
N はがき用ガイド
はがきをセットするときに使います。

O 用紙後端ガイド
用紙の後端を押さえます。

P 手差しトレイ
手差しで 1 枚ずつプリントするときに使用します。

Q 操作パネル部
トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取り除くときに開きます。

R 主電源スイッチ
電源を入れたり、切ったりします。



S　LAN ポート
ネットワークケーブルを接続します。

T　USB ポート
USB ケーブルを接続します。

U　後ろカバー
つまった用紙を取り除くときに開きます。

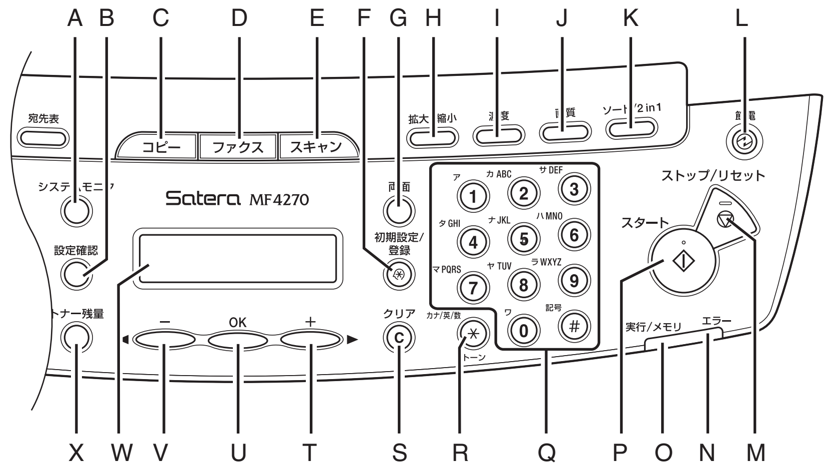
V　電源ソケット／アース端子
電源コードおよびアース線を接続します。

W　電話回線端子
電話線コードを接続します。

X　外付け電話機用端子
外付け電話機を接続します。

操作パネル

■ メイン操作パネル



A　［システムモニタ］キー
プリント状況、コピー状況、送受信状況、送受信履歴、転送エラー状況、メモリ残量、またはレポート出力状況を確認するときに使います。

B　［設定確認］キー
コピーの設定を確認するときに使います。

C　［コピー］キー
コピーモードに切り替えます。

D　［ファクス］キー
ファクスモードに切り替えます。

E　［スキャン］キー
スキャンモードに切り替えます。

F　［初期設定／登録］キー
各種の設定、登録をするときに使います。

G　［両面］キー
両面コピーを設定するときに使います。

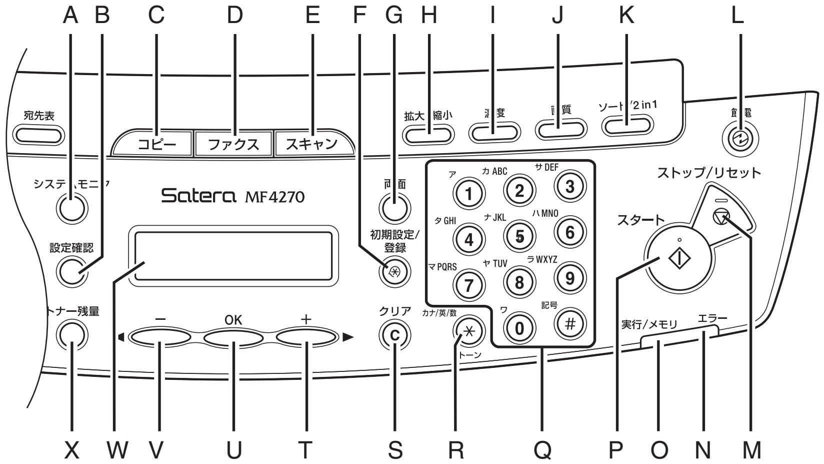
H　［拡大／縮小］キー
コピーの拡大／縮小率を設定するときに使います。

I　［濃度］キー
コピーや送信原稿の濃度を調整するときに使います。

J　［画質］キー
コピーやファクスの画質を設定するときに使います。

K　［ソート／2 in 1］キー
ソートコピーや 2 in 1 コピーを設定するときに使います。

L　［節電］キー
手動で節電状態に設定したり解除したりするときに使います。節電状態のときはグリーンに点灯します。



M　［ストップ／リセット］キー
ジョブを中止するときに使います。また、待受画面に戻るときにも使います。

N　エラーランプ
エラーが発生したときに点滅します。

O　実行／メモリランプ
本製品が動作中に点滅します。待機中のジョブがあるとき、およびメモリにデータが蓄積されているときは点灯します。

P　［スタート］キー
コピー、スキャン、ファクス送信などを開始するときに使います。

Q　テンキー
文字や数字を入力するときに使います。

R　［トーン］キー
プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに使います。

S　［クリア］キー
入力した文字や数字を削除するときに使います。

T　［+►］キー
設定する数値を上げるときに使います。また、次のメニュー項目を表示するときにも使います。

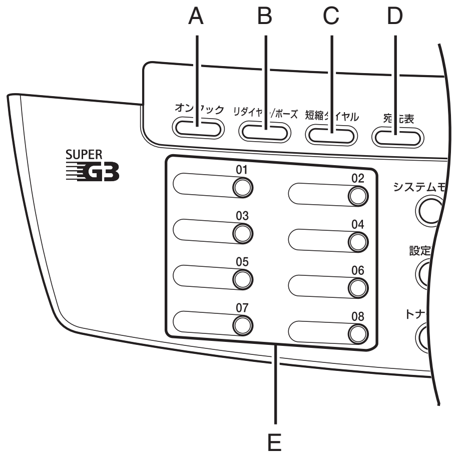
U　［OK］キー
設定、登録した内容を確定するときに使います。

V　［◄−］キー
設定する数値を下げるときに使います。また、前のメニュー項目を表示するときにも使います。

W　ディスプレイ
メッセージや動作状況を表示します。設定操作中は選択項目、テキスト、数字などを表示します。

X　［トナー残量］キー
トナー残量を確認するときに使います。

■ ファクス操作パネル



A　［オンフック］キー
外付け電話機の受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

B　［リダイヤル／ポーズ］キー
最後に指定した宛先を呼び出すときに使います。また、ファクス番号にポーズを挿入するときに使います。

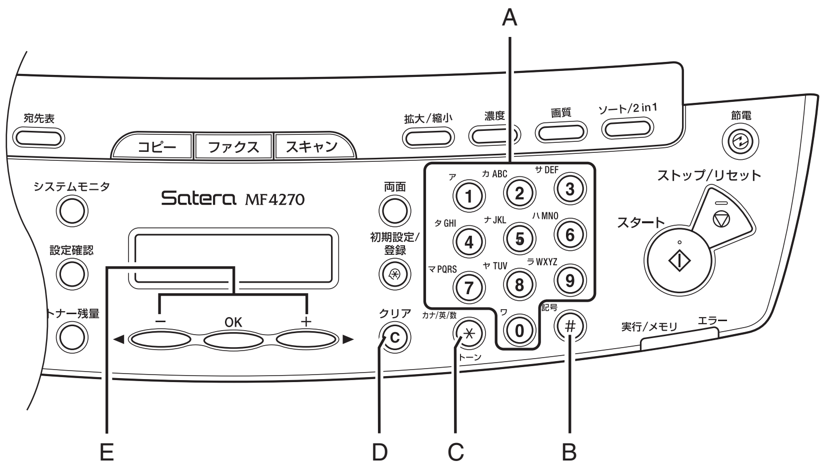
C　［短縮ダイヤル］キー
短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

D　［宛先表］キー
ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛先を相手先の名前から検索するときに使います。

E　ワンタッチダイヤルキー
ワンタッチダイヤルに登録した宛先を指定するときに使います。

文字の入力方法

宛先の登録の際などに、文字の入力を促す画面が表示されます。
以下のボタンを使用して、文字を入力します。



A　文字の入力は操作パネルのテンキーを使います。入力したい文字が表示されるまでテンキーを繰り返し押します。

B　記号を入力するには、[#] を押します。

C　入力モードを切り替えるには [＊] を押します。
- [ｱ]：カナモード
- [A]：アルファベットモード
- [1]：数字モード

D　カーソルの位置で文字を削除するには、[クリア] を押します。文字をすべて削除するには、[クリア] を長押しします。

E　カーソルを動かすには、[◄−] または [+►] を押します。

入力モードを切り替えることにより、以下の文字を入力できます。

<table>
<tr><th>(*)</th><th>[ｱ]</th><th>[A]</th><th>[1]</th></tr>
<tr><td>(1)</td><td>アイウエオ</td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td>(2)</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc</td><td>2</td></tr>
<tr><td>(3)</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef</td><td>3</td></tr>
<tr><td>(4)</td><td>タチツテト</td><td>GHIghi</td><td>4</td></tr>
<tr><td>(5)</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl</td><td>5</td></tr>
<tr><td>(6)</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno</td><td>6</td></tr>
<tr><td>(7)</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs</td><td>7</td></tr>
<tr><td>(8)</td><td>ヤユヨ</td><td>TUVtuv</td><td>8</td></tr>
<tr><td>(9)</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz</td><td>9</td></tr>
<tr><td>(0)</td><td>ワヲン
アイウエオヤユヨツ</td><td colspan="2">0</td></tr>
<tr><td>(#)</td><td>（スペース）
゛　（濁音）
゜　（半濁音）
。「」、・－</td><td>（スペース）－．＊
#!",;:^`_=
/|´?$@%&
+()[]{}<></td><td>#</td></tr>
</table>

■ 文字を入力する

例：「キヤノン」と入力します。

1. **画面入力モードが［ｱ］になっていることを確認します。**

例）

```
ﾅﾏｴ                    [ｱ]
_
```

メモ

入力モードは［＊］を押すたびに、カナ→アルファベット→数字と変わり、数字の次は最初のカナに戻ります。

2. **(2)を繰り返し押して、「キ」を入力します。**

例）

```
ﾅﾏｴ                    [ｱ]
ｷ
```

3. **(8)を繰り返し押して、「ヤ」を入力します。**

例）

```
ﾅﾏｴ                    [ｱ]
ｷﾔ
```

4. **(5)を繰り返し押して、「ノ」を入力します。**

例）

```
ﾅﾏｴ                    [ｱ]
ｷﾔﾉ
```

5. **(0)を繰り返し押して、「ン」を入力します。**

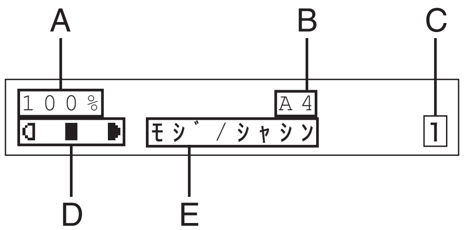
例）

```
ﾅﾏｴ                    [ｱ]
ｷﾔﾉﾝ
```

6. **［OK］を押して、入力を確定します。**

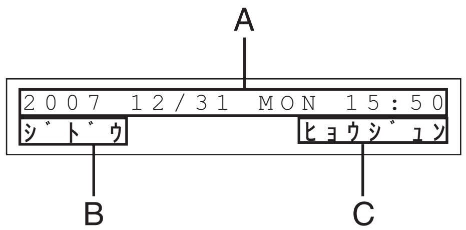
ディスプレイ（待受画面）

■ コピーモード



A　ズーム倍率
B　用紙サイズ
C　部数
D　濃度
E　画質

■ ファクスモード



A　日付／時刻
B　受信モード
C　画質

■ スキャンモード



メモ

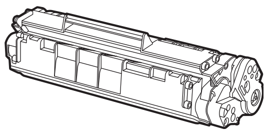
- 必要に応じて、主電源スイッチを入れたときに表示される待受画面を変更することができます。変更する場合は、[初期設定／登録] →<キョウツウ　ショウ　セッテイ>→<ショキキノウノ　セッテイ>で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.11-4）
- 主電源スイッチを入れると、ディスプレイに<シバラク　オマチクダサイ>と表示されたのち、待受画面に切り替わります。
- 1 分間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります。

トナーカートリッジ

本製品に対応するキヤノン純正カートリッジの寿命は、約 2,000 ページです。このページ数は、「ISO/IEC 19752」* に基づき、工場出荷時の印字濃度設定のままで、A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナーカートリッジの交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

トナーカートリッジ名：
カートリッジ　304



機種名	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
MF4270	カートリッジ　304	A4 サイズで約 2,000 枚

■ トナーカートリッジの取り扱い

- トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に5分以上さらさないでください。
- トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさらしたり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

⚠ 注意

トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

■ トナー残量の確認

［トナー残量］を押して、トナーカートリッジのトナー残量を確認できます。トナー残量はディスプレイに 4 段階で表示されます。
トナーカートリッジが寿命の場合は、トナーカートリッジを交換してください。
(→トナーカートリッジを交換する：P.9-11)

トナーカートリッジは充分に使用できる状態です。

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0%     ■■■■■■     100%
```

通常に使用できる状態です。

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0%     ■■■■□□     100%
```

トナーカートリッジの寿命が近づいています。
交換用のトナーカートリッジを用意してください。

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0%     ■■□□□□     100%
```

トナーカートリッジが寿命になりました。
トナーカートリッジを交換してください。

```
ﾄﾅｰｻﾞﾝﾘｮｳ
0%     □□□□□□     100%
```

メモ
待受画面に戻るには、［ストップ／リセット］を押します。

■ 消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は巻末のキヤノンお客様相談センター（巻末参照）までお問い合わせください。

電話回線の種類

電話回線の種類を設定する

初期設定では、電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。電話回線の種別を自動的に判別する場合は、以下の設定をする必要はありません。
なお、構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合は、電話回線の種別が自動的に判別されないことがあります。自動的に判別されない場合は、以下の手順に従い手動で設定してください。
工場出荷時の初期値は<ジドウ>に設定されています。

メモ

電話回線の種別を自動的に判別する場合は、電話線コードを接続してから、電源を入れてください。電源を先に入れた場合、電話回線の種別は自動的に判別されません。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して<ファクスセッテイ>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して<キホントウロク>を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して<カイセン　シュルイ　センタク>を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して<シュドウ>を選択し、［OK］を押します。
6. ［◄−］または［+►］を押して電話回線の種類を選択し、［OK］を押します。

   <プッシュカイセン>：お使いの電話がトーン回線の場合に選択します。
   <ダイヤルカイセン>：お使いの電話がパルス回線の場合に選択します。
   <ダイヤルカイセン>を選択した場合、回線速度を< 20PPS >か< 10PPS >から選択します。工場出荷時の初期値は< 20PPS >に設定されています。

   メモ

   お使いの電話回線の種類が分からない場合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

7. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

タイマー設定

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します（スリープモード）。スリープモードに移行すると、［節電］がグリーンに点灯し、他のランプやディスプレイの表示は消えた状態になります。
工場出荷時の初期値は＜ ON ＞と＜ 5 フン＞に設定されています。

メモ

以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
- 本製品が操作中の場合
- 実行／メモリランプが点灯または点滅している場合
- エラーメッセージがディスプレイに表示され、エラーランプが点滅している場合
- 手差しトレイに用紙がセットされている場合
- 本体内で紙づまりが発生している場合
- 外付け電話機の受話器が外れている場合

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［+►］を押して＜タイマー　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［+►］を押して＜オートスリープ＞を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄－］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄－］または［+►］を押して時間を選択し、［OK］を押します。

時間は 3 分～ 30 分の間で設定できます（1 分刻み）。
テンキーを使って数値を入力することもできます。

メモ

初期値は 5 分に設定されています。

6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモ

- スリープモードに移行すると、［節電］がグリーンに点灯します。
- スリープモードから復帰するには、［節電］を押してください。
- 手動でスリープモードにするには、［節電］を押してください。
- 以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
  - ［節電］が押された場合
  - ファクスを受信した場合
  - 外付け電話機の受話器が外れている場合
  - コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合

2 原稿と用紙の取り扱い

使用可能な原稿

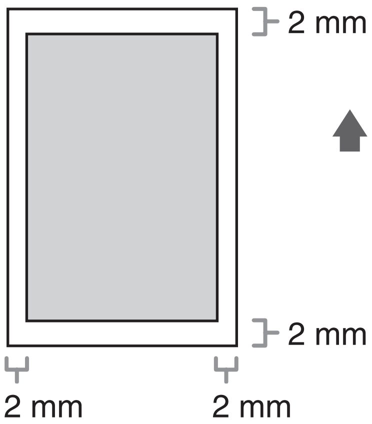
	原稿台ガラス	ADF
原稿の種類	・ 普通紙 ・ 厚紙 ・ 写真 ・ 小型原稿（名刺サイズなど） ・ 特殊紙（トレーシングペーパー*1、OHP フィルム*1 など） ・ 本（厚さ 24mm までのもの）	普通紙（同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿）
サイズ（幅×長さ）	最大 216mm × 297mm	最大 216mm × 356mm 最小 105mm × 148.5mm
重量	最大 2kg	40 ～ 105g/m^2
枚数	1 枚	最大 35 枚*2

*1 トレーシングペーパーや OHP フィルムなどの透過原稿をコピーする場合は、原稿台ガラスに原稿を下向きにしてセットし、白紙を原稿の上に重ねて置いてください。
*2 80g/m^2 の用紙

- **のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。**
- **ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。**
  - しわや折り目のある原稿
  - カーボン紙やカーボンバック紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた原稿
  - 薄質半透明紙や薄紙
  - ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙
  - OHP フィルム
- **ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。**

読み取り範囲

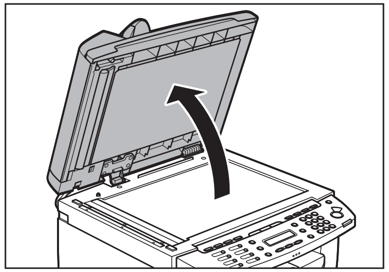
原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



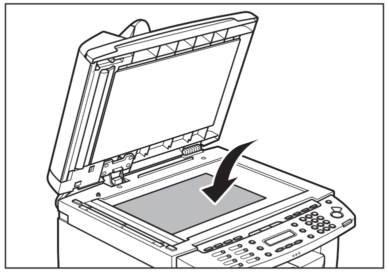
原稿をセットする

■ 原稿台ガラスにセットする

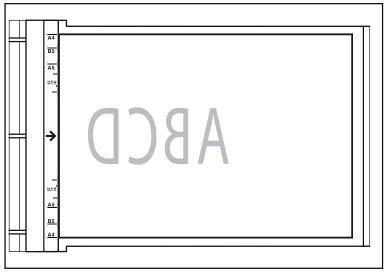
1. 原稿台ガラスカバーを開きます。



2. 読み取る面を下にして、原稿を原稿台ガラスに置きます。

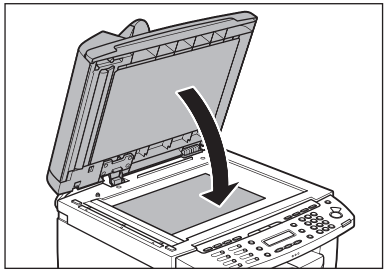


3. 用紙サイズマークに合わせて原稿をセットしてください。



原稿が用紙サイズマークに合わない場合は、原稿の中心線を矢印に合わせてください。

4. 原稿台ガラスカバーを静かに閉じます。



原稿を読み込む準備ができました。

注意

・ 原稿台ガラスカバーを閉じるときは、指をはさまないよう注意してください。けがをする恐れがあります。
・ 原稿台ガラスカバーを無理に閉じないでください。原稿台ガラスが破損してけがをする恐れがあります。

メモ

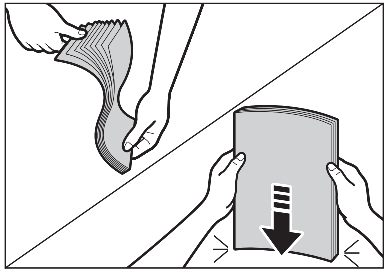
読み込みが完了したら、原稿台ガラスから原稿を取り出してください。

ADF にセットする

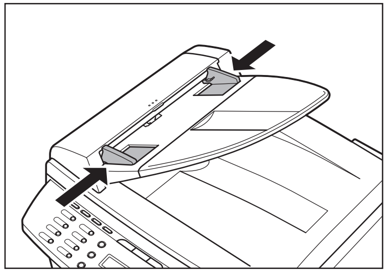
メモ

ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。

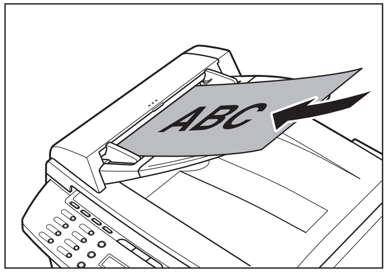
1. 原稿をさばいてから、平らな場所で原稿の縁をそろえます。



2. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



3. 読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。



原稿を読み込む準備ができました。

メモ

・ 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
・ すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
・ 30 回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
・ 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。(→日常のお手入れ：P.9-2)

使用可能な用紙

用紙サイズ

使用できる用紙サイズは以下のとおりです。
表中の◎は片面印刷と自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能です。

		用紙カセット	手差しトレイ
枚数		最大 250 枚（積載高さ 25mm 以下）	最大 1 枚
坪量		60 ～ 128 g/m²	60 ～ 163 g/m²
用紙サイズ	A4	◎ *1*2*3	○ *3
	B5	○	○
	A5	○	○
	レター	◎ *1*2*3	○ *3
	リーガル	○ *1	○
	エグゼクティブ	○	○
	郵便はがき（100 × 148mm）	○	○
	郵便往復はがき（148 × 200mm）	○	○
	封筒 *4 洋形 4 号（105 × 235mm）	○	○
	封筒 *4 洋形 2 号（114 × 162mm）	○	○
	オフィシオ	○ *1	○
	ブラジルーオフィシオ	○ *1	○
	メキシコーオフィシオ	○ *1	○
	フォリオ	○ *1	○
	ガヴァメントーレター	○ *1	○
	ガヴァメントーリーガル	○ *1	○
	FOOLSCAP	○ *1	○
	ユーザ定義用紙	○ *5	○ *5

*1 受信文書およびレポートやリストの印刷が可能です。
*2 受信文書の両面印刷が可能です。自動両面印刷は、64 ～ 80 g/m² の用紙のみ可能です。
*3 両面コピーが可能です。
*4 用紙カセット：105 ～ 128g/m²、手差しトレイ：105 ～ 163g/m²
*5 コンピュータからプリントするときに使用可能な用紙です。
幅 76 ～ 216mm、長さ 127 ～ 356mm の用紙をセットすることができます。

メモ

用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。
（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13）

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

■ 用紙の種類

使用できる用紙の種類は以下のとおりです。

メモ

＜ B5 ＞、＜ A5 ＞、＜エグゼクティブ＞、＜ヨウガタ　4 ゴウ＞、＜ヨウガタ　2 ゴウ＞、＜ハガキ＞または＜オウフクハガキ＞を選択した場合は、本体の設定とプリンタドライバの設定は必要ありません。

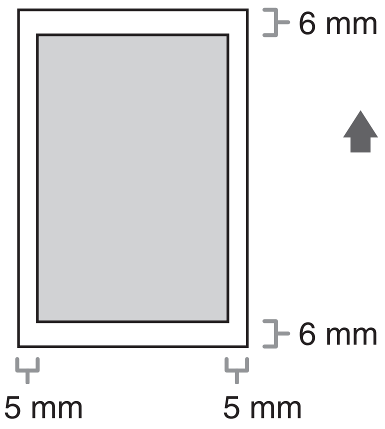
用紙の種類	本体の設定	プリンタドライバの設定	積載枚数（用紙カセット）	積載枚数（手差しトレイ）
普通紙（64 ～ 90g/m^2）	＜フツウシ＞	［普通紙］	170 ～ 250 枚 *2	1 枚
	＜フツウシ L ＞ *1	［普通紙 L］		
厚紙（105 ～ 163g/m^2）	＜アツガミ＞ *3	［厚紙］	100 ～ 170 枚 *2	1 枚
	＜アツガミ H ＞ *3*4	［厚紙 H］		
再生紙（64 ～ 80g/m^2）*5	＜フツウシ＞	［普通紙］	100 枚	1 枚
	＜フツウシ L ＞ *1	［普通紙 L］		
OHP フィルム *6	＜ OHP　フィルム＞	［OHP フィルム］	100 枚	1 枚
はがき *7	–	–	20 枚	1 枚
封筒	–	–	20 枚	1 枚

*1 ＜フツウシ＞を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、＜フツウシ L ＞を選択してください。
*2 普通紙と厚紙は坪量によって積載枚数が変わります。
*3 用紙カセット：105 ～ 128g/m^2、手差しトレイ：105 ～ 163g/m^2
*4 ＜アツガミ＞を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、＜アツガミ H ＞を選択してください。
*5 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。
*6 OHP フィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用の OHP フィルムをお使いになるようお勧めします。
*7 インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。

- **紙づまりを防ぐため、以下の用紙は使用しないでください。**
  - しわや折り目のある紙
  - カールした、または巻いた紙
  - コート紙
  - 破れた紙
  - 湿った紙
  - 非常に薄い紙
  - 熱転写プリンタでプリントされた紙（裏面にコピーしないでください。）
- **以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。**
  - 目の粗い紙
  - つるつるした紙
  - 光沢紙
- **用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。**
- **用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。**
- **用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。**
- **用紙は室温18℃～24℃、相対湿度40%～60%の場所で保管してください。**

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは異なる場合があります。



用紙をセットする

用紙カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」を参照してください。

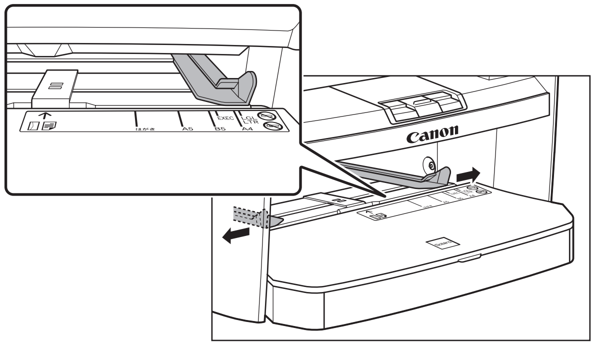
■ 手差しトレイにセットする

用紙カセットにセットされている用紙と、種類やサイズが異なる用紙にコピーやプリントする場合は、手差しトレイを使います。手差しトレイには用紙を 1 枚ずつセットします。

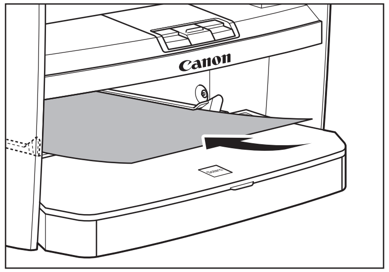
メモ

- 手差しトレイにセットされた用紙は、用紙カセットにセットされた用紙よりも先に給紙されます。
- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒を使用してください。
- プリンタドライバで正しい用紙サイズを設定してください。(オンラインヘルプを参照してください。)
- 受信した文書、レポート、リストのプリントは、用紙カセットからのみ給紙が可能です。手差しトレイに用紙がセットされている場合は、<テザシノ ヨウシヲ　ジョキョ>と表示されます。

1. 手差しトレイ用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

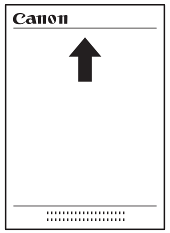


2. 用紙をセットする場合は、プリントしたい面を上にして手差しトレイにまっすぐに差し込みます。

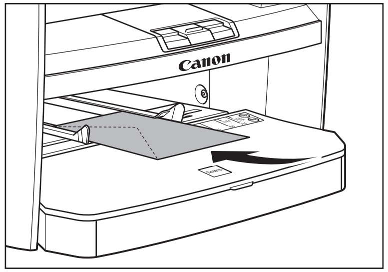


メモ

ロゴがプリントされた用紙をセットする場合は、プリントしたい面（ロゴ側）を上にして、用紙の上端から先に手差しトレイにセットします。



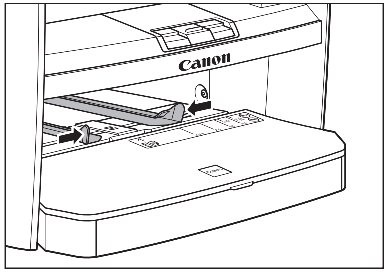
封筒をセットする場合は、プリントしたい面を上にして右端から先に封筒をまっすぐに手差しトレイに差し込みます。



注意

封筒の短いほうの辺にフタがついている場合、必ずフタのついている側から手差しトレイに差し込んでください。この向きに入れないと紙づまりの原因になります。

3. **手差しトレイ用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。**



メモ

ガイドが用紙のサイズに合っていないと、きちんとプリントされないことがあります。

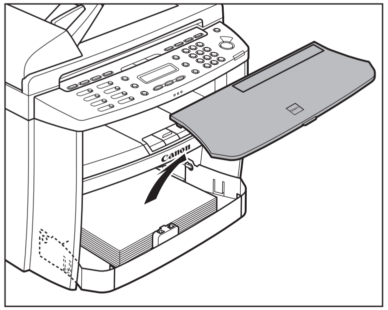
4. **セットした用紙のサイズと種類を設定します。**

用紙のサイズと種類の設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-13）

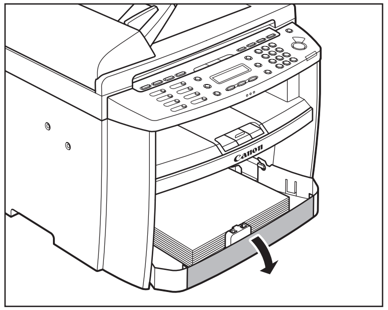
■ はがきをセットする

用紙カセットにはがきをセットする場合は、はがきが正しく給紙されるように、はがき用ガイドを使用します。はがきは「郵便はがき」と「郵便往復はがき」をプリントできます。

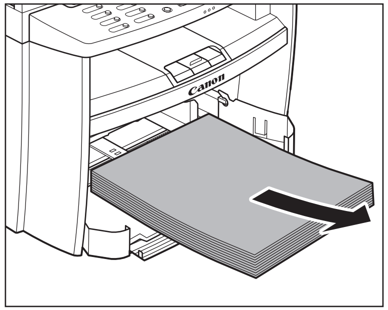
1. **用紙カバーを用紙カセットから取り外します。**



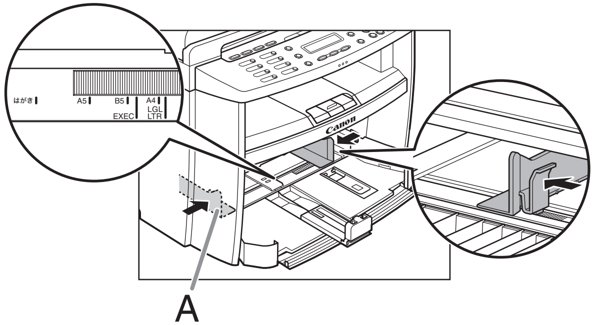
2. **用紙カセットの前面部を開きます。**



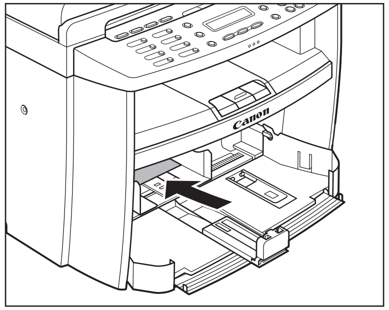
3. 用紙カセットから用紙を取り出します。



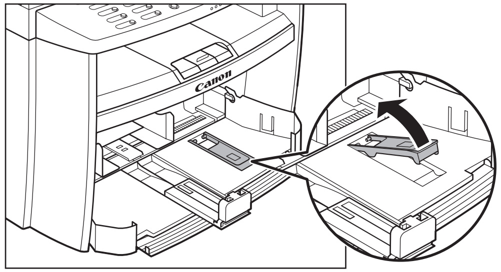
4. 左右の用紙ガイド（A）をつまみながら、「はがき」の位置に合うようスライドさせます。



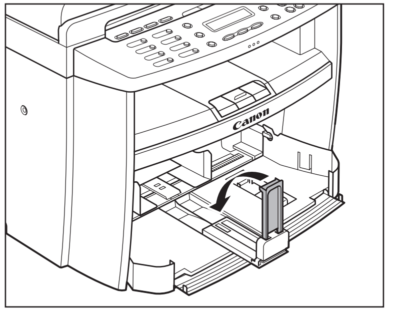
5. 印刷する面を上にして、はがきの上側を奥にセットします。



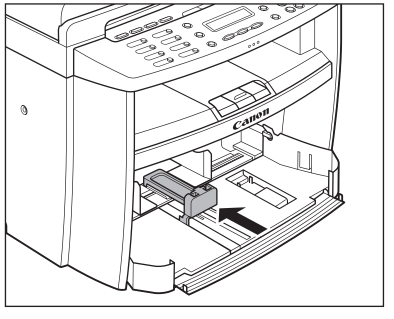
6. 用紙カセットから、はがき用ガイドを取り外します。



7. **はがき用ガイドを用紙後端ガイドに差し込み、前方に倒します。**



8. **用紙後端ガイドをスライドさせ、はがき用ガイドをはがきの後端に合わせます。**



9. **はがきの種類に合わせて、用紙のサイズを設定します。**

用紙のサイズの設定方法については、「用紙のサイズと種類を設定する」（→ P.2-13）を参照してください。

用紙のサイズと種類を設定する

初期値は、<フツウシ>と< A4 >です。別の種類の用紙やサイズをセットする場合は、以下の手順に従って設定を変更してください。手順 3 と手順 6 で用紙カセットまたは手差しトレイを選択するのを除いて、用紙カセットと手差しトレイとで手順は同じです。

1. **[初期設定／登録] を押します。**

2. **[◄−] または [+►] を押して<ヨウシ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

3. **[◄−] または [+►] を押して<カセット>または<テザシトレイ>を選択し、[OK] を押します。**

4. **[◄−] または [+►] を押して<ヨウシ　サイズ>を選択し、[OK] を押します。**

5. **[◄−] または [+►] を押して用紙のサイズを選択し、[OK] を押します。**

以下の用紙サイズを選択できます。
< A4 >、< B5 >、< A5 >、<エグゼクティブ>、<ヨウガタ　4 ゴウ>、<ヨウガタ　2 ゴウ>、<ハガキ>、<オウフクハガキ>、< OFICIO >、< BRAZIL-OFICIO >、< MEXICO-OFICIO >、< FOLIO >、< GOVERNMENT-LETTER >、< GOVERNMENT-LEGAL >、< FOOLSCAP >、< LTR >、< LGL >

6. **[◄−] または [+►] を押して<カセット>または<テザシトレイ>を選択し、[OK] を押します。**

7. **[◄−] または [+►] を押して<ヨウシノ　シュルイ>を選択し、[OK] を押します。**

メモ

手順 5 で、< B5 >、< A5 >、<エグゼクティブ>、<ヨウガタ　4 ゴウ>、<ヨウガタ　2 ゴウ>、<ハガキ>または<オウフクハガキ>を選択した場合は、<ヨウシノ　シュルイ>は選択できませんので、手順 9 に進んでください。

8. **[◄−] または [+►] を押して用紙の種類を選択し、[OK] を押します。**

以下の紙種を選択することができます。
普通紙（64g/m^2 ～ 90g/m^2）：<フツウシ>、<フツウシ L >*1
厚紙または封筒（用紙カセット：105g/m^2 ～ 128g/m^2、
手差しトレイ：105g/m^2 ～ 163g/m^2）：
<アツガミ>、<アツガミ H >*2
OHP フィルム：< OHP　フィルム>
*1 <フツウシ>を選択してプリントすると用紙がひどくカールする場合は、<フツウシ L >を選択してください。
*2 <アツガミ>を選択してプリントすると文字が薄くなる場合は、<アツガミ H >を選択してください。

9. **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

3 コピー

基本的なコピーの操作

以下の手順に従ってコピーします。

1. **原稿をセットします。**
   原稿台ガラスまたは ADF に原稿をセットします。
   使用できる原稿については「使用可能な原稿」（→ P.2-2）を参照してください。

2. **［コピー］を押します。**

3. **テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。**

4. **［スタート］を押します。**

コピーの設定をする

[スタート] を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整することができます。1 分間何も操作をしなかった場合、または [ストップ／リセット] を押した場合は、調整した設定は初期値に戻ります。

■ 画質を調整する

工場出荷時の初期値は＜モジ／シャシン＞に設定されています。

1. [コピー] を押します。

2. [画質] を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。

＜モジ／シャシン＞：文字と写真のある原稿に適しています。
＜モジ＞：文字原稿に適しています。
＜シャシン＞：細かい文字または写真のある原稿に適しています。
＜モジ／シャシン＋＞：細かい文字と写真のある原稿に適しています。

メモ

- 濃度が＜ジドウ＞に設定されている場合、[画質] を押すと濃度は自動的に手動設定に切り替わります。
- すべての設定を取り消すには、[ストップ／リセット] を押します。
- [ファクス] などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定／登録] →＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ガシツ＞で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.11-4)

■ 濃度を調節する

自動または手動で、原稿に最適な濃度に調整できます。
工場出荷時の初期値は＜シュドウ＞（5）に設定されています。

自動調節

1. [コピー] を押します。

2. [濃度] を繰り返し押して＜ジドウ＞を選択し、[OK] を押します。

メモ

画質は自動的に＜モジ＞に設定されます。

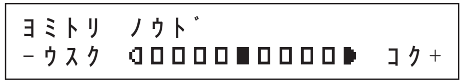
手動調節

1. [コピー] を押します。

2. [濃度] を繰り返し押して、手動モードを選択します。

3. [◄−] または [+►] を押して濃度を選択し、[OK] を押します。

例）



[◄−]：濃い原稿を薄くコピーします。
[+►]：薄い原稿を濃くコピーします。

メモ

- すべての設定を取り消すには、[ストップ／リセット] を押します。
- [ファクス] などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定／登録] →＜コピー　シヨウ　セッテイ＞→＜ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ＞→＜ヨミトリ　ノウド＞→＜シュドウ＞で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.11-4)

■ 倍率を設定する

工場出荷時の初期値は< 100% >に設定されています。

定形変倍を使用して拡大／縮小する

原稿を拡大または縮小して、別のサイズに変更できます。

1. **［コピー］を押します。**

2. **［拡大／縮小］を押します。**

3. **［◄ー］または［+►］を押してコピー倍率を選択し、［OK］を押します。**

- 200% MAX.
- 141% A5 → A4
- 122% A5 → B5
- 115% B5 → A4
- 100%
- 86% A4 → B5
- 81% B5 → A5
- 70% A4 → A5
- 50% MIN.

メモ

- <コピー　シヨウ　セッテイ>の<サイズ　ケイレツ>が<インチ>または< A >に設定されている場合は、定形コピー変倍は以下のようになります。
  インチ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
  A：50%、70%、100%、141%、200%
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。

ズーム変倍を使って拡大／縮小する

1%刻みで任意のコピー倍率を指定し、画像を拡大または縮小できます。コピー倍率は、50%～ 200%の範囲で指定できます。

1. **［コピー］を押します。**

2. **［拡大／縮小］を 2 回押します。**

3. **テンキーを使ってコピー倍率を入力し、［OK］を押します。**

例）

```
ｽﾞｰﾑ     50-200%
 -         100%        +
```

［◄ー］または［+►］を押してコピー倍率を調整することもできます。コピー倍率を大きくするには、［+►］を押します。コピー倍率を小さくするには、［◄ー］を押します。

メモ

コピー倍率を 100%に戻すには、［拡大／縮小］を繰り返し押して< 100% >を選択し、［OK］を押します。

コピー応用機能

■ ソートコピー

コピーをページ順にそろえることができます。この機能は、「両面コピー」（→ P.3-6）および「2 in 1」（→ P.3-6）の機能と一緒に使うことができます。

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［コピー］を押します。

メモ

<コピー　シヨウ　セッテイ>の<ヒョウジュンモード　ヘンコウ>で<ジドウソート>が< ON >に設定されている場合は、手順 4 に進んでください。

3. ［ソート／ 2 in 1］を繰り返し押して<ソート>を選択し、［OK］を押します。

ソートコピー機能を「2 in 1」（→ P.3-6）と一緒に使いたい場合は、<ソート＋ 2 in 1 >を選択し、［OK］を押します。
「両面コピー」と一緒に使いたい場合は、P.3-7 の手順 3 に進んでください。

4. テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

5. ［スタート］を押します。

ADF を使っている場合は、ここで作業は完了です。
原稿台ガラスを使っている場合は、手順 6 に進んでください。

6. 原稿台ガラスに次のページをセットして、［スタート］を押します。

この手順を繰り返して、すべてのページを読み込みます。

7. ［OK］を押します。

残りの部数がコピーされます。

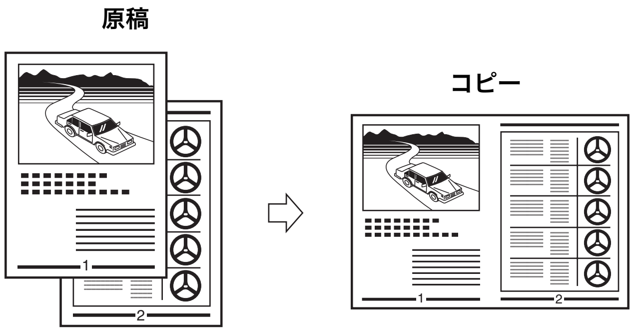
メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［初期設定／登録］→<コピー　シヨウ　セッテイ>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<ジドウソート>→< ON >で設定登録を行ってください。（→メニューの設定内容：P.11-4）
- 複数ページの原稿を読み込んでいるときにメモリがいっぱいになった場合は、ディスプレイに<メモリガ　イッパイデス>と表示されます。この場合は、［OK］を押して待ち受け画面に戻り、メモリに蓄積された原稿をプリントするか、送信するか、削除してください。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

■ 2 in 1

2 in 1 を使うと、A4 およびレターサイズに合うように 2 枚の原稿を自動的に縮小してコピーすることができます。この機能は、「ソートコピー」（→ P.3-5）および「両面コピー」（→ P.3-6）の機能と一緒に利用できます。



1. **原稿をセットします。**

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. **［コピー］を押します。**

3. **［ソート／ 2 in 1］を繰り返し押して< 2 in 1 >を選択し、［OK］を押します。**

2 in 1 機能を「ソートコピー」（→ P.3-5）と一緒に使いたい場合は、<ソート＋ 2 in 1 >を選択し、［OK］を押します。
「両面コピー」と一緒に使いたい場合は、P.3-7 の手順3に進んでください。

4. **テンキーを使ってコピー部数（1 〜 99）を入力します。**

5. **［スタート］を押します。**

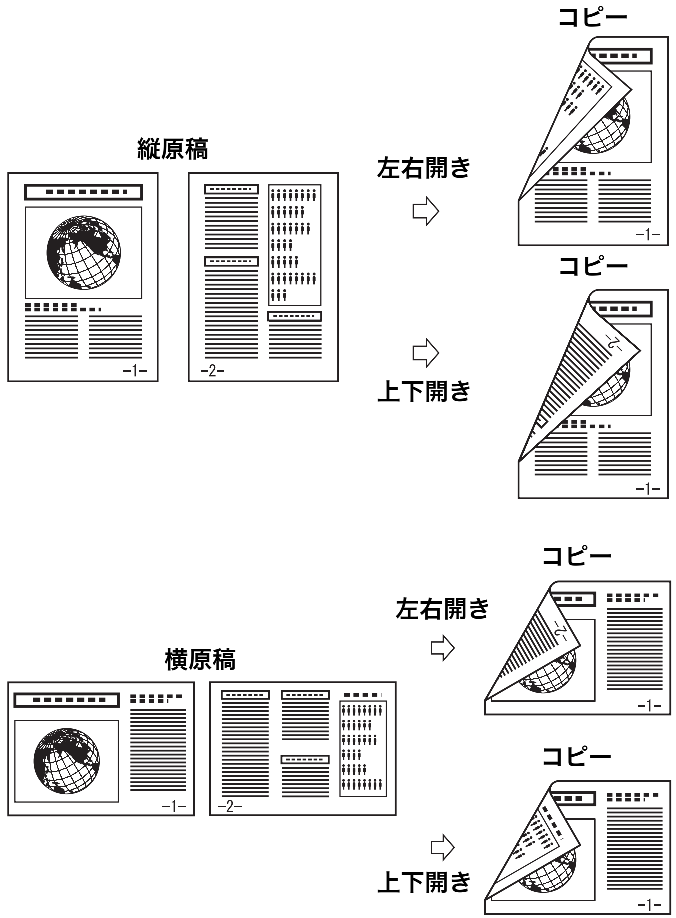
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押します。

メモ

- 2 枚目の原稿を読み込まずに［OK］を押した場合は、1 枚目の原稿のみ用紙の左側にプリントされます。
- 2 in 1 でコピーすると、縮小された原稿間に最大で 4mm の余白ができます。
- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。

■ 両面コピー

両面コピー機能を使って、片面の原稿から両面コピーをすることができます。この機能は、「ソートコピー」（→ P.3-5）および「2 in 1」（→ P.3-6）の機能と一緒に使うことができます。



メモ

両面コピーには以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4 およびレター
- 用紙の重さ：64 〜 80g/m^2

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

メモ

ADF で読み込むことができる原稿は片面のみです。両面原稿の読み込みはできません。

2. ［コピー］を押します。

3. [両面] を繰り返し押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

4. ［◄−］または［+►］を押して<サユウビラキ>または<ジョウゲビラキ>を選択し、［OK］を押します。

<サユウビラキ>：コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。
<ジョウゲビラキ>：コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

メモ

横原稿の場合、<サユウビラキ>を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。<ジョウゲビラキ>を選択すると、コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。

5. テンキーを使ってコピー部数（1 ～ 99）を入力します。

6. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。両面原稿のときは、片面の読み込みが終了したら、もう一方の面をセットし［スタート］を押します。
すべての原稿の読み込みが完了したら、自動的に両面コピーが始まります。

メモ

- すべての設定を取り消すには、［ストップ／リセット］を押します。
- ［ファクス］などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、［初期設定／登録］→<コピー　シヨウ　セッテイ>→<ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ>→<リョウメン>→< ON >で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.11-4)
- 手順 4 の代わりに、［OK］を押すだけで手順 5 に進めます。この場合は、<サユウビラキ>でコピーされます。

コピージョブの中止

以下の手順で、原稿の読み込み操作や印刷操作を中止します。

1. ［ストップ／リセット］を押します。

2. ＜コピーヲ　チュウシ　シマスカ？＞と表示されたら、［◄−］を押して＜ハイ＞を選択します。

```
ｺﾋﾟｰｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 〈 ﾊｲ           ｲｲｴ 〉
```

ジョブが中止され、コピー部数がリセットされます。

4 送信と受信

基本的な送信操作

以下の手順に従って原稿を送信してください。

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-5）を参照してください。

3. テンキーを使って相手先のファクス番号を入力します。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなど、スピードダイヤルを使って宛先を指定することもできます。（→宛先を指定する：P.4-11）

例）

=012XXXXXXX_

4. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画質と濃度を調整できます。高い画質に設定すると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。

■ 画質を調節する

工場出荷時の初期値は＜ファイン＞に設定されています。

1. ［ファクス］を押します。

2. ［画質］を繰り返し押して希望の画質を選択し、[OK] を押します。

＜ヒョウジュン＞：文字のみの原稿に適しています。(200 × 100dpi)
＜ファイン＞：文字の細かい原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 2 倍)。(200 × 200dpi)
＜シャシン＞：写真を含む原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 2 倍)。(200 × 200dpi)
＜スーパーファイン＞：細かい文字と画像を含む原稿に適しています（解像度は＜ヒョウジュン＞の 4 倍)。(200 × 400dpi)

■ 濃度を調節する

工場出荷時の初期値は（5）に設定されています。

1. ［ファクス］を押します。

2. ［濃度］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して濃度を選択し、[OK] を押します。

例)

```
ﾖﾐﾄﾘ ﾉｳﾄﾞ
-ｳｽｸ ◁□□□□□■□□□□□▷ ｺｸ+
```

［◄－］：原稿の濃度を薄くします。
［＋►］：原稿の濃度を濃くします。

メモ

本手順で手動調整した場合は、読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、［初期設定／登録］→＜ファクスセッテイ＞→＜キホントウロク＞→＜ヒョウジュンモードノ ヘンコウ＞→＜ヨミトリ ノウド＞で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容：P.11-4)

宛先を登録／編集／削除する

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を 1 字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先（ファクス／電話番号）をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能を宛先表と呼び、宛先表を使って素早く簡単に宛先を指定する方法をスピードダイヤルと呼びます。スピードダイヤルを使った宛先の指定方法は以下の種類があります。

● ワンタッチダイヤル（→ワンタッチダイヤルを使用する：P.4-11）

・ 登録済みの宛先を 1 回のキー操作で呼び出す機能です。最大 8 件まで宛先を登録できます。

・ 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押すだけで宛先を指定できます。

● 短縮ダイヤル（→短縮ダイヤルを使用する：P.4-11）

・ 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼び出す機能です。最大 100 件まで宛先を登録できます。

・ 原稿送信時は、［短縮ダイヤル］を押したあと、2 桁の登録先番号（00 ～ 99）を入力するだけで宛先を指定できます。

● グループダイヤル（→グループダイヤルを使用する：P.4-12）

・ ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を 1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を 1 つの宛先として登録するため、1 度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。

・ グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルになります。1つのグループダイヤルには最大50件まで宛先を登録できます。

・ 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルと同様になります。

● 宛先表キーによる指定（→宛先表を使用する：P.4-12）

・ ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／グループダイヤルとして登録済みの宛先を相手先の名前から検索して指定できます。登録先を忘れてしまった場合などに便利な機能です。

・ 原稿送信時は、［宛先表］を押したあと、相手先の名前から検索して指定できます。

メモ

・ 文字入力のしかたについては、「文字の入力方法」（→ P.1-8）を参照してください。
・ スピードダイヤルに登録した宛先は、お使いのコンピュータにファイルとして保存したり、保存したファイルを本製品に取り込むことができます。詳細については、「宛先表をファイルに保存する（エクスポート）」（→ P.7-15）または「宛先表をファイルから読み込む（インポート）」（→ P.7-16）を参照してください。
・ 登録済みの宛先については、宛先一覧表を出力して参照できます。（→レポート設定：P.11-12）

■ ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録する

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して<アテサキヒョウ シヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して<ワンタッチ　ダイヤル>または<タンシュク　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。

4. [◄–] または [+►] を押して登録するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、[OK] を押します。

   操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
   ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
   短縮ダイヤル：[短縮ダイヤル] を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

5. テンキーを使って相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、[OK] を押します。

   例）

   ```
   ナマエ                    [ア]
   キヤノ_
   ```

6. テンキーを使って登録するファクス／電話番号（スペースとポーズを含め最大 50 桁）を入力し、[OK] を押します。

   例）

   ```
   デンワバンゴウ
   012XXXXXXX_
   ```

   続けて新しいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返し行ってください。

7. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを編集する

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄–] または [+►] を押して＜アテサキヒョウ ショウセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。
3. [◄–] または [+►] を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜タンシュク　ダイヤル＞を選択し、[OK] を押します。
4. [◄–] または [+►] を押して編集するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、[OK] を押します。

   操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
   ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
   短縮ダイヤル：[短縮ダイヤル] を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。

5. [+►] を押して変更する文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

   入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

6. テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK] を押します。
7. [+►] を押して変更する文字にカーソルを移動し、[クリア] を押します。

   入力内容をすべて消去する場合は、[クリア] を長押しします。

8. テンキーを使って新しい番号を入力し、[OK] を押します。
9. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを削除する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して＜アテサキヒョウシヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して＜ワンタッチ　ダイヤル＞または＜タンシュク　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して削除するワンタッチダイヤル（01 ～ 08）または短縮ダイヤル（00 ～ 99）を選択し、［OK］を押します。

   操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。
   ワンタッチダイヤル：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
   短縮ダイヤル：［短縮ダイヤル］を押したあと、テンキーを使って 2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。
5. ［クリア］を長押しして名前を削除し、［OK］を押します。
6. ［クリア］を長押しして番号を削除し、［OK］を押します。

   メモ
   ファクス／電話番号を消去した場合は、相手先の名前も自動的に消去されます。
7. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

■ グループダイヤルを登録／編集する

メモ
グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

グループダイヤルに宛先を登録する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して＜アテサキヒョウシヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。
4. グループダイヤルの登録先を指定し、［OK］を押します。

   未登録のワンタッチダイヤルを登録先として指定します。
   ［◄−］または［+►］を押して登録先を選択します。また、ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。
5. テンキーを使ってグループの名前（スペースを含め最大 20 文字）を入力し、［OK］を押します。

   例）
   ```
   ﾅﾏｴ                        [ｱ]
   ｷﾔﾉﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ_
   ```
6. グループダイヤルに登録する宛先（最大 50 件）をすべて指定し、［OK］を押します。

   登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。
   ワンタッチダイヤルを指定する場合：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
   短縮ダイヤルを指定する場合：［短縮ダイヤル］を押したあと、2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに［短縮ダイヤル］を押します。

   メモ
   ［◄−］または［+►］を押すと指定した宛先を確認できます。
7. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

宛先を追加する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して<アテサキヒョウシヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。
4. 宛先を追加するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

   グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。
5. テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。
6. グループダイヤルに追加する宛先を指定し、［OK］を押します。

   指定操作方法については、「グループダイヤルに宛先を登録する」（→ P.4-8）を参照してください。
7. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

宛先を消去する

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して<アテサキヒョウシヨウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して<グループ　ダイヤル>を選択し、［OK］を押します。
4. 宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

   グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。
5. グループ名が表示されたら、［OK］を押します。
6. ［◄－］または［＋►］を押して消去する宛先を選択し、［クリア］を押します。

   続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。
7. ［OK］を押します。
8. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

グループ名を変更する

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウシヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4. グループ名を変更するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5. ［＋►］を押して変更する文字にカーソルを移動し、［クリア］を押します。

名前全体を消去する場合は、［クリア］を長押しします。

6. テンキーを使って新しい名前を入力し、［OK］を押します。

7. ［OK］を押します。

8. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルを消去する

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して＜アテサキヒョウシヨウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して＜グループ　ダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

4. 宛先を消去するグループダイヤルを指定し、［OK］を押します。

グループダイヤルは、操作パネル上の対応するワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押して選択することもできます。

5. グループ名が表示されたら、［OK］を押します。

6. ［クリア］押して登録済みの宛先を 1 件ずつすべて消去し、［OK］を押します。

メモ

- 宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。
- 登録した宛先の数のみ［クリア］を押してください。登録した宛先数を超えて［クリア］を押すと、ディスプレイの表示は＜アテサキヒョウシヨウセッテイ＞に戻り、グループダイヤルは消去されません。この場合は、手順 2 からの操作を繰り返し行ってください。

7. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

宛先を指定する

スピードダイヤルを使って原稿を送信します。

■ ワンタッチダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録／編集／削除する：P.4-6)

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-5) を参照してください。

3. 登録先のワンタッチダイヤルキー(01 ～ 08) を押します。

間違ったキーを押した場合は、［ストップ／リセット］を押したあと、手順 2 から操作をやりなおしてください。

例)

```
= 0 1 2 3 X X X X X X
[ 0 5 ] ｷﾔﾉﾝ
```

4. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら ［OK］を押します。

■ 短縮ダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録／編集／削除する：P.4-6)

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-5) を参照してください。

3. ［短縮ダイヤル］を押します。

4. テンキーを使って 2 桁の登録先番号(00 ～ 99)を入力します。

例)

```
= 0 1 2 3 X X X X X X
[ ＊ 0 1 ] ｷﾔﾉﾝ
```

間違ったキーを押した場合は、［ストップ／リセット］を押したあと、手順 2 から操作をやりなおしてください。

5. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら ［OK］を押します。

■ グループダイヤルを使用する

メモ

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録／編集／削除する：P.4-6)

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-5) を参照してください。

3. グループダイヤルの登録先のワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。

間違ったキーを押した場合は、［ストップ／リセット］を押したあと、手順 2 から操作をやりなおしてください。

例）

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
[01]ｷﾔﾉﾝｸﾞﾙｰﾌﾟ
```

4. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

■ 宛先表を使用する

宛先表を使うと、登録済みの宛先を宛先表から検索できます。どのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録したか忘れてしまった場合に便利です。
登録したすべての宛先を通して探す（<アテサキリスト　ヒョウジ>）こともできますし、宛先を名前で検索する（<アテサキ　ケンサク>）こともできます。

メモ

宛先を登録する場合は、「宛先を登録／編集／削除する」(→ P.4-6) を参照してください。

宛先リスト表示

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-5) を参照してください。

3. ［宛先表］を押します。

宛先が登録されていない場合は、<ミトウロクデス>と表示されます。

4. ［◄–］または［+►］を押して<アテサキリスト　ヒョウジ>を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄–］または［+►］を押して宛先を選択します。

例）

```
ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ
```

- 宛先はワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）、短縮ダイヤル（00 ～ 99）の順に表示されます。
- ワンタッチダイヤルキーと短縮ダイヤルに宛先の名前が登録されていない場合は、ファクス番号が表示されます。

6. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

相手先の名称を検索する

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて画質と濃度を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-5）を参照してください。

3. ［宛先表］を押します。

宛先が登録されていない場合は、<ミトウロクデス>と表示されます。

4. ［◄—］または［+►］を押して<アテサキ　ケンサク>を選択し、［OK］を押します。

5. テンキーを使って、検索する名称の最初の文字を入力し、［OK］を押します。

たとえば、「ア」で始まる相手先の名称を検索する場合は、［1］（ア）を押します。
入力モードを切り替える場合は、［*］を押してください。ディスプレイ右上に入力モードを示す<ア>（カタカナ入力）、< A >（アルファベット入力）または< 1 >（数字入力）が表示されます。

例）

```
ｹﾝｻｸ                    [ｱ]
ｷﾔﾉﾝ
```

- 検索可能な文字数は最大 10 文字です。
- アルファベットで検索する場合は、大文字と小文字は区別されます。大文字で登録した宛先を検索するには大文字で、小文字で登録した宛先を検索するには小文字で入力してください。
- 検索が完了すると、入力した文字に一致する宛先の数が括弧の中に表示されます。
- 新しく検索しなおすには［クリア］を押します。

6. ［◄—］または［+►］を押して宛先を選択します。

7. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

手動で送信する

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場合は、手動で送信してください。

メモ

- 手動送信では、原稿台ガラスは使用できません。
- 手動送信では、グループダイヤルは使用できません。

1. 外付け電話機を本製品に接続します。

外付け電話機の接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」を参照してください。

メモ

本製品に接続する電話機が、黒電話*（600 型、601 型など）を含む、金属ベル内蔵電話機の場合は、呼び出し音が小さかったり、呼び出し音が鳴らない可能性があります。
*黒電話とは、以前に一般家庭で普及していた、旧式の黒い電話機の総称です。

2. ADF に原稿をセットします。

3. ［ファクス］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-5）を参照してください。

4. ［オンフック］を押すか、外付け電話機の受話器を取ります。

［オンフック］を押すと、一時期に通信音量を［◄−］または［+►］を押して調整できます。

5. 相手先のファクス／電話番号をダイヤルします。

メモ

ファクス／電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

6. 受話器で相手と話します。

手順 4 で［オンフック］を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。
相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順 8 に進んでください。

7. ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。

8. 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］を押し、受話器を置きます。

送信応用機能

本製品には送信応用機能として、同報送信があります。

■ 同報送信

1 回の操作で複数の宛先（最大 124 件）に同じ原稿を送信できます。

メモ

- 1 度に指定できる宛先数は最大 124 件です。124 件のうち、テンキーを使って指定できる宛先数は最大 16 件です。グループダイヤルを使用する場合、宛先件数はグループ単位ではなく、グループに登録されている宛先数単位で計算されます。たとえば、1 つのグループに 10 件の宛先が登録されている場合、宛先件数は 1 件ではなく 10 件と計算されます。
- 複数の宛先に送信する機会が頻繁にある場合は、グループダイヤルとして宛先を登録しておくと便利です。

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［初期設定／登録］を押します。

3. ［◄−］または［+►］を押して<ドウホウ>を選択し、［OK］を押します。

4. テンキーまたはスピードダイヤルを使って複数の宛先（最大 124 件）を指定し、［OK］を押します。

テンキーを使う場合：テンキーを使って宛先を入力したあと、［OK］を押します。最大 16 件まで宛先を指定できます。
ワンタッチダイヤルを使う場合：ワンタッチダイヤルキー（01 ～ 08）を押します。
短縮ダイヤルを使う場合：［短縮ダイヤル］を押したあと、2 桁の番号（00 ～ 99）を入力します。複数指定する場合は、1 つの宛先を指定するごとに［短縮ダイヤル］を押します。
宛先表を使う場合：［宛先表］を押したあと、［◄−］または［+►］を押して<アテサキリスト　ヒョウジ>または<アテサキ　ケンサク>を選択し、［OK］を押します。<アテサキ　ケンサク>を選択した場合は、検索する相手先の名称の最初の文字を入力し、［OK］を押します。［◄−］または［+►］を押して宛先を選択します。検索可能な文字数は最大 10 文字です。

メモ

続けて新しいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録する場合は、手順 4 からの操作を繰り返し行ってください。

5. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

コンピュータからファクス送信する

以下の手順で、コンピュータからファクスを送信します。
ファクスドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。
ファクスドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。

1. アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。
2. ファクスアイコン(Canon MF4200 Series(FAX))を選択し、[印刷] または [OK] をクリックします。
3. [送信の設定] タブで名前とファクス番号を指定し、[相手先一覧に追加] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

ファクスダイヤル機能

■ リダイヤル

手動リダイヤルと自動リダイヤルがあります。自動リダイヤルでは、リダイヤルの回数と間隔を設定することができます。

手動リダイヤル

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

3. ［リダイヤル／ポーズ］を押します。

4. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに［スタート］を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら、［OK］を押します。

メモ

＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されている場合は、リダイヤルは使用できません。

自動リダイヤル

工場出荷時の初期値は次のように設定されています。
＜ジドウ　リダイヤル＞：＜ ON ＞
＜リダイヤル　カイスウ＞：＜ 2 カイ＞
＜リダイヤル　カンカク＞：＜ 2 フン＞

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄−］または［+►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄−］または［+►］を押して＜ソウシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄−］または［+►］を押して＜ジドウ　リダイヤル＞を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。

6. ［◄−］または［+►］を押してリダイヤルする回数を入力し、［OK］を押します。

例)

```
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶｲｽｳ
                2ｶｲ
```

テンキーを使って数値を入力することもできます。

7. ［◄−］または［+►］を押してリダイヤルする間隔（分）を入力し、［OK］を押します。

例)

```
ﾘﾀﾞｲﾔﾙ ｶﾝｶｸ
                2ﾌﾝ
```

テンキーを使って数値を入力することもできます。

8. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

■ 一時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順で一時的にトーン信号を送出することができます。

メモ

通話するには、外付け電話機を本製品に接続する必要があります。

1. ［ファクス］を押します。
2. ［オンフック］を押します。

   メモ

   ファクス番号を入力する前に、発信音を確認します。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

3. テンキーを使って、情報サービスにダイヤルします。
4. 情報サービスの録音メッセージが応答したら、［トーン］を押してトーン発信に切り替えます。
5. テンキーを使って、情報サービスに必要な番号を入力します。
6. ファクスを受信する場合は、［スタート］を押します。

   終了すると通信を自動的に切断し、回線は元の設定に戻ります。

■ ダイヤル時回線確認

この機能を使うと、ダイヤル時に回線がつながっているかどうか確認することができます。
工場出荷時の初期値は＜ OFF ＞に設定されています。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して＜ソウシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して＜ダイヤルジカイセン　カクニン＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄−］または［+►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。
6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

■ 海外にファクスを送る（ポーズの挿入）

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。

1. 原稿をセットします。

ADF を使用しない場合は、1 枚目の原稿を原稿台ガラスにセットします。

2. ［ファクス］を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」（→ P.4-5）を参照してください。

3. テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号の詳細については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

4. 必要に応じて［リダイヤル／ポーズ］を押し、ポーズを入力します。

例）

```
=123P_
```

- ポーズを意味する＜ P ＞が番号の途中に表示されます。
- 番号の途中に入れるポーズ時間の長さは 2.5 秒です。
- ポーズを連続して入れる場合は、もう一度［リダイヤル／ポーズ］を押してください。

5. テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス／電話番号を入力します。

6. 必要に応じてファクス／電話番号の末尾に、［リダイヤル／ポーズ］を押してポーズを入力します。

- ポーズを意味する＜ P ＞が番号の末尾に表示されます。

7. ［スタート］を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、原稿 1 枚ごとに「スタート」を押します。すべての原稿の読み込みが完了したら［OK］を押します。

基本的な受信操作

以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。
工場出荷時の初期値は<ジドウ>に設定されています。

メモ

以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4、オフィシオ、ブラジルーオフィシオ、メキシコーオフィシオ、フォリオ、ガヴァメントーレター、ガヴァメントーリーガル、FOOLSCAP、レター、リーガル

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄－］または［＋►］を押して<ファクスセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄－］または［＋►］を押して<ジュシンモード>を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄－］または［＋►］を押して受信モードを選択し、［OK］を押します。**

<ジドウ>：すべての着信をファクスとして受信します。
<ルス TEL>：ファクスの場合は自動的に受信し、電話の場合は留守番電話機が用件を録音します。
< FAX/TEL >：外付け電話機が接続されている場合は、ファクスと電話を自動的に切り替えます。（→ファクス／ TEL 詳細設定：P.4-21）
<シュドウ>：着信に応答しません。手動でファクスを受信してください。（→手動で受信する：P.4-22）

メモ

- < FAX/TEL >または<シュドウ>の場合は、外付け電話機を本製品に接続してください。
- <ルス TEL>の場合は、留守番電話機を本製品に接続してください。

5. **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

受信応用機能

受信に関する応用的機能として、以下の項目を説明します。

- 受信モード（＜ FAX/TEL ＞）の詳細設定
- ファクス手動受信の操作方法
- 代行受信機能
- メモリ受信設定
- リモート受信設定
- 受信原稿のプリント設定
- DM 制限設定
- 受信画像の両面印刷設定
- 受信画像の縮小設定

■ ファクス／ TEL 詳細設定

＜ファクスセッテイ＞の＜ジュシンモード＞で＜ FAX/TEL ＞を選択した場合は、以下の項目を設定できます。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［+►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［+►］を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄－］または［+►］を押して＜ F ／ T　ショウサイ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

5. ＜ヨビダシ　カイシ　ジカン＞を設定する場合は、［◄－］、［+►］、またはテンキーを使って着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間（4 秒～ 30 秒）を選択し、［OK］を押します。

設定した時間が短いと、ファクス受信時にファクスと検出されず、外付け電話機の呼び出し音が鳴る場合があります。呼び出し音が鳴ってもファクスは受信できますが、ファクス受信時に呼び出し音が鳴ってしまう場合は、＜ヨビダシ　カイシ　ジカン＞を長く設定してください。
設定した時間は、相手側は呼び出し音が何も聞こえない状態になります。
設定した時間が長いと、相手側の無音状態が長くなります。
工場出荷時の初期値は＜ 6 ビョウ＞に設定されています。

6. ＜ヨビダシ　ジカン＞を設定する場合は、［◄－］、［+►］、またはテンキーを使って呼び出し音を鳴らす時間（10 秒～ 45 秒）を選択し、［OK］を押します。

本製品がファクスを受信すると、呼び出し音が鳴らずに自動的に受信されます。
工場出荷時の初期値は＜ 22 ビョウ＞に設定されています。

7. ＜ヨビダシゴノ　ドウサ＞を設定する場合は、［◄－］または［+►］を押して、呼び出し終了後の本製品の動作を選択し、［OK］を押します。

工場出荷時の初期値は＜ジュシン＞に設定されています。
＜ジュシン＞：ファクスを受信します。
＜シュウリョウ＞：通信を切断します。

8. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

■ 手動で受信する

＜ジュシンモード＞で＜シュドウ＞を選択した場合は、以下の手順でファクスを受信します。

1. **着信音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を取ります。**

2. **［ファクス］を押します。**

3. **ビープ音が聞こえたら［スタート］を押します。**

4. **受話器を置きます。**

■ 代行受信

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品は受信した文書をいったんメモリに蓄積します。この機能を代行受信と呼びます。

メモ

- 本体のメモリは、最大で 256 ジョブまたは約 256 ページ分のデータを蓄積できます。*
  - * 相手側のファクスが Canon Satera MF4270 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メモリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。
- 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

1. **エラーランプが点灯し、メッセージが交互に表示されます。**

メモリ代行受信した場合は、ディスプレイに＜ジュシンデータプリント デキマセン／エラーカイジョゴ　プリント＞と交互に以下のメッセージが表示されます。

例）

```
ヨウシヲ　ホキュウシテクダ゛サイ
カセット　　　　　　：B5
```

原因：コピーやプリント時、受信文書のプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。
処置：用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.10-11）を参照してください。

```
ヨウシカ゛　ツマリマシタ
```

```
ハ゜ネルヲ　モチアケ゛テクダ゛サイ
トナーカハ゛ーヲ　アケテクダ゛サイ
```

原因：本体内で紙づまりが起きた。
処置：つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.10-3）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。
次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。

例）

```
タダ゛シイヨウシヲ　セットシテクダ゛サイ
カセット　　　　　　：B5
```

原因：用紙カセットまたは手差しトレイにある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞で指定した用紙と違う。
処置：用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。（→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.10-19）

```
カバーヲ シメテクダサイ
トナーカバー
```

原因：トナーカバーが完全に閉じていない。
処置：トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。

```
テザシノ ヨウシヲ ジョキョ
```

原因：手差しトレイに用紙がセットされている。
処置：手差しトレイにセットされている用紙を取り除いてください。手差しトレイに用紙がセットされていると、ファクス、レポートおよびリストはプリントされずにメモリに蓄積されます。

```
トウロクサイズヲ ヘンコウ
→ヨウシセッテイ
```

原因：プリントに適切な用紙サイズが設定されていない。
処置：レポート、リスト、受信したデータをプリントする場合は、<ヨウシセッテイ>の<カセット>を< A4 >、< OFICIO >、< BRAZIL-OFICIO >、< MEXICO-OFICIO >、< FOLIO >、< GOVERNMENT-LETTER >、< GOVERNMENT-LEGAL >、< FOOLSCAP >、< LTR >、または< LGL >に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13）
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.10-11）を参照してください。

```
ヨウシガ ツマリマシタ
ウシロカバーヲ アケテクダサイ
```

```
パネルヲ モチアゲテクダサイ
トナーカバーヲ アケテクダサイ
```

原因：本体内で紙づまりが起きた。
処置：つまった用紙を取り除いて（→用紙がつまったときには：P.10-3）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にトナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

```
ヨウシヲ セット シナオシテ クダサイ
トナーヲ セット シナオシテ クダサイ
```

原因：用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。
処置：用紙カセットと手差しトレイからセットされている用紙を取り除いてください。そのあと、用紙をセットしなおしてください。
トナーカートリッジを正しくセットしてください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.10-11）を参照してください。

```
トナーガ ナクナリマシタ
トナーヲ コウカンシテクダサイ
```

原因：トナーがなくなった。
処置：トナーを均一にならしてください。（→トナーを均一にならす：P.9-8）メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。
詳細を確認する場合は「ディスプレイの表示」（→ P.10-11）を参照してください。

2. エラーを解消すると、受信文書がプリントされます。

■ メモリ受信

受信した文書をプリントせずにメモリに保存するように設定しておくことができます。この機能をメモリ受信と呼びます。メモリ受信機能を解除すると、保存された文書はプリントされます。(→メモリ受信した文書をプリントする：P.4-25)
工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄–］または［+►］を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3. ［◄–］または［+►］を押して<ツウシン　カンリ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄–］または［+►］を押して<メモリジュシン　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

5. ［◄–］または［+►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。

メモ

メモリに保存されている文書がある場合、< OFF >を選択すると保存されている文書がプリントされます。

6. <パスワード>を設定する場合は、［◄–］または［+►］を押して<パスワード>を選択し、［OK］を押します。

パスワードを指定しない場合は、手順 8 に進んでください。

7. テンキーを使ってメモリ受信の暗証番号（最大 7 桁）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
1234567
```

8. <ジカン　シテイ>を設定する場合は、［◄–］または［+►］を押して<ジカン　シテイ>を選択し、［OK］を押します。

メモリ受信の開始時刻と終了時刻を指定できます。開始時刻になると自動的にメモリ受信に切り替わり、終了時刻になると解除されます。

9. ［◄–］または［+►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。

時刻を指定しない場合は、< OFF >を選択し手順 12 に進んでください。

10. <カイシジコク>を設定する場合は、テンキーを使って開始時刻（24 時間制）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ｶｲｼｼﾞｺｸ
             00:00
```

11. <シュウリョウジコク>を設定する場合は、テンキーを使って終了時刻（24 時間制）を入力し、［OK］を押します。

例）

```
ｼｭｳﾘｮｳｼﾞｺｸ
             00:00
```

12. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書をプリントする

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄−] または [+►] を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

   システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。
3. [◄−] または [+►] を押して<ツウシン　カンリ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。
4. [◄−] または [+►] を押して<メモリジュシン　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

   メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。
5. [◄−] または [+►] を押して< OFF >を選択し、[OK] を押します。

   メモリに保存されている文書がプリントされます。
6. [ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。

リモート受信

リモート受信機能を使うと、本製品に接続された外付け電話機からファクスを手動で受信することができます。本製品が離れた場所にある場合、または本製品が使用中の場合に便利です。
工場出荷時の初期値は< ON >、<リモート　ジュシン　ID >は< 25 >に設定されています。

リモート受信 ID を登録する

初期設定リモート受信 ID（初期値：25）を変更する場合は、以下の手順を実行します。

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄−] または [+►] を押して<ファクスセッテイ>を選択し、[OK] を押します。
3. [◄−] または [+►] を押して<ジュシン　キノウ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。
4. [◄−] または [+►] を押して<リモート　ジュシン>を選択し、[OK] を押します。
5. [◄−] または [+►] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
6. テンキーを使って新しいリモート受信 ID(00 〜 99) を入力し、[OK] を押します。
7. [ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。

ファクスをリモート受信する

1. 着信があったら、外付け電話機の受話器を取ります。
2. テンキーを使って、2 桁のリモート受信 ID を入力し、受信を開始します。

   メモ

   外付け電話機の回線設定がダイヤル回線になっている場合は、リモート受信 ID を入力する前に、[トーン] を押してプッシュ回線に切り替えてください。

3. 受信が完了したら、受話器を置きます。

■ 受信した文書のプリント方法を選択する

受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントするか、受信と同時に各ページをプリントするかを選択できます。

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄−] または [+►] を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。
3. [◄−] または [+►] を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。
4. [◄−] または [+►] を押して＜ジュシン　プリント＞を選択し、[OK] を押します。
5. [◄−] または [+►] を押してプリント方法を選択し、[OK] を押します。

   ＜メモリジュシン＞：受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントします。
   ＜プリントジュシン＞：受信と同時に各ページをプリントします。

6. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

■ DM 制限

番号非通知のファクスの受信を拒否できます。工場出荷時の初期値は＜ OFF ＞に設定されています。

1. [初期設定／登録] を押します。
2. [◄−] または [+►] を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。
3. [◄−] または [+►] を押して＜ジュシン　キノウ　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。
4. [◄−] または [+►] を押して＜ DM セイゲン＞を選択し、[OK] を押します。
5. [◄−] または [+►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。
6. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

■ 特殊なファクス出力

両面印刷機能、受信画像縮小があります。

両面印刷

受信した画像を用紙の両面にプリントできます。
工場出荷時の初期値は＜ OFF ＞に設定されています。

メモ

両面印刷の対応用紙サイズは＜ A4 ＞または＜ LTR ＞です。両面印刷をお使いになる場合は、＜ヨウシ　サイズ＞を＜ A4 ＞または＜ LTR ＞に設定してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13）

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して＜プリント　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄－］または［＋►］を押して＜リョウメンキロク＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［＋►］を押して＜ ON ＞を選択し、［OK］を押します。
6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

受信画像の縮小

原稿を数ページに分けて受信した場合、ページ下部 8mm 以内に含まれるデータは、読みやすいように次のページの先頭に重複してプリントされます。また、縮小してプリントしたり、用紙サイズからはみ出した部分を省略してプリントしたりすることもできます。
工場出荷時の初期値は＜ ON ＞に設定されています。

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して＜ファクスセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押して＜プリント　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄－］または［＋►］を押して＜ガゾウ　シュクショウ＞を選択し、［OK］を押します。
5. ［◄－］または［＋►］を押して縮小の仕方を選択し、［OK］を押します。

   ＜ ON ＞：受信した文書の長さに合わせて自動的に縮小してプリントします。
   ＜ OFF ＞：縮小しないでプリントします。
   ＜ガゾウ　ショウリャク＞：1 ページに収まらない文書の末尾を最大 24mm まで省略します。収まらない部分が 24mm を超える場合は、省略されないで次のページにプリントされます。
6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

送受信ジョブを中止する

原稿の読み込み操作や送受信操作を中止します。

1. [ファクス] を押します。
2. [ストップ／リセット] を押します。
3. <ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？>と表示されたら、[◄－] を押して<ハイ>を選択します。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ？
 〈　ハイ　　　　　　　　イイエ　〉
```

メモ

- ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。

メモリ内の送受信ジョブを確認／操作する

［システムモニタ］を押して、送受信履歴を確認したり送信中または送信待機中のジョブを確認／削除できます。

■ 送受信履歴を確認する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄ー］または［＋►］を押して＜ツウシンリレキ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄ー］または［＋►］を押して送受信履歴を表示します。
4. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

■ 送信中または送信待機中のジョブを確認／削除する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄ー］または［＋►］を押して＜ツウシン　ジョウキョウ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄ー］または［＋►］を押してメモリ内にある送受信ジョブを確認します。

   ジョブを削除する場合は、手順 4 に進んでください。削除しない場合は、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。
4. ジョブを削除する場合は、［◄ー］または［＋►］を押して削除するジョブを選択し、［OK］を押します。

   メモ

   ＜ドウホウ＞の場合は、ジョブに設定されたすべての宛先への送信がキャンセルされます。
5. ［◄ー］を押して＜ハイ＞を選択します。

   削除操作を中止する場合は、［＋►］を押して＜イイエ＞を選択します。
6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

5 プリントとスキャン

コンピュータからプリントする

以下の手順で、コンピュータからプリントします。
プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。プリンタドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

メモ

OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。

1. アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。
2. プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。
3. 設定が終了したら、[OK] をクリックします。
4. [印刷] または [OK] をクリックします。

プリント応用機能

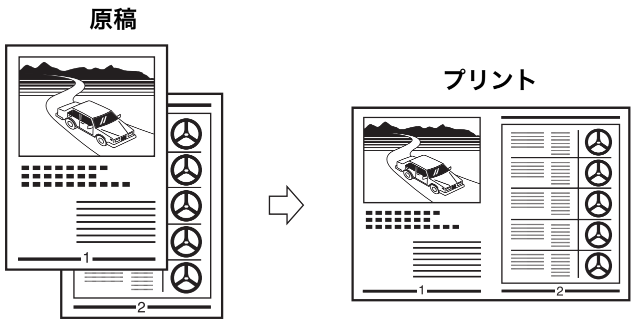
ソートプリント

プリントをページ順にそろえることができます。例えば、プリントした 3 ページの原稿の束を 1、2、3、1、2、3 とページ順に排紙します。

1. アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。
2. プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。
3. [仕上げ] タブをクリックします。
4. [排紙方法] を選択し、[ソート] を押したあと、[OK] をクリックします。
5. [印刷] または [OK] をクリックします。

2 in 1

2 in 1 は、2 枚の原稿を自動的に縮小して指定サイズにプリントします。



1. アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。
2. プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。
3. [ページ設定] タブをクリックします。
4. [ページレイアウト] の [2 ページ / 枚] を選択し、[OK] をクリックします。
5. [印刷] または [OK] をクリックします。

メモ

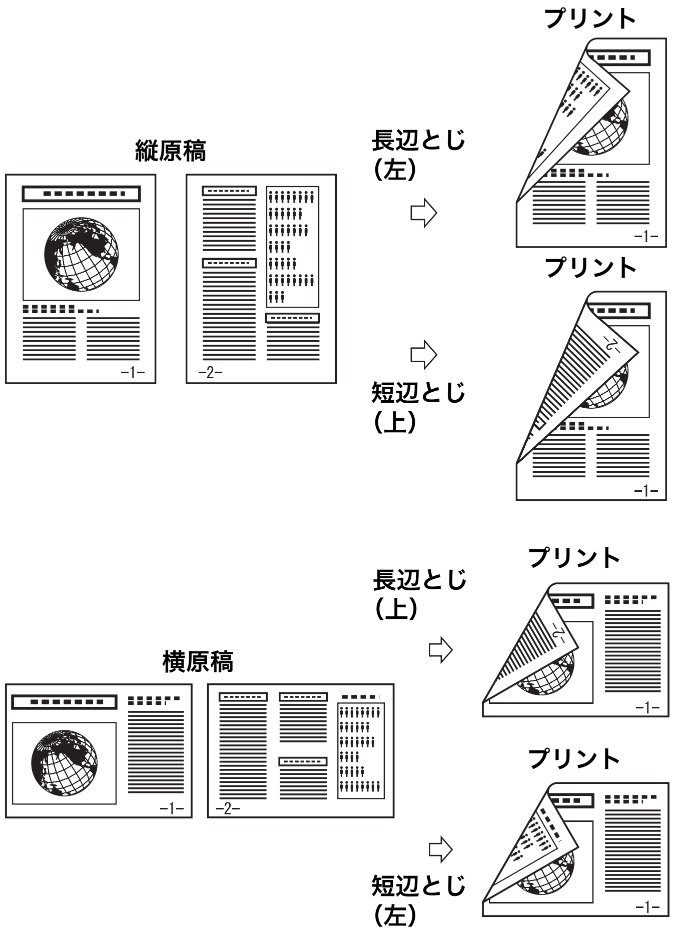
- [2 ページ／枚] の他に、[4 ページ／枚]、[6 ページ／枚]、[8 ページ／枚]、[9 ページ／枚]、[16 ページ／枚] の中から選択することができます。[ポスター（2 × 2)]、[ポスター（3 × 3)]、[ポスター（4 × 4)] を選択すると、複数枚の原稿を貼り合わせたポスターを出力することができます。
- 複数の原稿を指定のサイズに縮小する場合、プルダウンメニューの [配置順] でレイアウト内容を選択することもできます。

■ 両面プリント

両面プリント機能を使って、片面の原稿から両面プリントをすることができます。

メモ

両面プリントには以下の用紙を使用してください。
- 用紙サイズ：A4 およびレター
- 用紙の重さ：64 ～ 80g/m^2



1. アプリケーションで開いている文書から、[ファイル] → [印刷] をクリックします。
2. プリンタアイコン（Canon MF4200 Series CARPS2）を選択したあと、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックして、画面を開きます。
3. [仕上げ] タブをクリックします。
4. [印刷方法] の [両面印刷] を選択し、[OK] をクリックします。
5. [印刷] または [OK] をクリックします。

コンピュータからスキャンする（USB 接続のみ）

以下の手順で、USBで接続されたコンピュータに原稿を読み込みます。スキャナドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。
スキャナドライバの設定については、スキャナドライバガイド（付属の CD-ROM に収録されています）を参照してください。

1. 原稿をセットします。
2. [スキャン］を押します。
3. MF Toolbox を起動し、マークを選択するボタンの上にドラッグして、スキャン形式を設定します。

   選択したボタンの上にマークが表示されます。
4. [スタート］を押します。

スキャンジョブの中止

以下の手順で、進行中のジョブを中止します。

■ コンピュータへのスキャンジョブを中止する

1. ［ストップ／リセット］を押します。
2. コンピュータ画面上の［OK］をクリックします。

ジョブの確認と削除

[システムモニタ] を押して、処理中のプリントジョブの状態を確認／削除できます。

メモ

実行／メモリランプが点灯していることを確認してください。実行／メモリランプが消灯している場合は、メモリに保存されているプリントジョブはすべて消えています。

プリント状況を確認／削除する

1. [システムモニタ] を押します。
2. [◄−] または [+►] を押して<プリント　ジョウキョウ>を選択し、[OK] を押します。
3. [◄−] または [+►] を押してメモリ内にあるプリント中のジョブを確認します。

   ジョブを削除する場合は、手順 3 に進んでください。削除しない場合は、[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。
4. [◄−] または [+►] を押して削除するジョブを選択し、[OK] を押します。
5. [◄−] を押して<ハイ>を選択します。

   削除操作を中止する場合は、[+►] を押して<イイエ>を選択します。
6. [ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。

6 ネットワーク

動作環境

本製品をネットワーク環境で使用する場合に必要なシステム環境を説明します。

■ コンピュータからプリントまたはファクス送信する

コンピュータからプリントまたはファクス送信するには、以下のシステム環境が必要です。

● 対応している OS

・ Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
・ Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
・ Microsoft Windows XP Professional 日本語版
・ Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
・ Microsoft Windows Server 2003 日本語版
・ Microsoft Windows Vista 日本語版

● 対応しているコンピュータ

・ Windows 機、IBM PC 互換機

● 対応しているプロトコル

・ TCP/IP

メモ

Windows 2000 をお使いのときは、ServicePack4 以降をインストールしてください。

ネットワーク環境で使用するために必要な作業

本製品をネットワーク環境で使用する場合に必要となる基本的なネットワーク設定について説明します。はじめに以下の作業／設定が済んでいるか確認してください。

- **ネットワークケーブルの接続**

  ネットワークケーブルで本製品をネットワークに接続します。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」）

- **TCP/IP の基本的な設定**

  本製品とネットワーク上のコンピュータが通信できるように、本製品の IP アドレスなどを設定します。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」）

確認が済んだらこれから基本的なネットワーク設定を行います。設定が完了したら以下を参照の上、各機能を使用するために必要となる設定操作を行ってください。

- **コンピュータからプリントまたはファクス送信する**
  （→プリント／ファクス送信の設定：P.6-7）

メモ

各種設定操作はネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

IP アドレス設定

本製品は、DHCP を使用して IP アドレスを自動で取得できるように初期設定されています。
取得したIPアドレスを確認するには、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」を参照してください。
IP アドレスを自動で取得できない場合や、手動で設定する場合は、以下の手順で設定します。

メモ

DHCP で IP アドレスを取得できるように設定されている場合は、ネットワークケーブルを接続し、本製品の電源を入れるだけで自動的に IP アドレスを取得できます。

1. **［初期設定／登録］を押します。**
2. **［◄−］または［+►］を押して<システム　カンリセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**
3. **［◄−］または［+►］を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**
4. **［◄−］または［+►］を押して< TCP/IP セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**
5. **［◄−］または［+►］を押して< IP アドレス　ジドウシュトク>を選択し、［OK］を押します。**
6. **［◄−］または［+►］を押して< OFF >を選択し、［OK］を押します。**
7. **［◄−］または［+►］を押して< IP アドレス>を選択し、［OK］を押します。**

8. テンキーを使って IP アドレスを入力し、[OK] を押します。

例)

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.021
```

9. [◄–] または [+►] を押して< TCP/IP セッテイ >を選択し、[OK] を押します。

10. [◄–] または [+►] を押して<サブネット　マスク>を選択し、[OK] を押します。

11. テンキーを使ってサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。

例)

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
255.255.255.000
```

12. [◄–] または [+►] を押して< TCP/IP セッテイ >を選択し、[OK] を押します。

13. [◄–] または [+►] を押して<ゲートウェイアドレス>を選択し、[OK] を押します。

14. テンキーを使ってゲートウェイアドレスを入力し、[OK] を押します。

例)

```
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ
192.168.001.254
```

15. [ストップ/リセット] を押して待受画面に戻ります。

16. 主電源を入れなおします。

■ インタフェースの設定

ETHERNET ドライバ

通信方法と ETHERNET 接続の種類を設定します。
工場出荷時の初期値は<ジドウ　ケンシュツ>に設定されています。

1. [初期設定/登録] を押します。

2. [◄–] または [+►] を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3. [◄–] または [+►] を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

4. [◄–] または [+►] を押して< ETHERNET ドライバ>を選択し、[OK] を押します。

5. [◄–] または [+►] を押して<ジドウ　ケンシュツ>を選択し、[OK] を押します。

6. [◄–] または [+►] を押して検出方法を選択し、[OK] を押します。

<ジドウ>：通信モード（半二重/全二重）および ETHERNET の種類（10Base-T/100Base-TX）が自動的に検出されます。手順 11 に進んでください。
<シュドウ>：通信モードと ETHERNET の種類を手動で設定します。

メモ

電源を入れたままネットワークケーブルを再接続する場合（別の ETHERNET ハブにケーブルを接続しなおす場合など）、<ジドウ　ケンシュツ>を<ジドウ>に設定していても、自動検出機能は動作しません。（電源を切った状態でケーブルを接続してください。）

7. 手順 6 で＜シュドウ＞を選択した場合は、[◄－] または [+►] を押して＜ツウシン　ホウシキ＞を選択し、[OK] を押します。

8. [◄－] または [+►] を押して通信方式を選択し、[OK] を押します。

＜ゼンニジュウ＞：同時に送信／受信します。
＜ハンニジュウ＞：交互に送信／受信します。

9. [◄－]または[+►]を押して＜ ETHERNET ノ　シュルイ＞を選択し、[OK] を押します。

10. [◄－] または [+►] を押して ETHERNET の通信種類を選択し、[OK] を押します。

＜ 100　BASE-TX ＞：100Base-TX ネットワーク接続を設定します。
＜ 10　BASE-T ＞：10Base-T ネットワーク接続を設定します。

11. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

12. 主電源を入れなおします。

通信環境の設定

本製品とネットワーク上のコンピュータの通信環境を設定します。

SNMP

SNMP を使うと、本製品の状態の監視や、本製品の情報の入手が簡単にできます。工場出荷時の初期値は＜ ON ＞に設定されています。以下の 2 項目を設定できます。

＜コミュニティメイ＞：
SNMP のコミュニティ名を設定します。コミュニティ名は 2 つまで設定できます。
工場出荷時の初期値は＜コミュニティメイ 1 ＞に＜ public ＞が設定されています。
＜ SNMP　カキコミ　カノウ＞：
ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスし、有効になっている設定を変更できます。各コミュニティに対して別々に設定できます。
工場出荷時の初期値は＜ SNMP　カキコミ　カノウ　1 ＞に＜ ON ＞が、＜ SNMP　カキコミ　カノウ　2 ＞に＜ OFF ＞が設定されています。

1. [初期設定／登録] を押します。

2. [◄－] または [+►] を押して＜システム　カンリセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3. [◄－] または [+►] を押して＜ネットワーク　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

4. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

5. ＜SNMP ヲ　シヨウ＞と表示されていることを確認し、[OK] を押します。

6. [◄－] または [+►] を押して＜ ON ＞または＜ OFF ＞を選択し、[OK] を押します。

＜ ON ＞：本製品の各項目を設定または確認する場合、SNMP を使用するユーティリティで情報を取得します。
＜ OFF ＞：SNMP ユーティリティを使用しません。手順 19 に進んでください。

メモ

キヤノンのプリンタドライバを使用する場合は、＜ ON ＞を選択してください。

7. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

8. ＜コミュニティメイ 1 ＞と表示されていることを確認し、[OK] を押します。

9. テンキーを使って「public」以外のコミュニティ名を入力し、[OK] を押します。

10. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

11. ＜コミュニティメイ 2 ＞を設定する場合は、[◄－] または [+►] を押して＜コミュニティメイ 2 ＞を選択し、[OK] を押します。

＜コミュニティメイ 2 ＞を設定しない場合は、手順 14 に進んでください。

12. テンキーを使ってコミュニティ名を入力し、[OK] を押します。

13. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

14. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　カキコミ　カノウ　1 ＞を選択し、[OK] を押します。

15. [◄－] または [+►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。

16. ＜ SNMP　カキコミ　カノウ　2 ＞を設定する場合は、[◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

＜ SNMP　カキコミ　カノウ　2 ＞を設定しない場合は、手順 19 に進んでください。

17. [◄－] または [+►] を押して＜ SNMP　カキコミ　カノウ　2 ＞を選択し、[OK] を押します。

18. [◄－] または [+►] を押して＜ ON ＞を選択し、[OK] を押します。

19. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

20. 主電源を入れなおします。

プリント／ファクス送信の設定

プリントやファクス送信するために必要な本製品のネットワーク設定およびコンピュータの設定をします。
プリントやファクス送信の設定の前に、以下を設定しておく必要があります。

メモ

各種設定操作はネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

1. ネットワークケーブルを本製品に接続します。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」）

ネットワークケーブルで本製品をネットワークに接続します。

2. TCP/IP の基本的な設定をします。（→ IP アドレス設定：P.6-3 またはスタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」）

本製品とネットワーク上のコンピュータが通信できるように、本製品の IP アドレスなどを設定します。設定には以下を使用します。

- 本製品の操作パネル（[初期設定／登録]）
- NetSpot Device Installer（付属の CD-ROM に収録されているキヤノンユーティリティソフトウェア）

3. 基本的なネットワークの設定をします。

確認が済んだらこれから基本的なネットワーク設定を行います。設定には以下を使用します。

- 本製品の操作パネル
- ウェブブラウザ（リモート UI）

■ 本製品の設定

TCP/IP ネットワークを使用する場合のプリント方法を設定します。
工場出荷時の初期値は、< LPD インサツ>と< RAW インサツ>が< ON >に設定されています。

1. [初期設定／登録] を押します。

2. [◄−] または [+►] を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3. [◄−] または [+►] を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

4. [◄−] または [+►] を押して< TCP/IP セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

5. [◄−] または [+►] を押して< LPD インサツ>を選択し、[OK] を押します。

6. [◄−] または [+►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。

< ON >：プリント用アプリケーションに LPD を使用します。
< OFF >：LPD 印刷を使用しません。

7. [◄−] または [+►] を押して< TCP/IP セッテイ>を選択し、[OK] を押します。

8. [◄−] または [+►] を押して< RAW インサツ>を選択し、[OK] を押します。

9. **[◄–]または[+►]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。**

< ON >：プリント用アプリケーションに RAW を使用します。
< OFF >：RAW 印刷を使用しません。手順 10 に進んでください。

10. **[ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。**

11. **主電源を入れなおします。**

コンピュータの設定

● TCP/IP ネットワークに接続する

本製品を使用するすべてのコンピュータに TCP/IP クライアントソフトウェアがインストールされ、TCP/IP ネットワークが利用可能な状態である必要があります。詳細については、オペレーティングシステムの取扱説明書を参照してください。

● プリンタドライバのインストールおよび接続先を設定する

コンピュータからプリントするには、プリンタドライバをインストールし、接続先を設定する必要があります。インストール方法は、スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」を参照してください。接続先設定は、プリント用アプリケーションによって異なります。以下の情報を基に、お使いになるプリント用アプリケーションを決定し、必要な手順を実行してください。

LPD：TCP/IP で通常使用するアプリケーションです。
Raw：Windows 2000/XP/Server 2003/Vista で使用するアプリケーションです。LPD より高速でプリントできます。

メモ

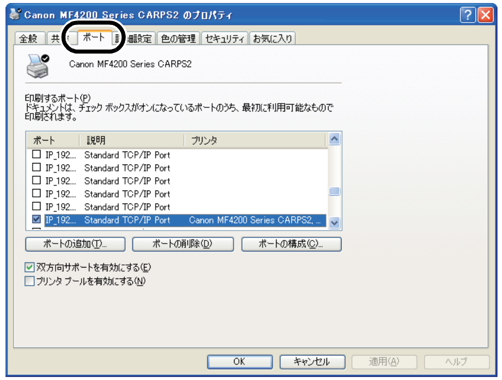
手順中の画面や項目名は、Windows XP のものです。OS の種類によっては、項目名が異なることがあります。

1. **プリンタのプロパティ画面を開きます。**

- Windows Vista の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］をクリックします。

2. **[Canon MF4200 Series CARPS2]または[Canon MF4200 Series（FAX）]を右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3. **［ポート］タブをクリックして［ポート］のページを表示させます。**



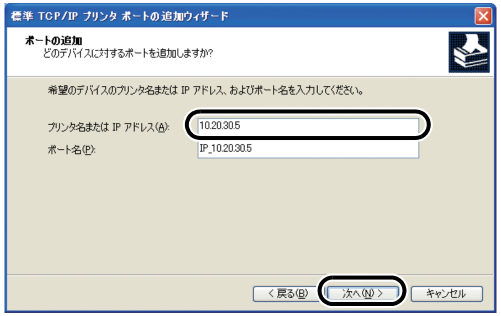
4. **［ポートの追加］をクリックして［プリンタポート］画面を開きます。**

5. **［利用可能なポートの種類］から、[Standard TCP/IP Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。**

標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動します。

6. ［次へ］をクリックします。

7. ［プリンタ名または IP アドレス］で、本製品の IP アドレスかホスト名を入力し、［次へ］をクリックします。



本製品に割り当てた IP アドレスを入力してから［次へ］をクリックすると、［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］ウィンドウが表示されます。

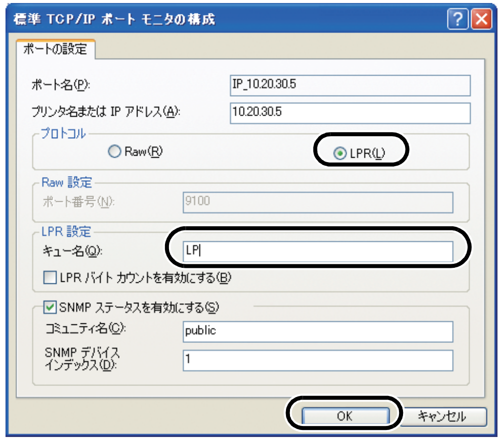
8. ［完了］をクリックします。

ダイアログボックスに［ポート情報がさらに必要です。］と表示された場合は、画面の手順に従って再検出を行うか、［標準］をクリックします。プルダウンリストから［Canon Network Printing Device with P9100］をクリックし、［次へ］をクリックします。

9. ［閉じる］をクリックして［プリンタポート］画面を閉じます。

10. プリンタのプロパティボックスで、［ポートの構成］をクリックします。［プロトコル］で［LPR］をクリックし、［LPR 設定］で［キュー名］にプリントキューを入力します。

Raw 印刷をお使いになる場合は、［プロトコル］で［Raw］が選択されていることを確認し、手順 11 に進んでください。



メモ

［キュー名］にプリントキューを設定できます。以下の 3 つのプリントキューが利用できます。
LP：スプール設定のとおりにプリントします。通常はこの設定を選択します。
SPOOL：スプール設定に関係なく、ハードディスク上のプリントジョブをスプールしてからのみプリントします。
DIRECT：スプール設定に関係なく、ハードディスク上のプリントジョブをスプールしないでプリントします。

11. ［OK］をクリックします。

12. ［閉じる］をクリックします。

プリントサーバを設定する

ネットワーク上の Windows 2000/XP/Server 2003/Vista をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各パソコンはプリンタドライバをネットワークからインストールできるようになります。

1. プリンタドライバのプロパティ画面を表示します。

- Windows Vista の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。
- Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］をクリックします。
- Windows XP Home Edition の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］をクリックします。

2. 本製品のプリンタドライバアイコンを右クリックし、［共有］を選択します。

3. Windows Vista の場合は、［共有オプションの変更］をクリックします。

他の OS をお使いの場合は、手順 4 に進んでください。

メモ

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

4. ［このプリンタを共有する］（Windows 2000 の場合は［共有する］）を選択して、任意の共有名を入力します。

5. 本商品を Windows 2000/XP/Server 2003 以外のパソコンと共有するときは、［追加ドライバ］をクリックします。

選択した OS 用のプリンタドライバインストールの画面が表示されます。プリンタドライバのファイルの場所を入力して、画面の指示に従ってください。

メモ

他のパソコンにプリンタドライバをインストールするときは、［プリンタの追加ウィザード］のプリンタの接続先を選択する画面で［ネットワークプリンタ］を選択して、プリントサーバに設定したパソコンの共有プリンタを選択してください。

6. ［OK］をクリックします。

共有プリンタの設定が完了しました。

その他のネットワーク設定

お使いのネットワーク環境や用途に応じて必要となるネットワーク設定について説明します。

メモ

各種設定操作はネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

TCP/IP 設定

HTTP 設定

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はウェブブラウザ（リモート UI）を使用する場合に必要です。
工場出荷時の初期値は< ON >に設定されています。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄－］または［＋►］を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3. **［◄－］または［＋►］を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄－］または［＋►］を押して< TCP/IP セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄－］または［＋►］を押して< HTTP ヲ　シヨウ>を選択し、［OK］を押します。**

6. **［◄－］または［＋►］を押して< ON >を選択し、［OK］を押します。**

7. **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

8. **主電源を入れなおします。**

ポート番号の設定

お使いの環境に応じて各種プロトコルのポート番号を変更します。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄－］または［＋►］を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3. **［◄－］または［＋►］を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄－］または［＋►］を押して< TCP/IP セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄－］または［＋►］を押して<ポートバンゴウ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

6. **［◄－］または［＋►］を押してポート番号を変更するプロトコルを選択し、［OK］を押します。**

7. **テンキーを使ってポート番号を入力し、［OK］を押します。**

8. **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

9. **主電源を入れなおします。**

■ 起動時間の設定

本製品をスイッチングハブなどに接続している場合は、ネットワークの設定が正しくてもネットワークへの接続ができないことがあります。これは、スイッチングハブ間でのスパニングツリー処理により、本製品をスイッチングハブに接続した直後は本製品とスイッチングハブ間の通信ができないためです。この場合は、本製品の通信開始を待機させる必要があります。
工場出荷時の初期値は< 60 ビョウ>に設定されています。

1. **[初期設定／登録]を押します。**
2. **[◄−]または[+►]を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、[OK]を押します。**
   システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK]を押します。
3. **[◄−]または[+►]を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、[OK]を押します。**
4. **[◄−]または[+►]を押して<キドウジカンノ　セッテイ>を選択し、[OK]を押します。**
5. **[◄−]、[+►]、またはテンキーを使って本製品のネットワーク部の起動時間（0 秒～ 300 秒）を設定し、[OK]を押します。**
6. **[ストップ／リセット]を押して待受画面に戻ります。**
7. **主電源を入れなおします。**

ネットワーク設定の確認

ネットワークの設定内容（IP アドレス／サブネットマスク／ゲートウェイアドレス）を確認できます。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄−］または［+►］を押して<システム　カンリセッテイ>を選択し、［OK］を押します。

   システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3. ［◄−］または［+►］を押して<ネットワーク　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄−］または［+►］を押して< IP アドレス　カクニン>を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄−］または［+►］を押して確認する設定項目を選択し、［OK］を押します。

6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

本製品を管理する

以下のソフトウェアを使って、コンピュータから本製品の状態の確認や設定をすることができます。

- リモート UI
- NetSpot Device Installer（付属の CD-ROM に収録されているキヤノンユーティリティソフトウェア）

リモート UI を使って本製品を管理する

本製品にインストールされているリモート UI を使って、ウェブブラウザから本製品を管理できます。
リモート UI の起動方法については、
「リモート UI を使うには」（→ P.7-3）を参照してください。

NetSpot Device Installer を使って管理する

NetSpot Device Installer は、ネットワークに接続されているキヤノン製品の初期設定をするユーティリティソフトウェアです。NetSpot Device Installer は CD-ROM に収録されています。NetSpot Device Installer をインストールすることにより、キヤノン製品のネットワークの初期設定を簡単にすばやく行うことができます。
NetSpot Device Installer の使いかたについては、NetSport Device Installer のオンラインヘルプを参照してください。

7 リモート UI

動作環境

リモート UI を使用するには、以下のシステムおよびネットワーク環境が必要です。

● オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2000 Professional
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Vista

● ウェブブラウザ

- Microsoft Internet Explorer 5.01 SP4 以降（Internet Explorer 6.0 以降を推奨）

リモート UI を使うには

リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザからネットワークに接続された本製品へのアクセスと管理ができます。

- **ネットワーク上のパソコンから本製品の状況を確認できます**
- **パソコンから本製品の設定や操作ができます**

■ リモート UI を起動する

メモ

・リモート UI を起動する前に、<システム　カンリ　セッテイ>にある<ネットワーク　セッテイ>の< IP アドレス　カクニン>を選択し、本製品の IP アドレスを確認します。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。(→ネットワーク設定の確認：P.6-13)
・リモート UI には、プロキシサーバ経由では接続できません。プロキシサーバをお使いの環境では、ウェブブラウザでプロキシを使用しないアドレスに本製品の IP アドレスを設定してください。

1. ウェブブラウザを起動します。

2. アドレスバーに本製品の IP アドレスを入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。

リモート UI 画面が表示されます。

3. ログオンするモードを選択します。

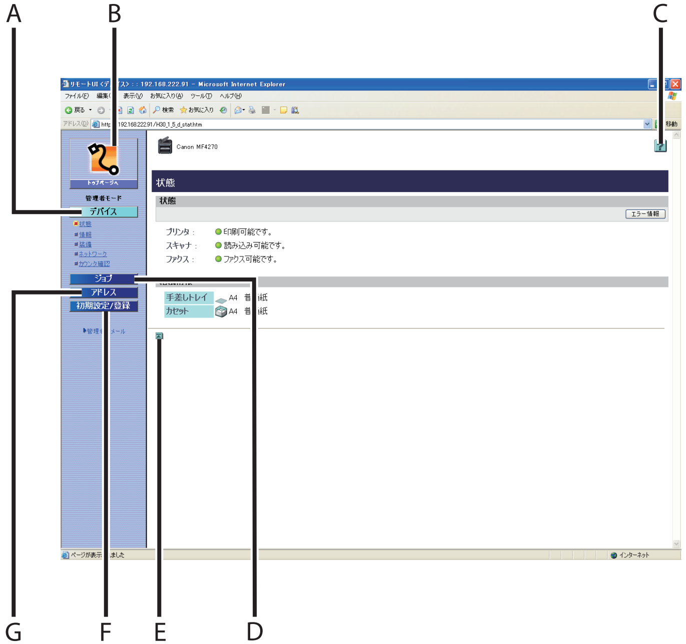
[管理者モード]：[管理者モード] を選択し、システム管理暗証番号を入力します。システム管理暗証番号を設定していない場合は、入力する必要はありません。
[一般ユーザモード]：[一般ユーザモード] を選択し、ユーザ名を入力します。

メモ

システム管理暗証番号については、「システム管理暗証番号を設定する」(→ P.8-2) を参照してください。

4. [OK] をクリックします。

リモート UI にログオンすると［デバイス］の［状態］ページが表示されます。

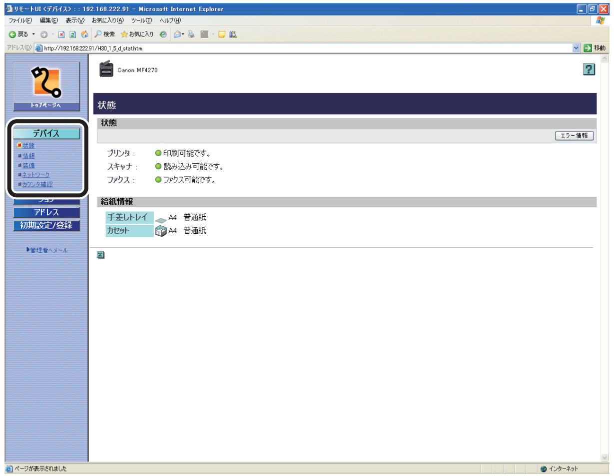


A	デバイス	本製品の現在の状態などを表示します。
B	トップページへ	リモート UI のトップページに戻ります。
C	?	リモートUIのオンラインヘルプを表示します。
D	ジョブ	現在のプリントジョブなどの状態を表示します。
E		表示中のページのトップに戻ります。
F	初期設定/登録	本製品の設定リストなどを表示します。
G	アドレス	本製品に登録されている宛先表の各宛先（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなど）を表示します。

本製品の状態と情報を表示する

リモート UI を使って、本製品の現在の状態、管理者、設置場所、各種設定などの情報を表示することができます。

1. **［デバイス］をクリックし、メニューから表示したい項目を選択します。**



［状態］	本製品の現在の状態とエラーメッセージが表示されます。エラーの詳細を確認するには、［エラー情報］をクリックします。
［情報］	管理者についての情報や設置場所などの、本製品に関する情報が表示されます。
［装備］	現在のシステム設定で使用可能な機能が表示されます。
［ネットワーク］	利用できるネットワークインタフェースとネットワークプロトコルについての情報が表示されます。管理者モードでログオンした場合は、これらの設定を変更することもできます。
［カウンタ確認］	今までにプリント、コピー、受信印刷ジョブで印刷された総排紙枚数が表示されます。

メモ

ネットワーク設定の変更は、本製品の主電源スイッチを入れなおしたあとに有効になります。設定を変更したあと、一度本製品の主電源を切り、10 秒後に電源を入れなおしてください。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

ジョブを管理する

リモート UI から、プリントジョブを管理することができます。また、送受信の結果を表示することもできます。

■ プリントジョブを管理する

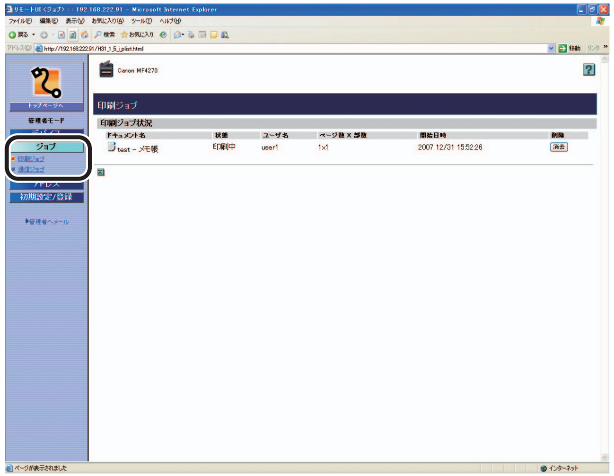
リモート UI から印刷中や待機中のプリントジョブを管理できます。

メモ

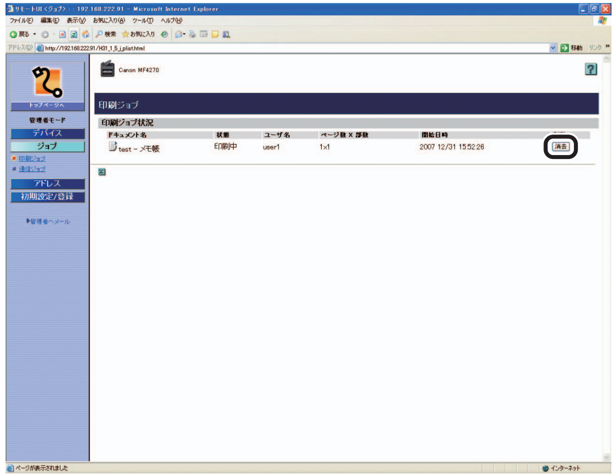
一般ユーザモードでログオンした場合、［初期設定／登録］→［システム管理］→［編集］→［暗証番号の登録］で［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］にチェックマークがついていないときは、印刷ジョブを削除できません。［一般ユーザによるジョブ操作を許可する］にチェックマークがついているときは、ログオンするときに入力したユーザ名と「ユーザ名」が一致するジョブのみ、削除することができます。（→システム管理の設定をする：P.7-12）

1. **［ジョブ］をクリックし、メニューから［印刷ジョブ］を選択します。**

印刷中や待機中のジョブの一覧が表示されます。



2. **プリントジョブを削除する場合は、削除したいジョブの［消去］をクリックします。**



メモ

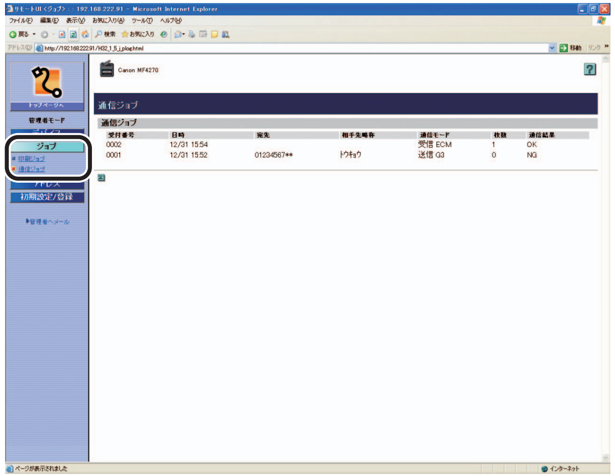
削除したジョブは、元に戻せません。

■ 通信履歴を表示する

リモート UI を使って、送受信ジョブの通信履歴を表示できます。通信履歴には最新の送受信ジョブが 60 件まで表示されます。

1. **[ジョブ] をクリックし、メニューから [通信ジョブ] を選択します。**

[通信ジョブ] が表示され、通信済みの送受信ジョブの情報を確認できます。



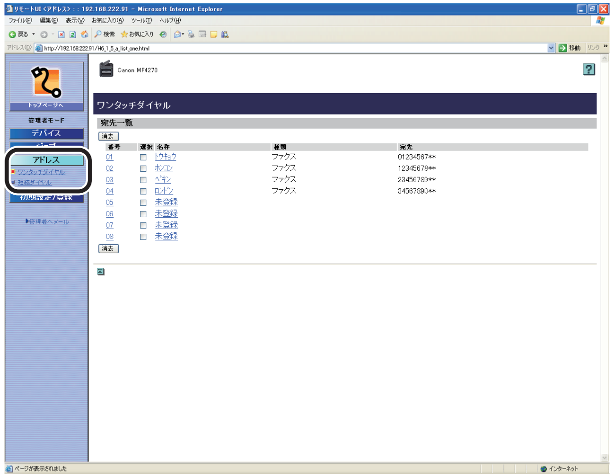
宛先表を表示／操作する

リモートUIから、宛先表の各宛先の追加や編集をすることができます。

メモ

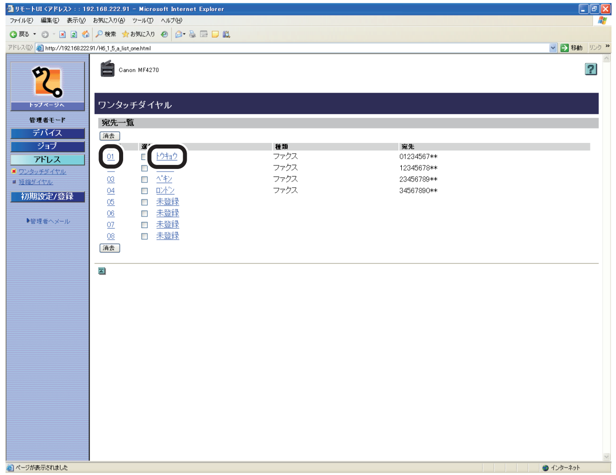
- ［ワンタッチダイヤル］と［短縮ダイヤル］は、本製品のパネルからも設定できます。詳細については、「各種機能を登録／設定する」（→ P.11-3）を参照してください。
- 管理者モードでログオンした場合のみ、設定を変更できます。

1. ［アドレス］をクリックし、メニューから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択します。

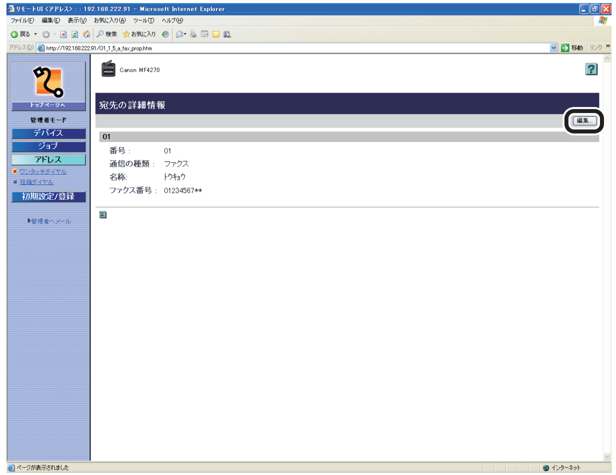


● 登録済みの宛先を表示／編集するには：

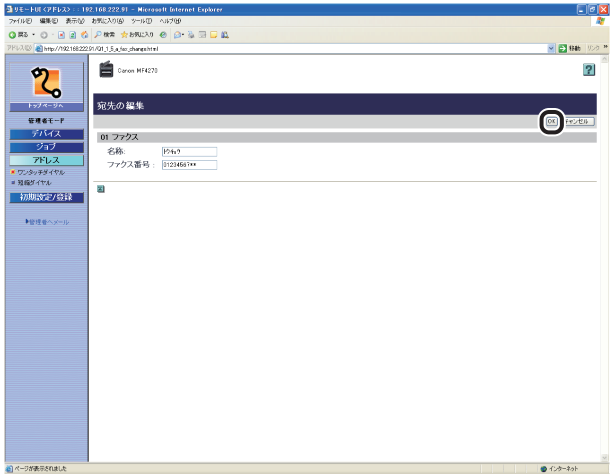
現在の宛先を表示するには、番号または名称をクリックします。



登録内容を編集するには、［編集］をクリックします。

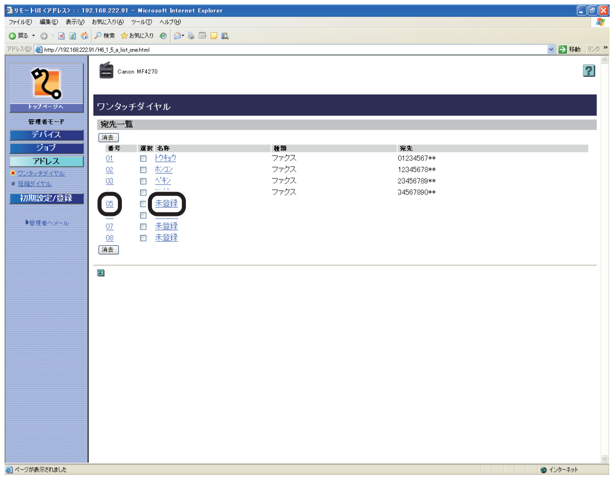


必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

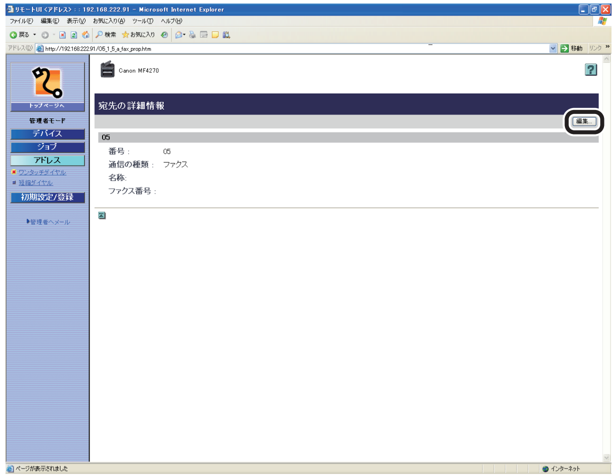


● **新しい宛先を登録するには：**

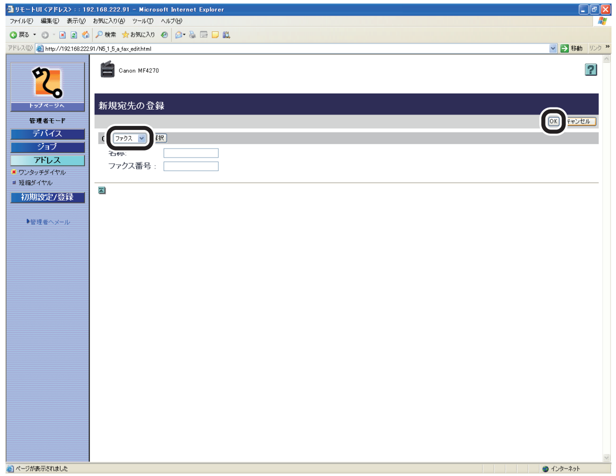
［未登録］または名称に［未登録］と表示されている番号をクリックします。



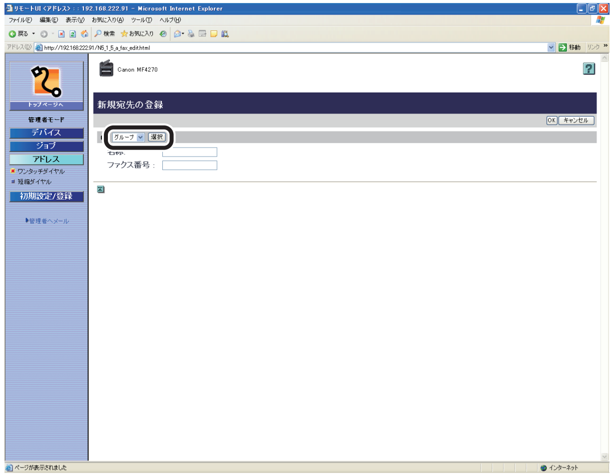
［編集］をクリックします。



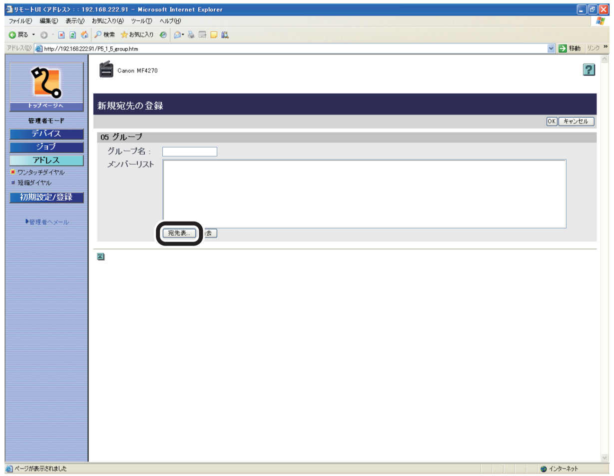
ファクス番号を登録するには、プルダウンリストから［ファクス］を選択し、必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。



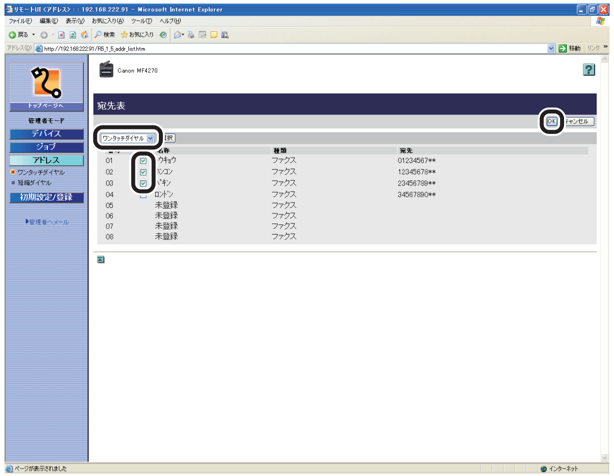
グループダイヤルを登録するには、プルダウンリストから［グループ］を選択し、［選択］をクリックします。



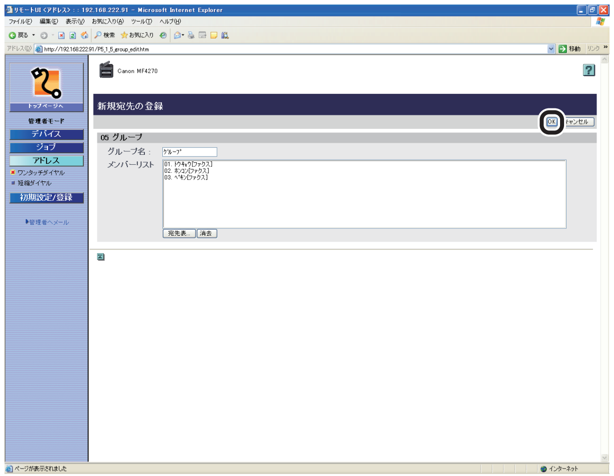
［グループ名］に名称を入力して、［宛先表］をクリックします。



プルダウンリストから［ワンタッチダイヤル］または［短縮ダイヤル］を選択し、グループに登録する番号のチェックボックスを選択して［OK］をクリックします。

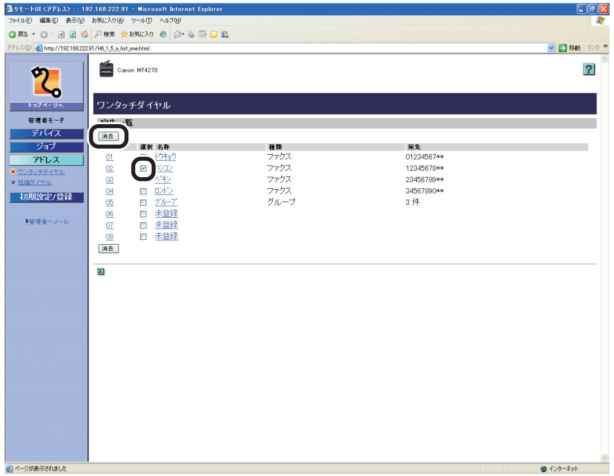


［メンバーリスト］に登録した宛先が表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。



● **登録済みの宛先を削除するには：**

削除したい番号のチェックボックスを選択し、[消去] をクリックします。



メモ

削除した宛先は元に戻せません。

システム管理の設定をする

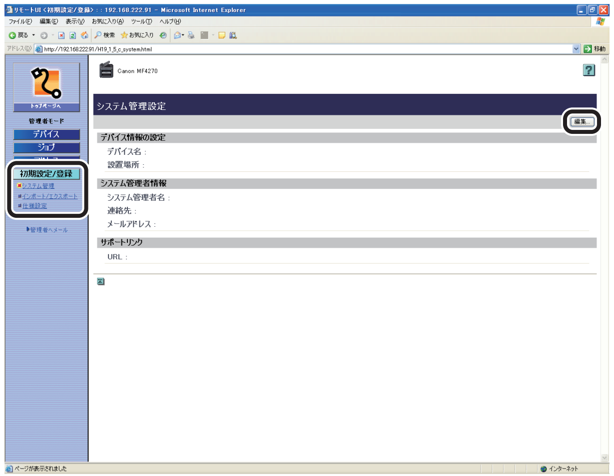
■ システム管理情報の設定をする

リモート UI から、本製品のシステムを管理する情報を設定できます。

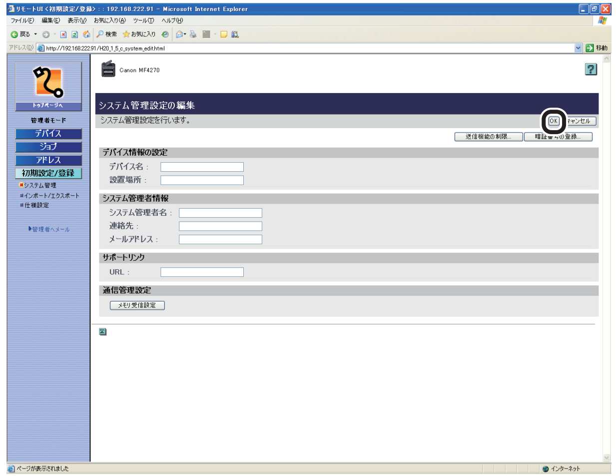
メモ

[システム管理] は、本製品の操作パネルからも設定できます。詳細については、「各種機能を登録／設定する」（→ P.11-3）を参照してください。

1. [初期設定／登録] をクリックし、メニューから [システム管理] をクリックして、[編集] をクリックします。



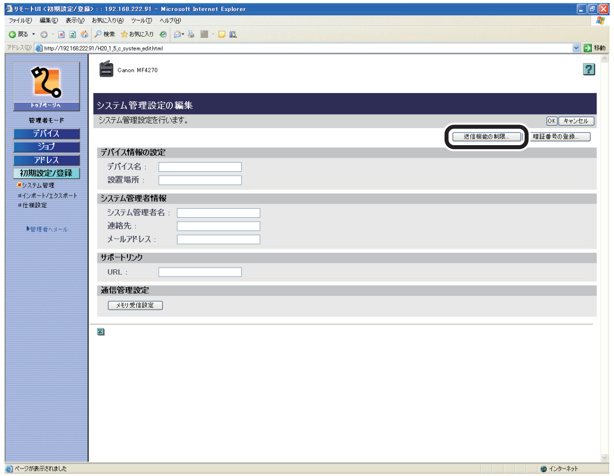
2. 必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。



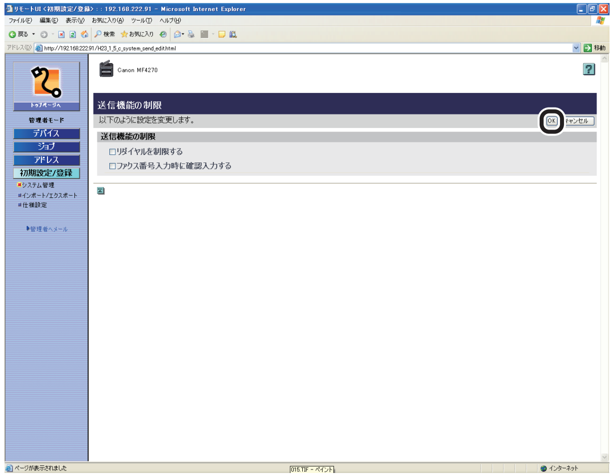
お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

● **宛先の制限を設定するには：**

［送信機能の制限］をクリックします。

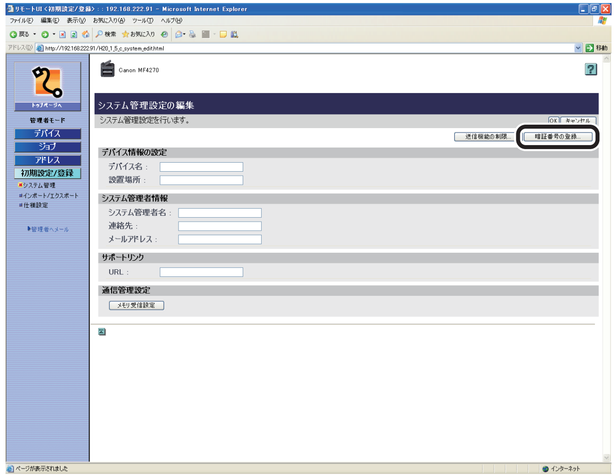


必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。

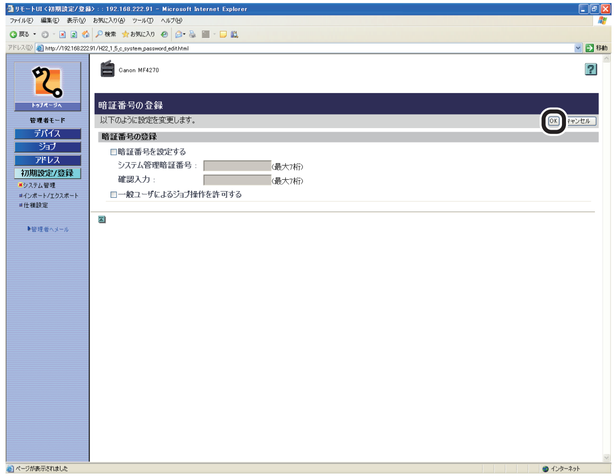


● **システム管理暗証番号を設定するには：**

［暗証番号の登録］をクリックします。



必要な項目を設定して、［OK］をクリックします。



暗証番号を設定する：	システム管理暗証番号を設定するには、このチェックボックスを選択します。
システム管理暗証番号：	数字（最大 7 桁）を入力します。
確認入力：	暗証番号を再度入力します。もし入力した数字が［システム管理暗証番号］に入力した数字と違っている場合、エラーのダイアログボックスが表示されます。
一般ユーザによるジョブ操作を許可する：	本製品が一般ユーザモードのとき、ログインしたユーザ名の印刷ジョブの削除を許可するには、このチェックボックスを選択します。

宛先表の情報をファイルに保存する／ファイルから読み込む

リモート UI を使って、本製品に登録されている宛先表の情報をパソコンのファイルに保存したり、ファイルから読み込んで本製品に登録したりすることができます。インポート／エクスポートはデータの交換を目的としたもので、リモート UI のみの機能です。

注意

インポート／エクスポートは動作が完了するまでに数分かかることがあります。動作が完了するまで、本製品の主電源を切らないでください。本製品が故障する恐れがあります。

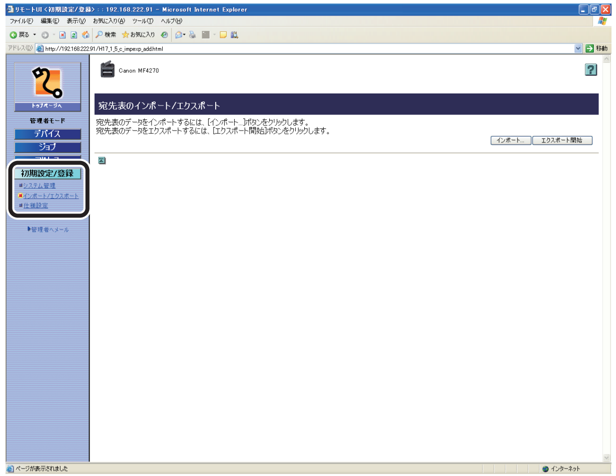
メモ

- 本製品がスリープモードの場合は、インポートする前に操作パネルの［節電］を押し、スリープモードを解除してください。
- エクスポートの動作中は、動作が完了するまで、画面は変わりません。砂時計やポインタが動作中を示している間は、画面上のボタンをクリックしないでください。
- ［インポート／エクスポート］は、管理者モードでログオンした場合のみ表示されます。

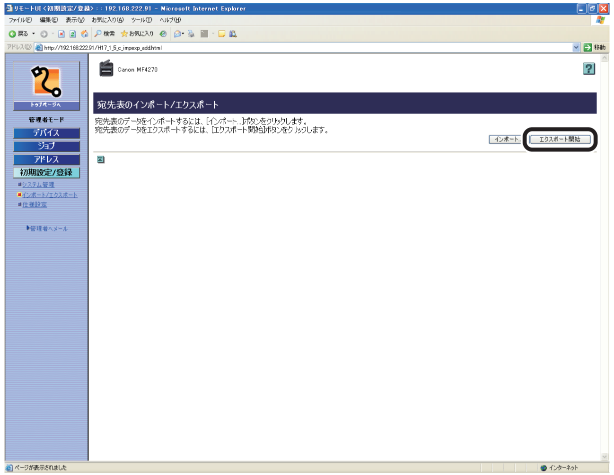
■ 宛先表をファイルに保存する（エクスポート）

宛先表の情報をファイルとしてパソコンに保存できます。

1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックします。



2. ［エクスポート開始］をクリックします。



3. 画面の指示に従って、ファイルの保存場所を指定します。

指定した場所に宛先表が保存されます。

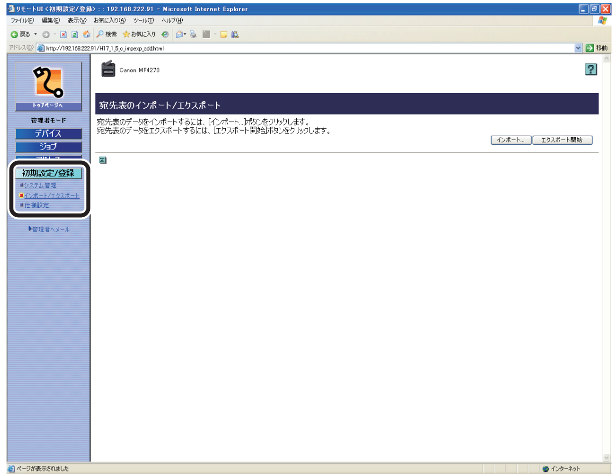
■ 宛先表をファイルから読み込む（インポート）

パソコンに保存したファイルから、宛先表の情報を本製品に読み込むことができます。

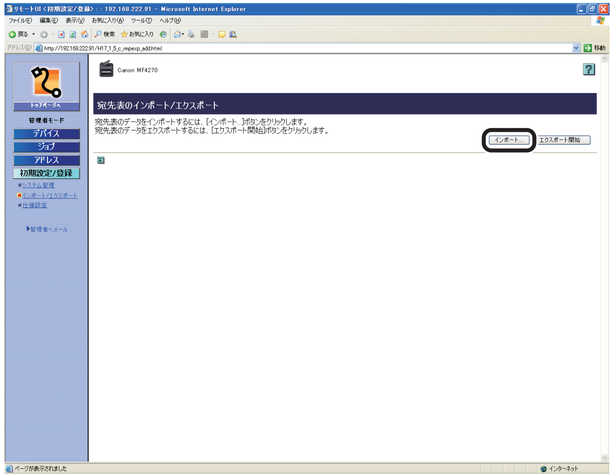
メモ

- 新しいファイルの内容を登録すると、現在登録されている宛先に新しい宛先表が上書きされます。
- 宛先表には最大 108 件の宛先を登録できます。宛先はそれぞれの情報が 1 件として扱われます。

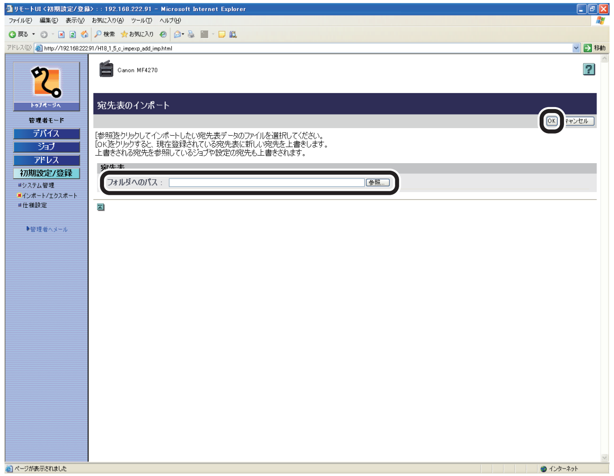
1. ［初期設定／登録］をクリックし、メニューから［インポート／エクスポート］をクリックします。



2. ［インポート］をクリックします。



3. ［参照］をクリックしてインポートするファイルを選択し、［OK］をクリックします。



メモ

他のジョブを実行中は、インポートを行わないでください。

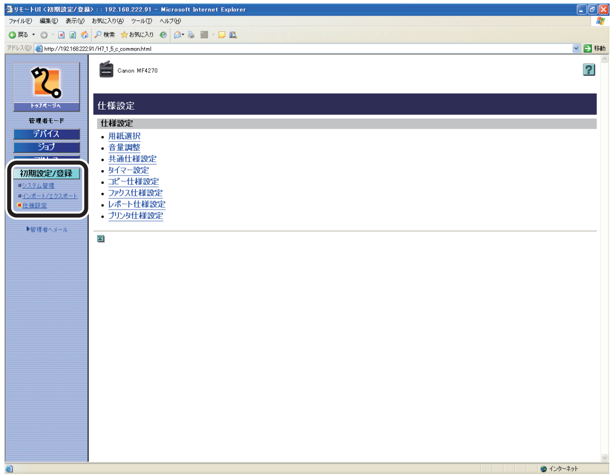
デバイスの仕様設定をする

リモート UI から、デバイスの仕様を設定することができます。

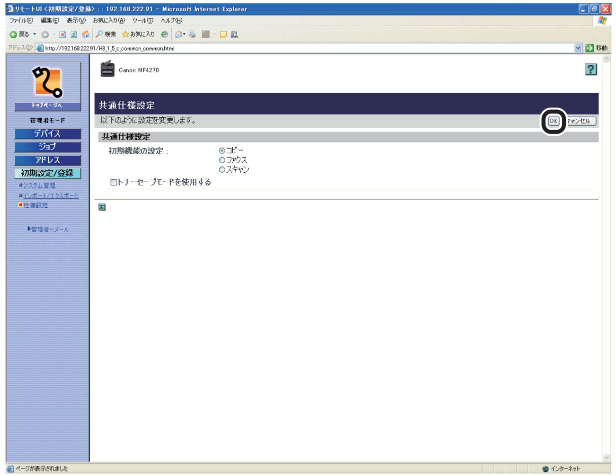
メモ

[仕様設定] は、本製品の操作パネルからも設定できます。詳細については、「各種機能を登録／設定する」(→ P.11-3) を参照してください。

1. [初期設定／登録] をクリックし、メニューから [仕様設定] をクリックして、設定する項目をクリックします。



2. 各項目を設定したあと、[OK] をクリックします。



共通仕様設定画面

8 システム管理設定

システム管理暗証番号を設定する

本製品のシステム管理暗証番号を設定します。システム管理暗証番号を設定すると、番号を入力した場合のみ<システム　カンリ　セッテイ>メニューを操作することができます。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して<システム　カンリ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

   システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、［OK］を押します。

3. ［◄－］または［＋►］を押して<システムカンリシャ　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄－］または［＋►］を押して<カンリ　アンショウバンゴウ>を選択し、［OK］を押します。

5. テンキーを使ってシステム管理暗証番号を入力し、［OK］を押します。

   メモ
   入力内容を消去する場合は、［クリア］を押してください。入力内容をすべて消去できます。

6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

宛先操作／送信機能を制限する

宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。設定できる内容は以下のとおりです。

・ 送信前にファクス番号を再度確認する
・ リダイヤル機能を制限する

■ 送信前にファクス番号を再度確認する

ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかの設定をします。ファクス番号を 2 度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを再度確認してから原稿を送信することができます。ファクス番号の再入力画面はテンキーを使って宛先を指定した場合に表示されます。
工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。

1. **[初期設定／登録] を押します。**

2. **[◄−] または [+►] を押して<システム　カンリ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3. **[◄−] または [+►] を押して<ソウシンキノウノ セイゲン>を選択し、[OK] を押します。**

4. **[◄−] または [+►] を押して<ファクス NO. カクニンニュウリョク>を選択し、[OK] を押します。**

5. **[◄−] または [+►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。**

< OFF >：ファクス番号の再入力画面は表示されません。
< ON >：ファクス番号の再入力画面が表示されます。

6. **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

■ リダイヤル機能を制限する

リダイヤル機能の使用を許可するかどうかの設定をします。制限機能を有効にすると、以前に指定した宛先を [リダイヤル／ポーズ] を押して呼ぶ出すことができなくなります。
工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。

1. **[初期設定／登録] を押します。**

2. **[◄−] または [+►] を押して<システム　カンリ セッテイ>を選択し、[OK] を押します。**

システム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。

3. **[◄−] または [+►] を押して<ソウシンキノウノ セイゲン>を選択し、[OK] を押します。**

4. **[◄−] または [+►] を押して<リダイヤルノ　セイゲン>を選択し、[OK] を押します。**

5. **[◄−] または [+►] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。**

6. **[ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。**

9 日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認してください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを確認してから、主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布をお使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、静電気発生の原因になったりすることがあります。

注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体内部の部品を損傷する恐れがあります。

■ 本体のお手入れ

1. **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2. **水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。**

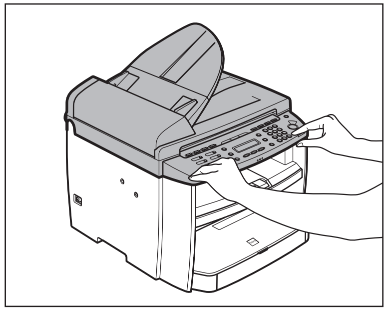
3. **乾いてから電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。**

■ 内部のお手入れ

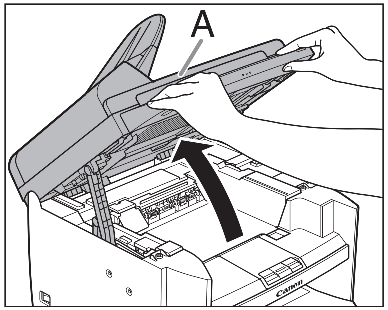
プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの粉や紙ぼこりがたまらないようにしてください。

1. **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

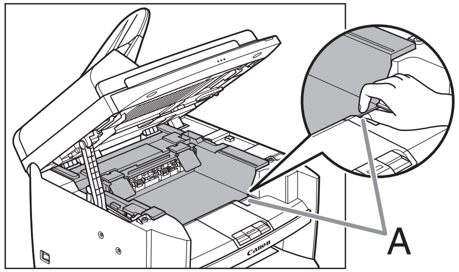
2. **操作パネル部の両端を両手で持ちます。**



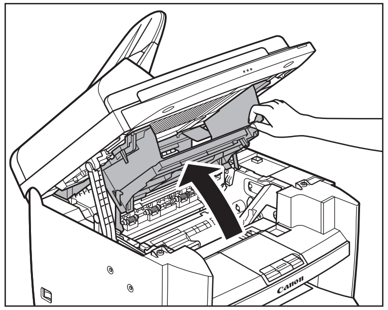
3. **操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）**



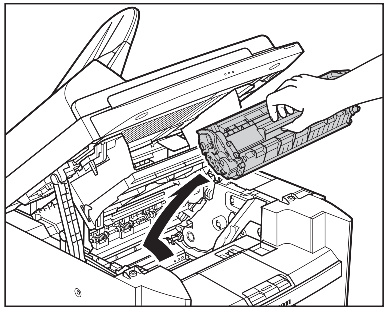
4. **トナーカバーの右手前にあるつまみ (A) を持ちます。**



5. **トナーカバーを開けます。**

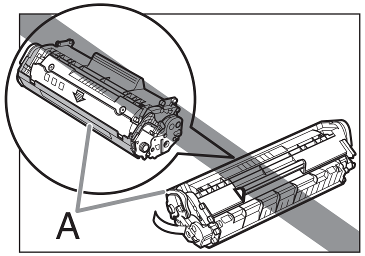


6. **トナーカートリッジを取り出します。**



注意

- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりすると、印字の質が低下することがあります。



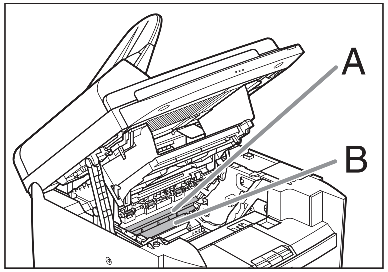
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

7. **清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼこりを取り除きます。**

注意

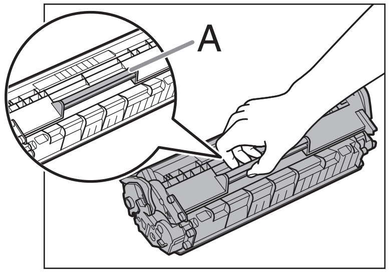
- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。



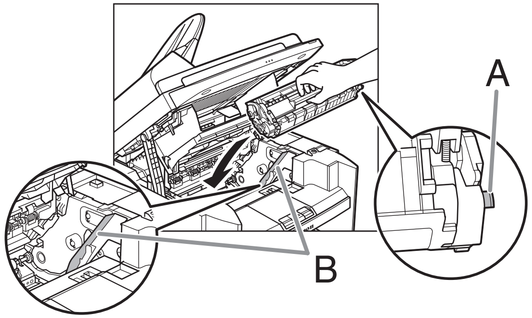
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うとトナーが定着し、落ちなくなります。

8. **トナーカートリッジの取っ手を持ちます。**

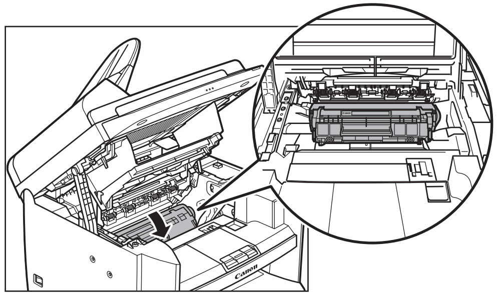
矢印（A）を本体に向けてください。



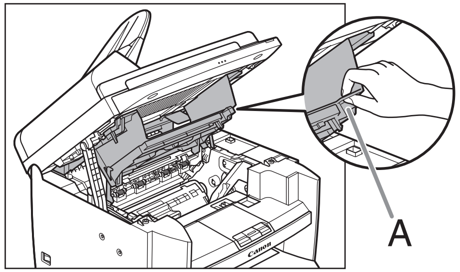
9. **トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。**



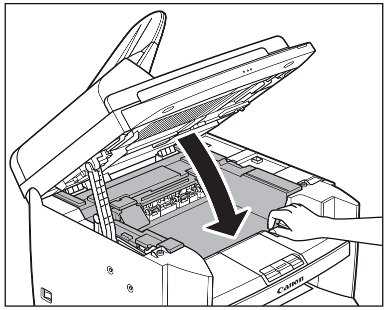
10. **トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。**



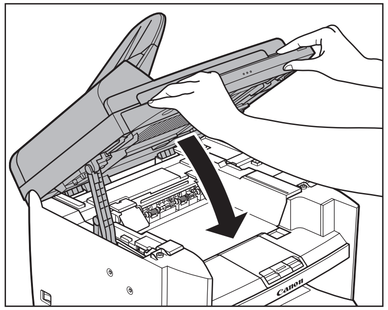
11. トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



12. トナーカバーを閉じます。



13. 操作パネル部を下げます。



注意

・ 指をはさまないよう注意してください。
・ トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

14. 電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。

■ 定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合は、定着器が汚れている可能性があります。このような場合は、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。トナーカートリッジを交換したときにもクリーニングしてください。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、クリーニングを開始します。

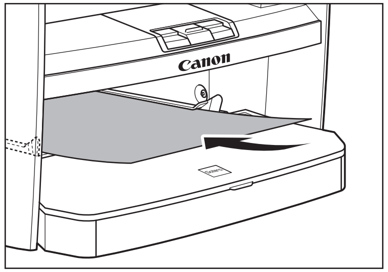
メモ

クリーニングには約 130 秒かかります。

1. ［初期設定／登録］を押します。

2. ［◄－］または［＋►］を押して<チョウセイ／ クリーニング>を選択し、［OK］を押します。

3. A4 の白紙を 1 枚、手差しトレイにセットします。



4. [◄−] または [+►] を押して<テイチャクキノ クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

クリーニングが開始されます。

メモ

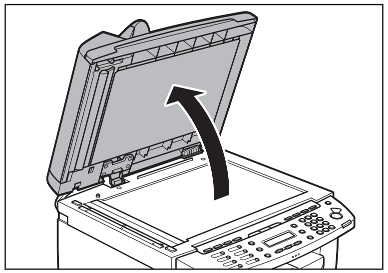
- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してください。
- クリーニングに使用した用紙は、クリーニング終了後、廃棄してください。

■ 読み取りエリアのお手入れ

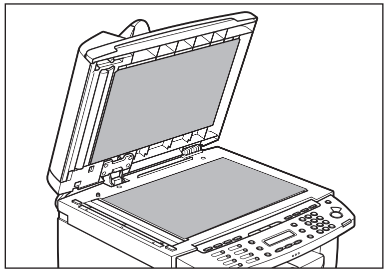
コピーや送信ファクスの品質を保つため、読み取りエリアを清掃してください。

原稿台ガラス

1. 原稿台ガラスカバーを開きます。



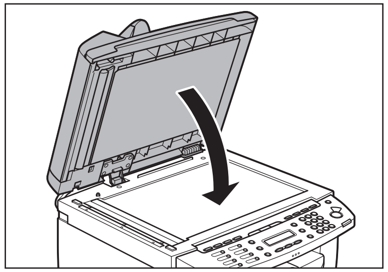
2. 水を含ませてかたく絞った布で、原稿台ガラスと原稿台ガラスカバーの下面を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。



メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

3. 原稿台ガラスカバーを閉じます。



注意

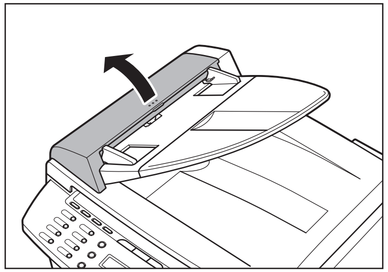
指をはさまないよう注意してください。

ADF

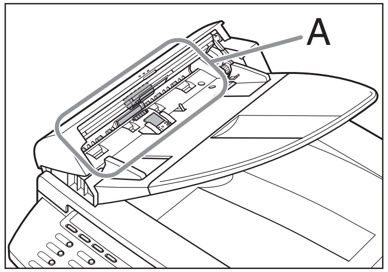
ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る場合があります。これは、ADF の読み取り部分に付着したのり、インク、修正液などが原因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分を拭いてください。

1. **主電源スイッチを切り、電源コードを抜きます。**

2. **ADF を開きます。**



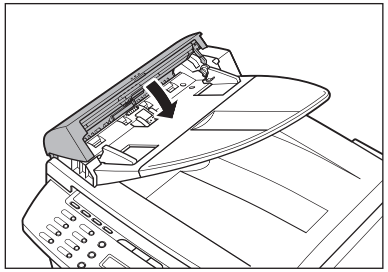
3. **水を含ませた布で、ADF 内部のローラ (A) を拭きます。次に、乾いた柔らかい布で拭きます。**



メモ

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

4. **ADF を閉じます。**



注意

指をはさまないよう注意してください。

5. **電源コードを接続し、主電源スイッチを入れます。**

トナーカートリッジの交換時期

トナーが残り少なくなってくると、ディスプレイに<トナーショウ（ケイゾクプリントカ）／トナージュンビ>と表示されます。この場合は、トナーを均一にならしてください。トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意しておくことをおすすめします。
<トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ>と表示された場合には、トナーを均一にならしてください。メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のコピーまたはプリントは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。
交換用のトナーカートリッジが手元にはなく、取り急ぎトナーカートリッジを交換しないで、受信したデータやレポートをプリントしたい場合は、<ファクスセッテイ>の<プリント　セッテイ>で<インジケイゾク>を< ON >に設定してください。工場出荷時の初期値は< OFF >に設定されています。トナー交換後は<インジケイゾク>を< OFF >に戻しておくことをおすすめします。(→メニューの設定内容：P.11-4)

注意

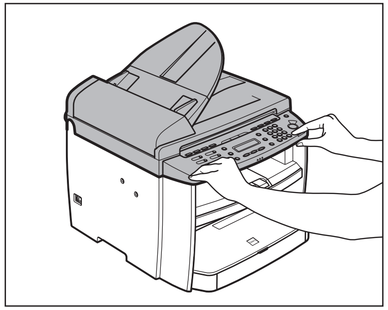
- <インジケイゾク>を< ON >に設定した場合、途中で印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかったりすることがあります。しかしメモリ内の受信データはプリントと同時に消えるため、再度、プリントすることができません。
- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

メモ

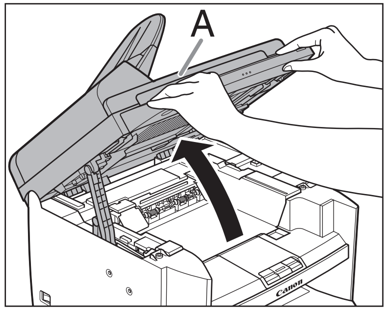
［トナー残量］を押し、トナーカートリッジが寿命の場合も、トナーカートリッジを交換してください。（→トナー残量の確認：P.1-13）

■ トナーを均一にならす

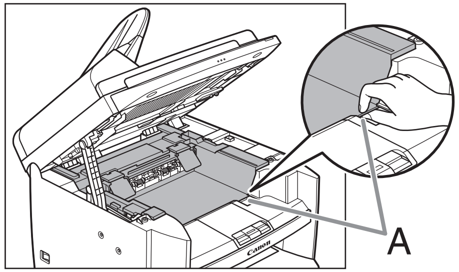
1. 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



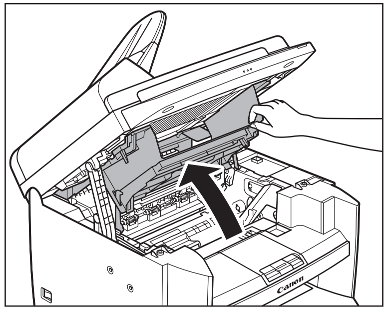
2. 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



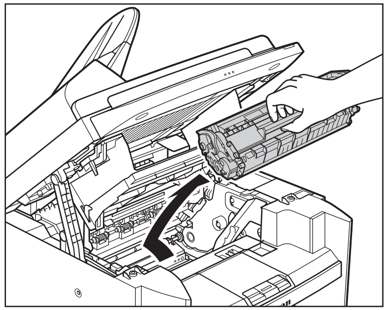
3. トナーカバーの右手前にあるつまみ (A) を持ちます。



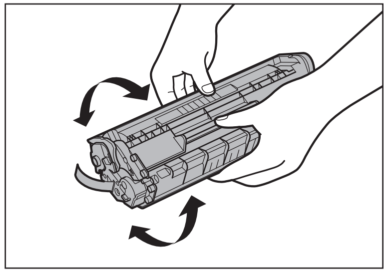
4. トナーカバーを開けます。



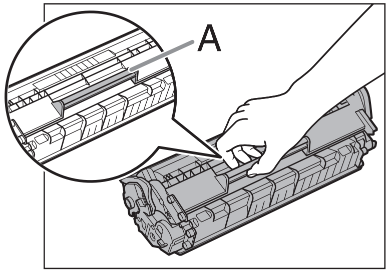
5. トナーカートリッジを取り出します。



6. トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。

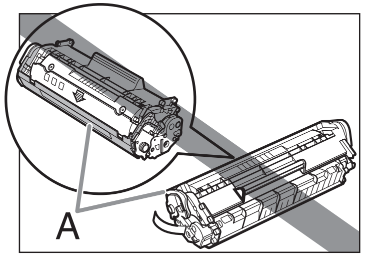


7. トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

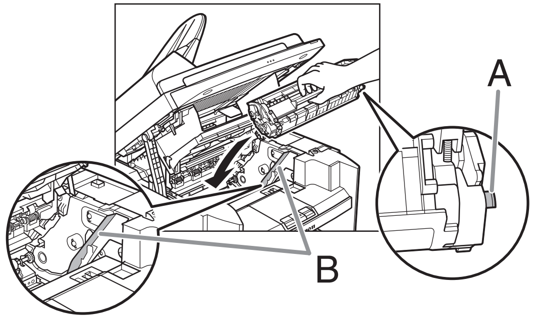
トナーカートリッジのドラム保護シャッター(A)を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



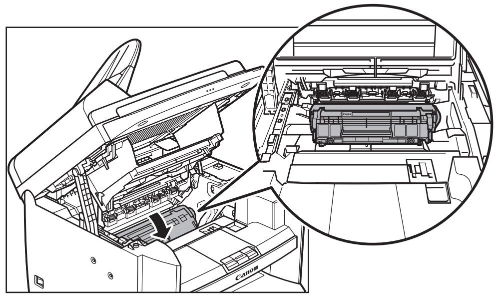
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

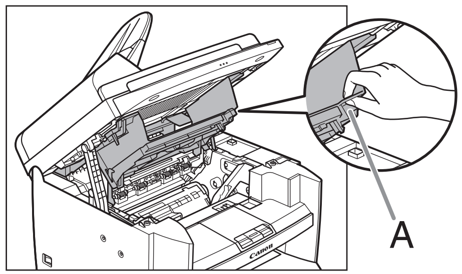
8. トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



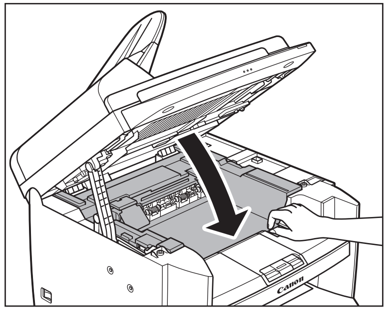
9. トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



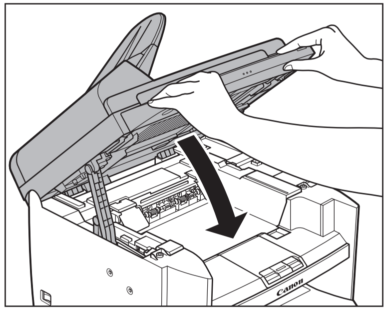
10. トナーカバーの右手前にあるつまみ(A)を持ちます。



11. トナーカバーを閉じます。



12. 操作パネル部を下げます。

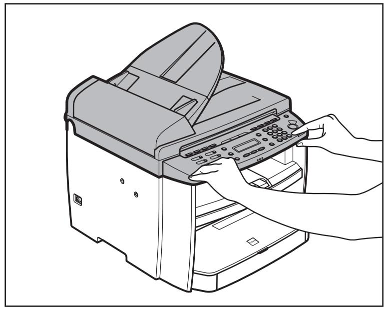


注意

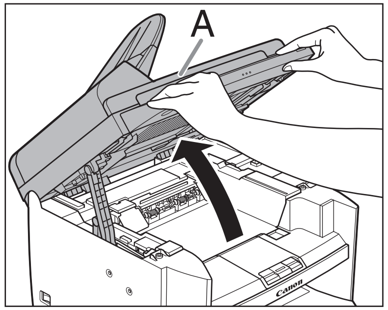
- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

■ トナーカートリッジを交換する

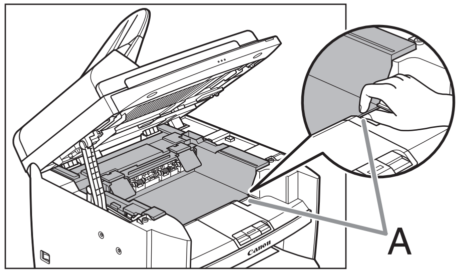
1. 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



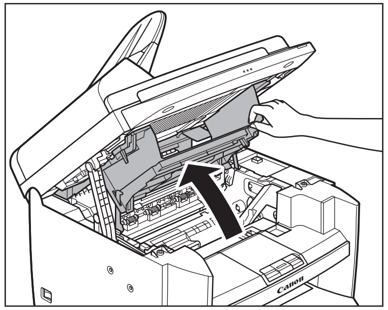
2. 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。



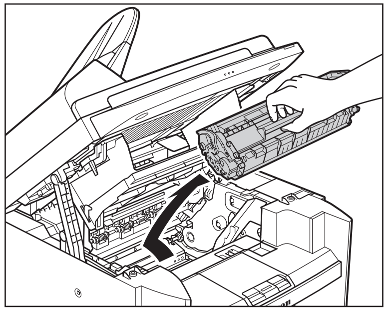
3. トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



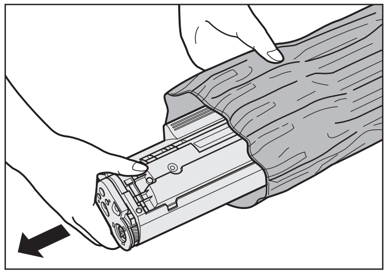
4. トナーカバーを開けます。



5. トナーカートリッジを取り出します。



6. 保護袋から新しいトナーカートリッジを取り出します。

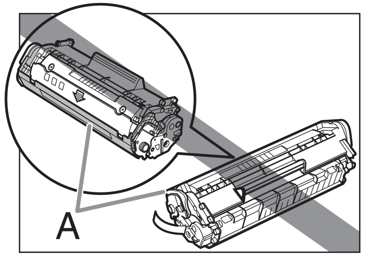


メモ

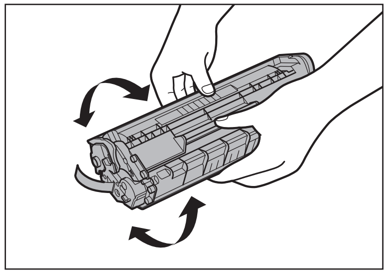
保護袋は保存しておいてください。後で本製品からトナーカートリッジを取り外す際に必要となります。

注意

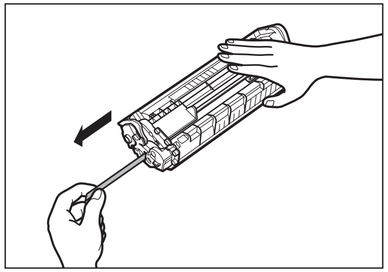
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



7. トナーカートリッジをゆっくりと数回振り、トナーを均一にならします。



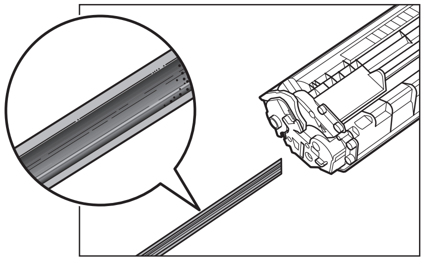
8. **トナーカートリッジを平らな場所におき、片手でトナーカートリッジを押さえながら、シーリングテープを完全に引き抜きます。**



メモ

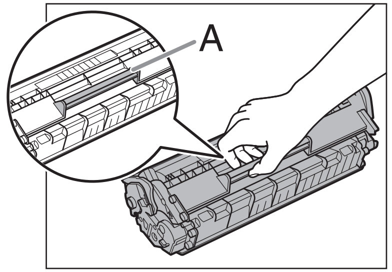
シーリングテープはまっすぐに引き抜いてください。

注意



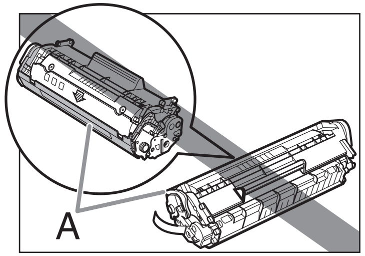
- 引き抜いたシーリングテープには、トナーが付着していることがあります。手や衣服を汚さないように注意してください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水を使うと、トナーが定着し、落ちなくなります。

9. **トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。**



注意

トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。

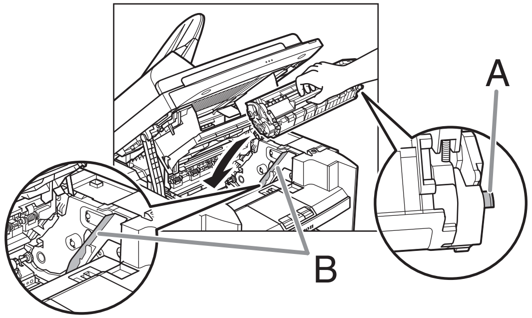


メモ

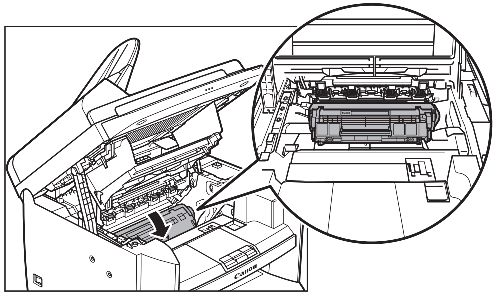
トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

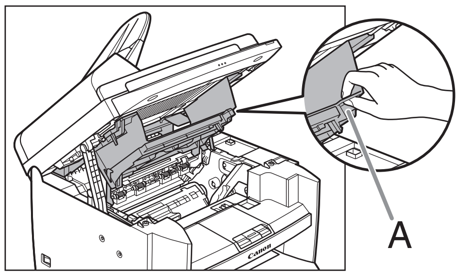
10. トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



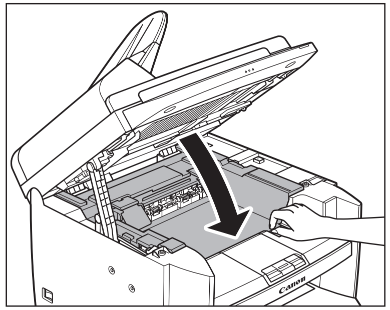
11. トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



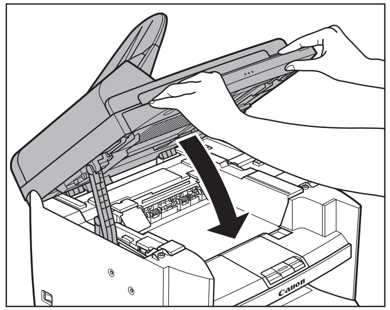
12. トナーカバーの右手前にあるつまみ (A) を持ちます。



13. トナーカバーを閉じます。



14. 操作パネル部を下げます。



注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

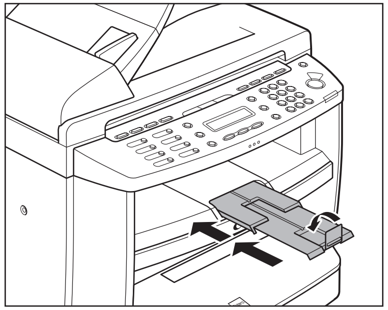
本製品を移動するとき

本製品を長距離移動する場合などは、振動による損傷を防ぐため、以下の手順に従ってください。

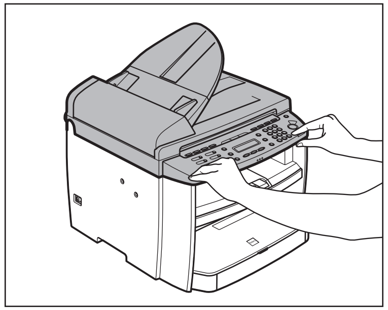
1. 主電源スイッチを切ります。

2. 電源コード、およびすべてのケーブルを本製品の背面から外します。

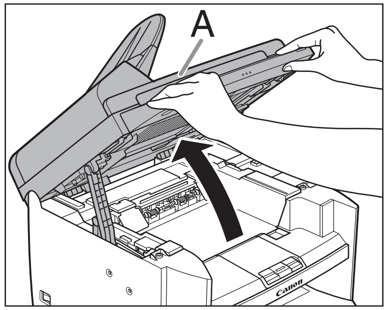
3. 排紙補助トレイを使用している場合は、排紙ストッパーを折りたたみ、排紙補助トレイを本体内部に押し込みます。



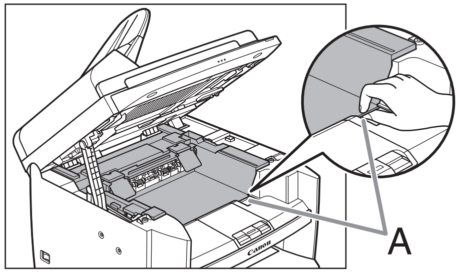
4. 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



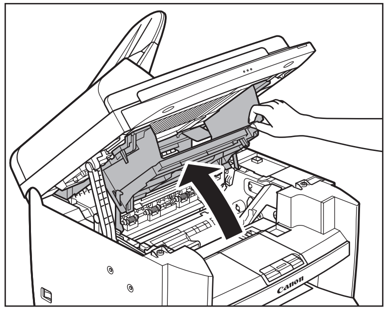
5. 操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）



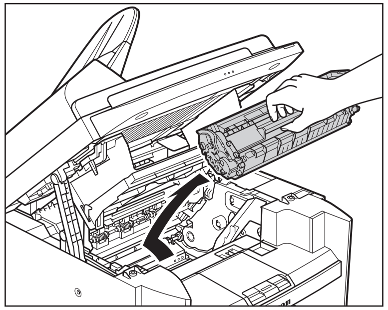
6. トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



7. **トナーカバーを開けます。**

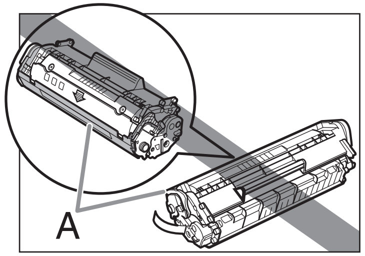


8. **トナーカートリッジを取り出します。**



注意

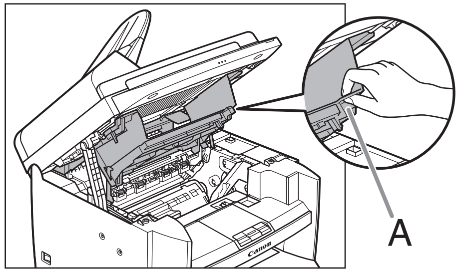
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



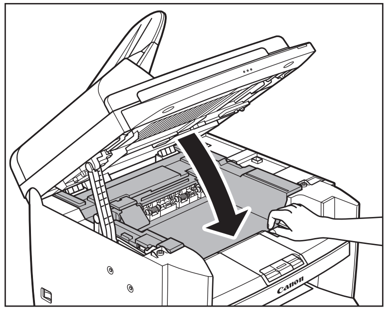
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

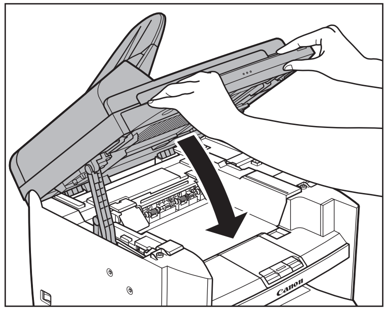
9. **トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。**



10. トナーカバーを閉じます。



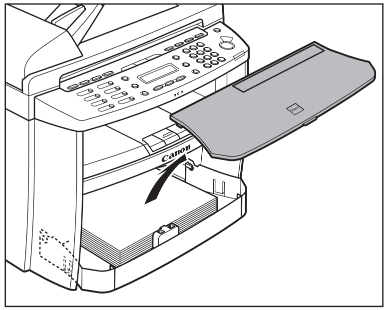
11. 操作パネル部を下げます。



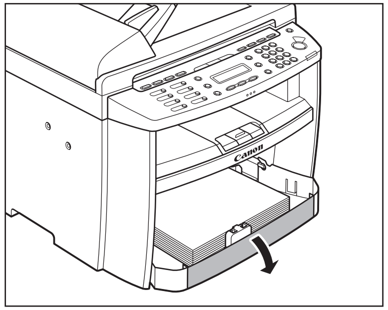
注意

指をはさまないよう注意してください。

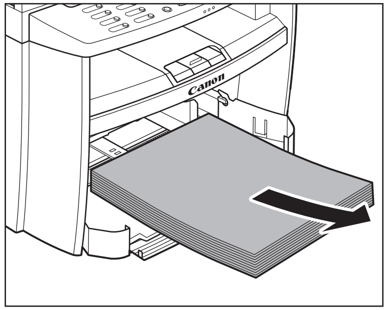
12. 用紙カバーを用紙カセットから取り外します。



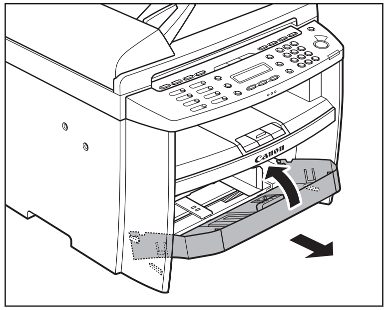
13. 用紙カセットの前面部を開きます。



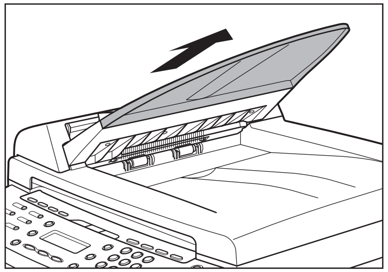
14. 用紙カセットから用紙を取り出します。



15. 用紙カセットの前面部を持ち上げ、手前に引いて取り外します。

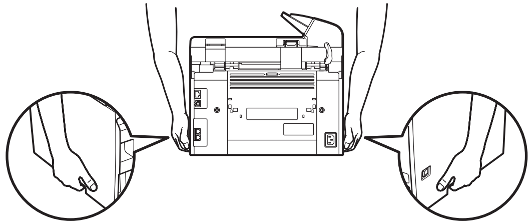


16. 原稿給紙トレイを取り外します。



17. すべてのカバーが閉じていることを確認します。

18. 左右にある取っ手を使って、本製品を持ち上げます。



注意

・ 付属品を持って本製品を持ち上げないでください。本製品を落とすと、けがをする恐れがあります。
・ 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さを確認してください。（→操作ガイド（基本編）「第 13 章 付録」「主な仕様」）

10困ったときには

用紙がつまったときには

ディスプレイに＜ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ＞、＜ヨウシガ　ツマリマシタ＞、または＜ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞と表示された場合は、ADF か本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。
紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確認してください。

- 本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。
  （→使用可能な用紙：P.2-6）
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残っていないか、確認してください。

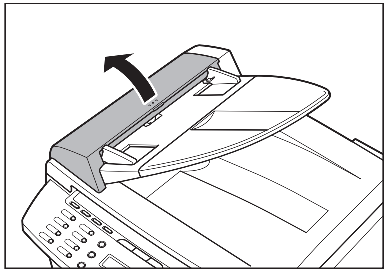
注意

- つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないよう注意してください。
- つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が本体内部の部品と接触しないようにしてください。やけどや感電の恐れがあります。
- 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
- 手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってください。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなります。
- つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでください。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

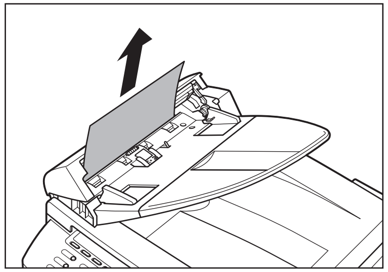
■ ADF につまった原稿を取り除く

ディスプレイに＜ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ＞と表示された場合は、ADF からつまった原稿を取り除いてください。

1. ADF を開きます。



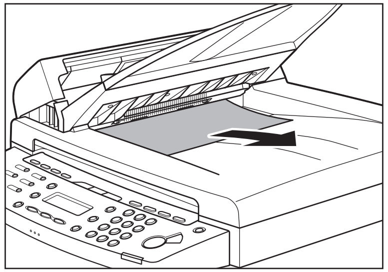
2. つまった原稿の両端を持って、ADF から静かに取り除きます。



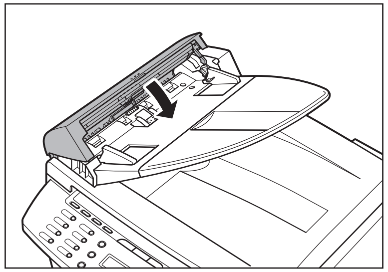
メモ

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破れることがあります。

3. つまった原稿の両端を持って、排紙トレイから静かに取り除きます。



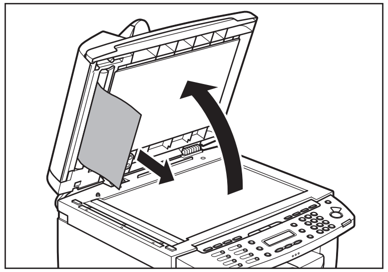
4. ADF を閉じます。



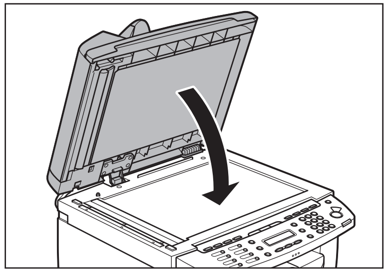
注意

指をはさまないよう注意してください。

5. 原稿台ガラスカバーを開き、つまった原稿を取り除きます。



6. 原稿台ガラスカバーを閉じます。



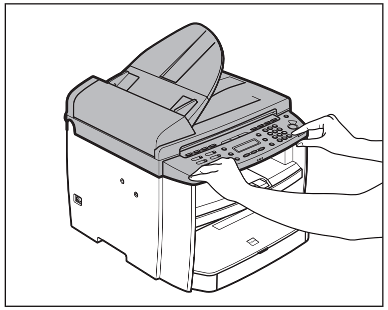
注意

指をはさまないよう注意してください。

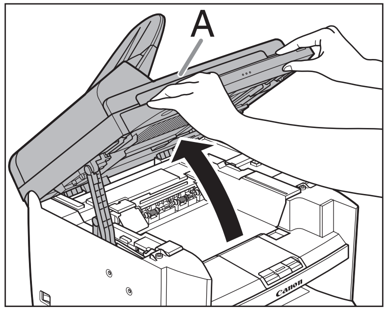
本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイに<ヨウシガ　ツマリマシタ>または<ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙を取り除いてください。用紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除きます。

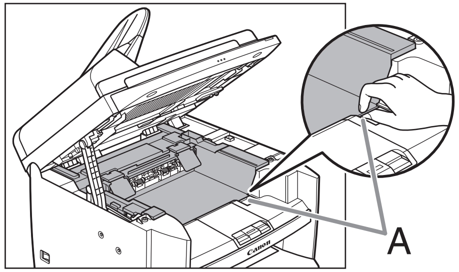
1. 操作パネル部の両端を両手で持ちます。



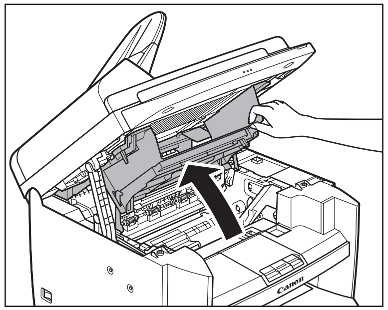
2. **操作パネル部（A）をロックされるまで両手で持ち上げます。（かちりという音がします。）**



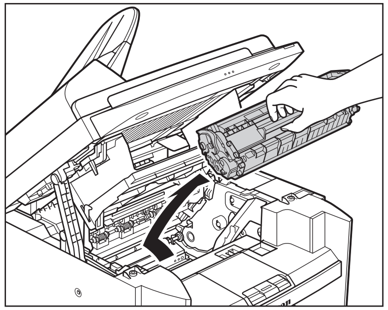
3. **トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。**



4. **トナーカバーを開けます。**

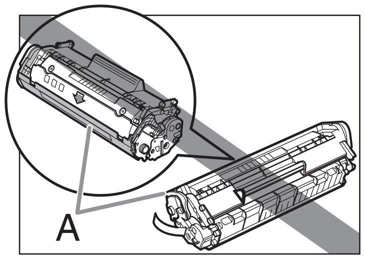


5. **トナーカートリッジを取り出します。**



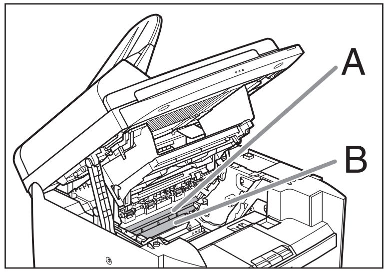
注意

- 「注意高温」の表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 本体内部に触れる際は、時計、ブレスレット、指輪などを外しておいてください。内部の部品と接触して、損傷する場合があります。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



メモ

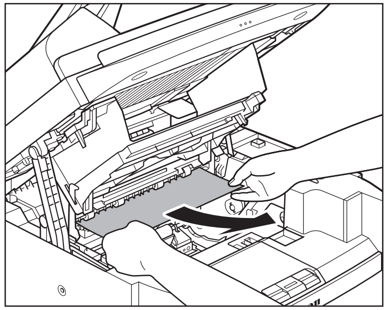
トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。



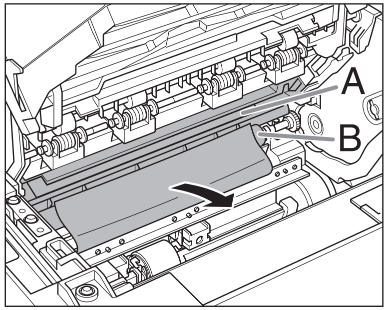
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

6. **つまった用紙の両端を持って、静かに引き出します。**



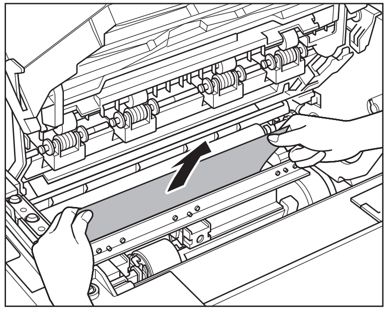
7. **定着器と搬送ローラの間につまった用紙を、先端が見えるまで静かに引き出します。**



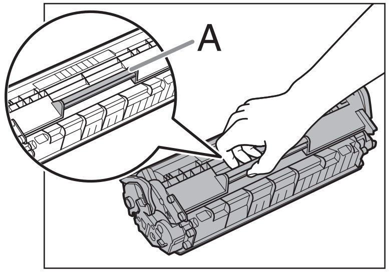
注意

- 定着器（A）は使用中に熱くなります。触らないように注意してください。
- 本製品を損傷することがありますので、搬送ローラ（B）に触らないでください。

8. **つまった用紙をゆっくりと引き出します。**

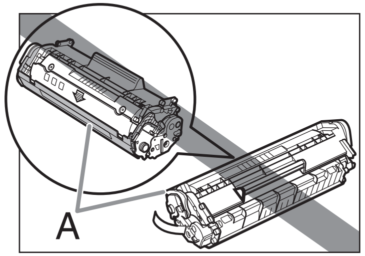


9. トナーカートリッジの取っ手（A）を持ちます。



注意

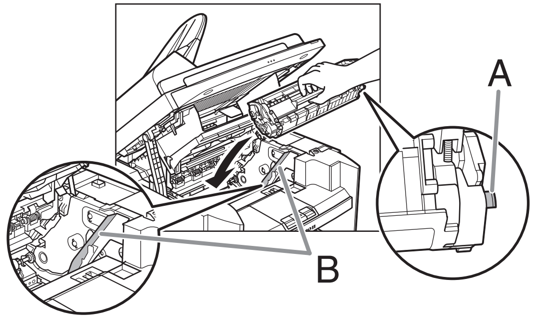
トナーカートリッジのドラム保護シャッター（A）を開けないでください。ドラムの表面に光が当たったり傷が付いたりした場合、印字の質が低下することがあります。



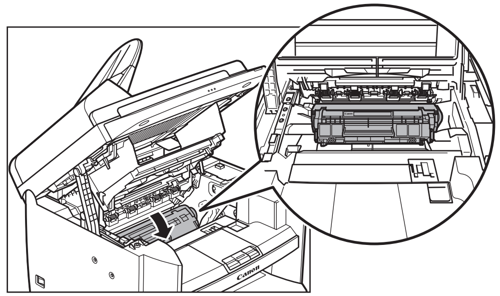
メモ

トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず取っ手を持ってください。

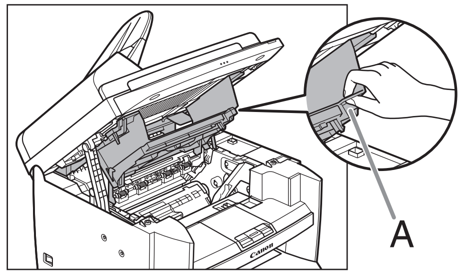
10. トナーカートリッジの右端の突起（A）を本体内部のガイド（B）の下側に合わせ、ガイドに沿って収めます。



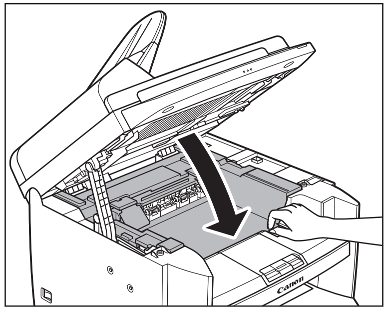
11. トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで手で押し込みます。



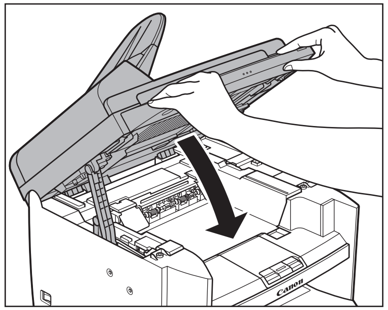
12. トナーカバーの右手前にあるつまみ（A）を持ちます。



13. トナーカバーを閉じます。



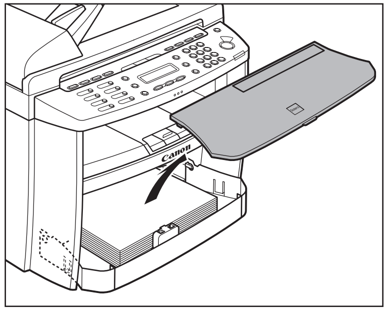
14. 操作パネル部を下げます。



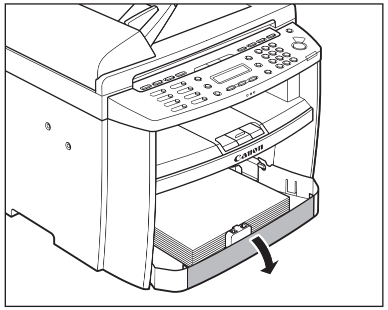
注意

- 指をはさまないよう注意してください。
- トナーカバーが閉まらない場合は、無理に閉めないでください。トナーカバーを開けて、トナーカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

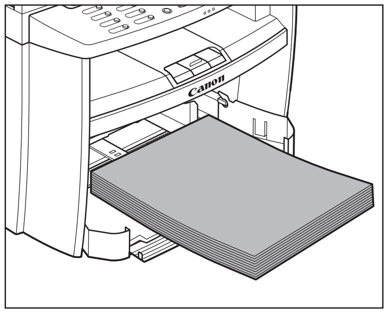
15. 用紙カセットから用紙カバーを取り除きます。



16. 用紙カセットの前面部を開きます。

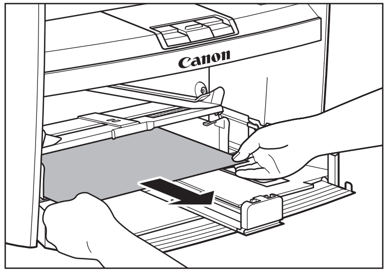


17. 用紙カセットの用紙を取り除きます。

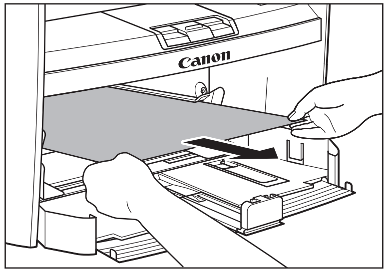


18. つまった用紙の両端を持って、静かに矢印の方向に引き出します。

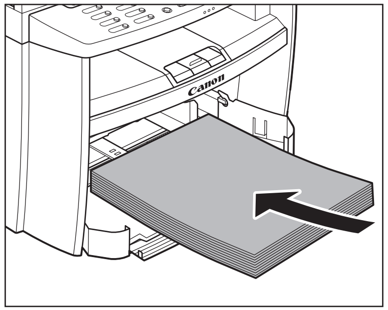
・用紙カセットから給紙している場合



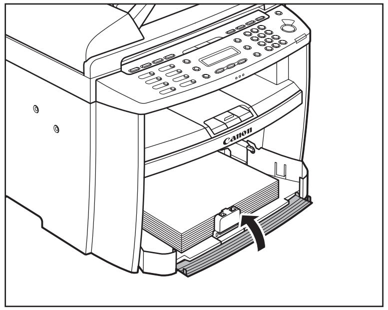
・手差しトレイから給紙している場合



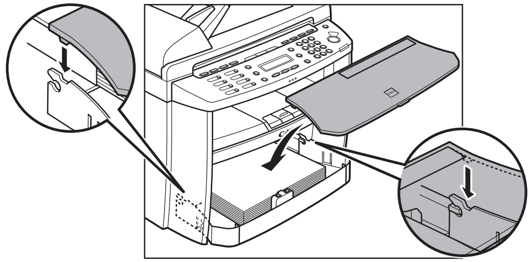
19. 用紙カセットに用紙をセットします。



20. 用紙カセットの前面部を閉じます。

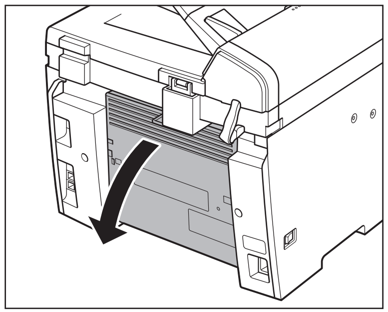


21. 用紙カバーを用紙カセットに合わせます。



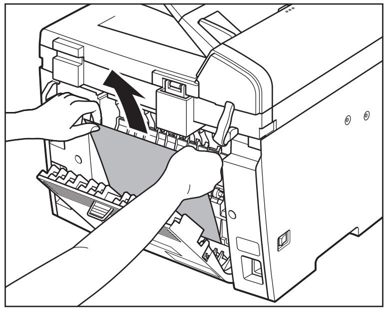
22. 後ろカバーを開きます。

この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

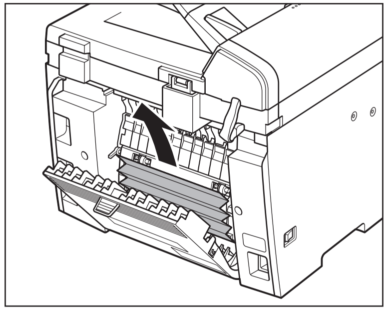


23. つまった用紙の両端を持って、静かに上方に引き出します。

この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。

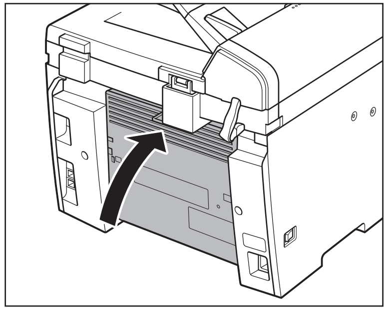


つまった用紙がひどく折れ曲がっている場合は、用紙を伸ばしてから引き抜いてください。



24. 後ろカバーを閉じます。

この手順は、ディスプレイに<ウシロカバーヲ　アケテクダサイ>と表示されたときだけ、必要です。



注意

指をはさまないよう注意してください。

メモ

背面につまった用紙を取り除いた後は、トナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

アテサキヲ　カクニンシテクダサイ

原因	**2 回目に入力したファクス番号が 1 回目に入力した番号と異なる。＜ファクスセッテイ＞の＜ソウシン　キノウ　セッテイ＞で＜ダイヤルジ　カイセンカクニン＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。**
処置	ファクス番号が正しいかどうか、確認してください。[スタート] を押してから、1 回目に入力した番号と同じ番号を入力してください。

ガゾウガ　ウシナワレマシタ

原因	**バックアップ時間を超えたため、本体の電源を入れたときに、メモリに蓄積されていたデータが失われた。**
処置	2 秒後に自動的にエラーが解除され、メモリクリアレポートがプリントされます。

カバーヲ　シメテクダサイ
トナーカバー

原因	**トナーカバーが完全に閉じていない。**
処置	トナーカバーが完全に閉じているか確認してください。

ゲンコウヲ　テンケン　シテクダサイ

原因	**ADF 内で原稿がつまっている。**
処置	つまった原稿を ADF から取り除いてください。 (→用紙がつまったときには：P.10-3)

コノキノウハ　シヨウデキマセン

原因	**[リダイヤル／ポーズ] を使ってのリダイヤルはできない。＜システム　カンリ　セッテイ＞の＜ソウシンキノウノ　セイゲン＞で＜リダイヤルノ　セイゲン＞が＜ ON ＞に設定されているときに表示される。**
処置	＜リダイヤルノ　セイゲン＞を＜ OFF ＞に設定するか、手動でダイヤルしてください。

コレイジョウ　トウロク　デキマセン

原因	**入力した同報送信の相手先が最大件数（124）に達した。**
処置	数回に分けて送信してください。
原因	**登録したグループダイヤルの相手先が最大件数（50）に達した。**
処置	別のワンタッチダイヤルキーに登録してください。

システム　エラー
EXXX

原因	**本体に何らかのエラーが発生している。＜ XXX ＞はエラーの種類に応じた 3 桁の番号を示す。**
処置	主電源スイッチを切り、10 秒以上待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

シバラク　オマチクダサイ

原因　**主電源スイッチを入れたとき、またはプリントの準備ができていない場合に表示される。**

処置　メッセージが消えるまでお待ちください。

ジュシンデータプリントデキマセン
エラーカイジョゴ　プリント

原因　**何らかのエラーが発生したため、受信データをメモリに一時的に保存した。**
このエラーメッセージは以下のエラーメッセージと交互に表示される。

- ＜カバーヲ　シメテクダサイ／トナーカバー＞
- ＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞
- ＜テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ＞
- ＜トウロクサイズヲ　ヘンコウ／->ヨウシセッテイ＞
- ＜トナーガ　ナクナリマシタ／トナーヲ　コウカンシテクダサイ＞
- ＜パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ＞
- ＜ヨウシガ　ツマリマシタ＞
- ＜ヨウシガ　ツマリマシタ／ウシロカバーヲ　アケテクダサイ＞
- ＜ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ＞
- ＜ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ＞

処置　このエラーメッセージは他のエラーメッセージと交互に表示されます。エラーが解消された後、受信データはプリントされます。対処方法については、一緒に表示されるメッセージの対処方法を参照してください。

ジュワキヲ　オイテクダサイ

原因　**外付け電話機の受話器が外れている。**

処置　受話器を置いてください。

スデニ　トウロクサレテイマス

原因　**グループダイヤル登録中に、すでに登録済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録しようとした。**

原因　**同報送信入力中に、すでに入力済みのワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを入力しようとした。**

処置　使用する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルに登録されている情報を確認してください。

タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ

原因　**用紙カセットまたは手差しトレイにある用紙のサイズが＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞で指定した用紙と違う。**

処置　用紙をセットしなおすか＜ヨウシ　セッテイ＞メニューで指定した用紙サイズを変更してください。(→＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合：P.10-19)

テザシノ　ヨウシヲ　ジョキョ

原因　**手差しトレイに用紙がセットされている。**

処置　手差しトレイにセットされている用紙を取り除いてください。手差しトレイに用紙がセットされていると、ファクス、レポートおよびリストはプリントされずにメモリに蓄積されます。

トウロクサイズヲ　ヘンコウ
-> ヨウシセッテイ

原因	**プリントに適切な用紙サイズが設定されていない。**
処置	・ レポート、リスト、受信したデータをプリントする場合は、<ヨウシセッテイ>の<カセット>を< A4 >、< OFICIO >、< BRAZIL-OFICIO >、< MEXICO-OFICIO >、< FOLIO >、< GOVERNMENT-LETTER >、< GOVERNMENT-LEGAL >、< FOOLSCAP >、< LTR >、または< LGL >に設定してください。(→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13) ・ 受信したデータを両面印刷する場合は、<ヨウシセッテイ>の<カセット>を< A4 >または< LTR >に設定してください。(→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13) ・ 両面コピーする場合は、<ヨウシセッテイ>の<カセット>または<テザシトレイ>を< A4 >または< LTR >に設定してください。(→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13)

トウロクチュウノ　キーデス
トウロク　デキマセン

原因	**グループダイヤル登録中に、グループダイヤルとして割り当てようとしているワンタッチダイヤルキー自体を指定した。**
処置	他のワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを指定してください。

トナーガ　ナクナリマシタ
トナーヲ　コウカンシテクダサイ

原因	**トナーがなくなった。**
処置	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.9-8) メッセージが引き続き表示された場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。コピー中およびプリント中にこのメッセージが表示されると、実行中のジョブは継続して印刷されます。ファクス受信中にこのメッセージが表示されると、受信したファクスはプリントされずにメモリに保存されます。トナーカートリッジの交換をしないで受信したファクスをプリントする場合は、<ファクスセッテイ>の<プリント　セッテイ>で<インジケイゾク>を< ON >に設定してください。トナー交換後は<インジケイゾク>を< OFF >に戻しておくことをおすすめします。(→メニューの設定内容：P.11-4)

トナーショウ（ケイゾクプリントカ）
トナージュンビ

原因	**トナーが残り少なくなっている。**
処置	トナーを均一にならしてください。(→トナーを均一にならす：P.9-8) トナーがなくなった場合にすぐに交換できるように、新しいトナーカートリッジを用意してください。

ニュウリョクシタニチジガチガイマス

原因	**<タイマー　セッテイ>の<ヒヅケ／ジコク　セッテイ>で、無効な数値が入力された。**
処置	正しい数値を入力してください。

パスワードガ　チガイマス

原因	**メモリ受信パスワードまたはシステムパスワードが正しくありません。**
処置	正しいパスワードを入力してください。(→メモリ受信：P.4-24、システム管理暗証番号を設定する：P.8-2)

パネルヲ　モチアゲテクダサイ
トナーカバーヲ　アケテクダサイ

原因	**何らかのエラーが発生した。**
処置	このエラーメッセージは、他のエラーメッセージと交互に表示されます。対処方法は一緒に表示されるエラーメッセージの対処方法を参照してください。(例えば<ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ／トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ>。)

プリンタ　データエラー
プリンタヲ　テンケン　シテクダサイ

原因	**本体に何らかのエラーが発生している。**
処置	主電源スイッチを切り、10 秒ほど待ち、再度主電源スイッチを入れます。これで問題が解消しない場合は、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ミトウロクデス

原因	**指定したワンタッチダイヤルキーや短縮ダイヤルに、宛先が登録されていない。**
処置	スピードダイヤルに、宛先を登録してください。詳細については、「ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する」(→ P.4-6) を参照してください。

ムコウデス

原因	**• ワンタッチダイヤルの登録中に、すでにグループダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。** **• グループダイヤルの登録中に、すでにワンタッチダイヤルとして登録済みのワンタッチダイヤルキーに登録しようとした。**
処置	未使用のワンタッチダイヤルキーに登録してください。

メモリ　ザンリョウ

原因	**利用できるメモリ残量のメッセージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。**
処置	メモリ容量が不足する場合は、メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。

メモリガ　イッパイデス

原因	**・ジョブがいっぱいになった。** **・メモリに保存できる送受信ジョブ数が最大件数に達した。**
処置	・メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。 ・原稿または画像データを分割して送信してみてください。 ・解像度を下げて送信してください。 ・本製品のメモリに保存できるジョブ数は、送受信ジョブ合わせて 256 です（相手側のファクスが Canon Satera MF4270 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のジョブ数）。メモリ内の文書が送信されるまでお待ちください。または、メモリに保存されている原稿をプリント、送信、または削除してください。

ヨウシガ　ツマリマシタ

原因	**本体内で紙づまりが起きた。** **このエラーメッセージは<パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>のエラーメッセージと交互に表示される。**
処置	つまった用紙を取り除いて(→用紙がつまったときには：P.10-3）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にカバーを開閉して実行中のジョブを再開してください。

ヨウシガ　ツマリマシタ
ウシロカバーヲ　アケテクダサイ

原因	**本体内で紙づまりが起きた。** **このエラーメッセージは<パネルヲ　モチアゲテクダサイ／トナーカバーヲ　アケテクダサイ>のエラーメッセージと交互に表示される。**
処置	つまった用紙を取り除いて(→用紙がつまったときには：P.10-3）、用紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしなおしてください。次にトナーカバーを開閉して本製品をリセットしてください。

ヨウシヲ　セット　シナオシテ　クダサイ
トナーヲ　セット　シナオシテ　クダサイ

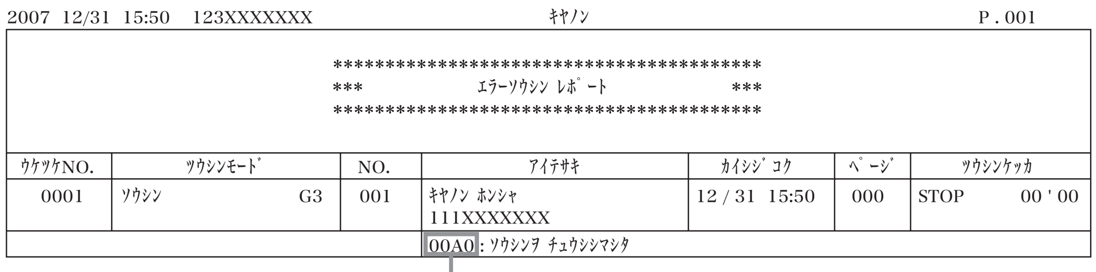
原因	**用紙が正しくセットされていないか、トナーカートリッジが正しくセットされていない。**
処置	用紙カセットと手差しトレイからセットされている用紙を取り除いてください。そのあと、用紙をセットしなおしてください。用紙カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」を参照してください。手差しトレイに用紙をセットする方法については、「手差しトレイにセットする」(→ P.2-9)を参照してください。 トナーカートリッジを正しくセットしてください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」)

ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ

原因	**・コピーまたはプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。 ・受信文書のプリント時に用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていない。また、レポートやリストのプリント時に適切な用紙サイズが設定されていない。このエラーメッセージは＜トウロクサイズヲ　ヘンコウ／-＞ヨウシセッテイ＞または＜ジュシンデータプリントデキマセン／エラーカイジョゴ　プリント＞のエラーメッセージと交互に表示される。**
処置	・用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。 ・用紙をセットしてください。用紙カセットの場合は、用紙をセットしたあとに［OK］を押してください。レポートやリストのプリント時の場合は、用紙サイズを＜ A4 ＞、＜ OFICIO ＞、＜ BRAZIL-OFICIO ＞、＜ MEXICO-OFICIO ＞、＜ FOLIO ＞、＜ GOVERNMENT-LETTER ＞、＜ GOVERNMENT-LEGAL ＞、＜ FOOLSCAP ＞、＜ LTR ＞、または＜ LGL ＞に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。

エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録される 4 桁のコードです。


2007 12/31 15:50 123XXXXXXX キヤノン P.001

*** ｴﾗｰｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ ***

ｳｹﾂｹNO.	ｿｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｿｳｼﾝｹｯｶ
0001	ｿｳｼﾝ G3	001	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ 111XXXXXXX	12/31 15:50	000	STOP 00'00
			00A0 : ｿｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼｼﾏｼﾀ			

詳細については、「レポートを自動でプリントする」(→ P.11-17) を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
0001	相手先のファクスがG3ファクスではない。	先方が対応できるモードまたは通信速度で原稿を送ってください。
0070	受信を手動で中止した。	相手先に連絡して、再度送信してもらってください。
0071	メモリがいっぱいになった。	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
0080	相手先のファクスから35秒以内に応答がない。	もう一度原稿を送ってください。相手先に連絡して、先方のファクスをチェックしてもらってください。海外に送信する場合は、ファクス／電話番号の前にポーズを入れてください。
008D	相手機が用紙切れで送信できない。	用紙を補給するよう、相手先に連絡してください。
00A0	送信を手動で中止した。	再度送信してください。
00A1	原稿がつまった。	つまった原稿を取り除いてください。(→用紙がつまったときには：P.10-3)

エラーコード	原因	処置
00FF	リダイヤルに失敗した。	相手先の番号が正しいか、または電話線が正しく接続されているか確認してください。

＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合

＜ヨウシ　セッテイ＞メニューの＜カセット＞または＜テザシトレイ＞に設定されている用紙サイズと、用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示されるメッセージです。このメッセージが表示された場合は、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズの用紙をセットするか、＜ヨウシ　セッテイ＞メニューに設定されているサイズをセットされている用紙サイズに合わせて変更してください。

メモ

プリントジョブの場合は、本製品ではなくコンピュータ側で用紙サイズを指定してください。

■ 用紙をセットしなおす

1. ディスプレイに表示されているサイズの用紙をセットします。

用紙カセットに用紙をセットした場合は、［OK］を押すとプリントが再開されます。
手差しトレイに用紙をセットした場合は、そのままプリントが再開されます。

■ 用紙サイズ設定を変更する

1. ［初期設定／登録］を押します。

メモ

コピー中に＜タダシイヨウシヲ　セットシテクダサイ＞と表示された場合は、＜ヨウシセッテイ＞メニューの設定を変更できません。この場合は、ジョブを中止してから、［初期設定／登録］を押して用紙のサイズを変更してください。コピージョブの中止の詳細については「コピージョブの中止」（→ P.3-8）を参照してください。

2. ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ヨウシ　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。

3. ［◄ −］または［+ ►］を押して＜カセット＞または＜テザシトレイ＞を選択し、［OK］を押します。

4. ［◄ −］または［+ ►］を押して＜ヨウシ　サイズ＞を選択し、［OK］を押します。

5. ［◄ −］または［+ ►］を押してセットされている用紙のサイズを選択し、［OK］を押します。

6. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

これで原稿をコピーする準備ができました。
ファクスジョブの場合は、手順 7 に進んでください。

7. ［OK］を押してジョブを再開します。

これで操作は完了です。

一般的なトラブル

電源が入らない

Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**電源コードから電気は供給されていますか？**
A	別の電源コードを使うか、コードが途中で切れていないか電圧計で確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。

エラーランプが点滅する

Q	**本製品に用紙が正しくセットされていますか？用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がありますか？**
A	紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。（→用紙がつまったときには：P.10-3）用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がない場合は、用紙を補給してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」）
A	紙づまりが起きていない場合や用紙が用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている場合は、本製品の主電源スイッチをオフにし、10 秒以上待ってからスイッチをオンにしてください。問題が解決するとエラーランプが消え、ディスプレイは待受画面に戻ります。エラーランプが点滅したままの場合は、電源コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ディスプレイに何も表示されない

Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**スリープモードになっていませんか？**
A	操作パネルの［節電］を押して、スリープモードを解除してください。

給紙のトラブル

正常に給紙されない

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」)
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)

用紙が重なって送られる

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」)
Q	**用紙を入れすぎていませんか？**
A	用紙の枚数が適切か確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)
Q	**セットされた用紙は 1 種類だけですか？**
A	1 種類の用紙のみをセットしてください。
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)
A	用紙がなくなってから補給してください。異なった用紙を混ぜないでください。

紙づまりが繰り返し起こる

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)

ファクスのトラブル

■ 送信時のトラブル

ファクスが送信できない

Q	**主電源スイッチを入れたばかりですか？**
A	原稿の読み込みができる状態になるまで、しばらくお待ちください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種別は自動的に判別されるように設定されています。自動的に判別するには、<カイセン　シュルイ　センタク>が<ジドウ>に設定されているか確認し、電源を入れなおしてください。そのあと、ファクスを送信してください。 上記の手順を行ってもファクスが送信できない場合は、電話回線の種別を手動で設定してください。(→電話回線の種類を設定する：P.1-14)
Q	**ファクスモードになっていますか？**
A	[ファクス] を押して、ファクスモードに切り替えてください。
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→原稿をセットする：P.2-4)
A	操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。(→本体内部につまった用紙を取り除く：P.10-4)
Q	**入力したワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号は正しく登録されていますか？**
A	ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号が正しく登録されているか確認してください。(→宛先を指定する：P.4-11)
Q	**正しい番号にダイヤルしましたか？**
A	番号が正しいか確認してください。
Q	**スリープモードになっていませんか？**
A	スリープモードでは原稿は読み込まれません。スリープモードを解除するには、操作パネルの［節電］を押してください。
Q	**相手機の記録紙がなくなっていませんか？**
A	記録紙がなくなっていないか、相手先に確認してください。
Q	**メモリから別の原稿を送信中ではありませんか？**
A	送信が終わるまでお待ちください。

Q **通信中にエラーが発生しませんでしたか？**

A 操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。(→ディスプレイの表示：P.10-11)

A 通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。
(→通信管理レポート：P.11-19)

Q **電話線は正しく接続されていますか？**

A 電話線が正しく接続されているか確認してください。
(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」)

Q **電話回線は正常ですか？**

A [オンフック] を押したとき、または本製品に接続されている外付け電話機の受話器を取ったときに、発信音が聞こえるか確認してください。発信音がない場合は、お近くの電話会社にお問い合わせください。

Q **相手機は G3 機ですか？**

A 相手機が本製品と互換性があるか確認してください。

Q **相手機が 35 秒以内に応答しましたか？**

A 相手先に連絡して、ファクスを確認してもらってください。海外へ送信する場合は、登録した番号にポーズを挿入してください。(→海外にファクスを送る (ポーズの挿入)：P.4-19)

Q **通信中／メモリランプが点滅していますか？**

A 外付け電話機が使用中です。外付け電話機の通話が終了するまでお待ちください。

Q **本製品が過熱していませんか？**

A 電源コードを抜き 5 分ほど放置して冷やしてください。そのあとに電源コードを差し込み、もう一度送信してみてください。

送信しようとするとメモリがすぐにいっぱいになる

Q **＜スーパーファイン＞で送信していませんか？**

A 画質（解像度）を高く保ちたい場合は、原稿を分割して、各部分を別べつに送信してください。

A 細かい文字や写真のある原稿の場合は、メモリ送信を使わずに手動で送信してください。

A 細かい文字や写真のない原稿の場合は、画質（解像度）を＜ヒョウジュン＞に設定して送信してください。

Q **メモリ残量が少なくなっていませんか？**

A メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。

送信したファクスに汚れがある

Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	コピーをとって本製品の動作を確認してください。コピーがきれいな場合は、受信側のファクスに問題がある可能性があります。コピーが汚れている場合は、原稿台ガラスまたは読み取りエリアを清掃してください。(→日常のお手入れ：P.9-2)
Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→原稿をセットする：P.2-4)

送信したファクスが相手側で縮小して受信される

Q	**相手機側の原稿サイズの設定は適切ですか？**
A	相手機の原稿サイズの設定が適切かどうか確認するよう依頼してください。

相手の受信原稿が薄い

Q	**濃度が< - ウスク>側に設定されていますか？**
A	濃度を<コク + >側に設定します。(→濃度を調節する：P.4-5)
Q	**原稿台ガラスや読み取りエリアはきれいですか？**
A	原稿台ガラスや読み取りエリアがきれいか確認してください。(→日常のお手入れ：P.9-2)

送信速度が遅い

Q	**画質（解像度）が<ファイン>、<シャシン>、または<スーパーファイン>に設定されていませんか？**
A	画質（解像度）を<ヒョウジュン>にすると送信時間が短くなります。

送信中にエラーが頻発する

Q	**電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**
A	電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。

［リダイヤル／ポーズ］を使って過去に指定した宛先を呼び出せない

Q	**<リダイヤルノ　セイゲン>が< ON >に設定されていませんか？**
A	<リダイヤルノ　セイゲン>を< ON >に設定していると、リダイヤル機能は使えません。(→リダイヤル機能を制限する：P.8-3)

宛先指定時にファクス番号の入力を再度求められる

Q	**<ファクス NO. カクニンニュウリョク>が< ON >に設定されていませんか？**
A	<ファクス NO. カクニンニュウリョク>を< ON >に設定していると、宛先指定時にファクス番号を再度入力する必要があります。(→送信前にファクス番号を再度確認する：P.8-3)

受信時のトラブル

ファクスを自動受信できない

Q	**自動受信に設定されていますか？**
A	自動受信するには、受信モードを< FAX/TEL >、<ジドウ>または<ルス TEL >に設定します。<ルス TEL >に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。（→基本的な受信操作：P.4-20）
Q	**メモリ残量が少なくなっていませんか？**
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	**受信中にエラーが発生しましたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→ディスプレイの表示：P.10-11）
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.11-19）
Q	**用紙はセットされていますか？**
A	用紙がセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」）
Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）

電話とファクスが自動的に切り替わらない

Q	**電話とファクスが自動的に切り替わるよう設定されていますか？**
A	自動的に切り替えるには、受信モードを< FAX/TEL >または<ルス TEL >に設定する必要があります。<ルス TEL >に設定してある場合は、留守番電話機が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入っているか確認してください。（→基本的な受信操作：P.4-20）
Q	**メモリ残量が少なくなっていませんか？**
A	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	**受信中にエラーが発生しましたか？**
A	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。（→ディスプレイの表示：P.10-11）
A	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してください。（→通信管理レポート：P.11-19）
Q	**用紙はセットしてありますか？**
A	用紙がセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」）

Q **相手機は、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切替信号を送信できますか？**

A この機能に対応していないファクス機もあります。対応していない場合は、ファクスは手動で受信してください。

手動受信できない

Q **手動受信に設定されていますか？**

A 受信モードを＜シュドウ＞に設定してください。
（→基本的な受信操作：P.4-20）

Q **受話器を置いたあとに、［スタート］を押したりリモート受信 ID を入力したりしていませんか？**

A 受話器を置く前に、［スタート］を押すかリモート受信 ID を入力してください。先に受話器を置くと、通信が切れてしまいます。

Q **ADF に原稿がセットされていませんか？**

A ADF から原稿を取り除いたあと、再度、手動受信を行ってください。
ADF に原稿がセットされている状態で［スタート］を押した場合、手動送信となってしまいます。

きれいにプリントできない

Q **トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**

A トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。

Q **正しい用紙がセットされていますか？**

A 本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-6）

Q **相手機は正常に動作していますか？**

A 相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。

Q **トナーセーブモードになっていませんか？**

A ＜キョウツウ　シヨウ　セッテイ＞の＜トナーセーブモード＞を＜ OFF ＞に設定してください。
（→メニューの設定内容：P.11-4）

プリントできない

Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**トナーカートリッジは正しくセットされていますか？**
A	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**トナーカートリッジにトナーは残っていますか？**
A	［トナー残量］を押し、トナー残量の確認をしてください。（→トナーカートリッジ：P.1-11） トナーカートリッジが寿命の場合は、トナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換時期：P.9-8）
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-6）
A	<ヨウシ　セッテイ>メニューの設定内容を変更してください。（→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13）

画像に汚点またはムラがある

Q	**相手機は正常に動作していますか？**
A	相手機の読み取りガラスが汚れていないか確認してもらってください。
Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。

受信した原稿の一部が欠けている

Q	**用紙カセットのペーパーガイドは用紙サイズに合わせてありますか？**
A	用紙カセットのガイドを用紙サイズに合わせてください。
Q	**用紙カセットの用紙サイズに合ったものを指定してありますか？**
A	用紙カセットの用紙サイズに合ったものを指定してください。
Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。
Q	**受信画像のプリント方法が<ガゾウ　ショウリャク>に設定されていませんか？**
A	受信した原稿を省略せずにプリントする場合は、<ガゾウ　シュクショウ>を< ON >または< OFF >に設定してください。（→受信画像の縮小：P.4-27）

ECM（エラー訂正モード）で受信できない

Q **送信側のファクスは ECM に対応していますか？**

A 送信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラー訂正をしない通常モードで原稿が受信されます。

受信速度が遅い

Q **相手機の解像度が高く設定されていませんか？**

A 相手先に連絡して、解像度の設定が適切かどうか確認するよう依頼してください。

情報サービスからファクスを受信できない

Q **電話回線の種類はプッシュ回線に設定されていますか？**

A ダイヤル回線に設定されている場合は、[トーン] を押して一時的にトーン発信に切り替えてください。

Q **情報サービス側から「発信音が聞こえたらスタートボタンを押してください。」などのアナウンスがありましたか？**

A 発信音が聞こえたら［スタート］を押してください。

受信中にエラーが頻発する

Q **電話回線の状態は良好ですか？確実に接続されていますか？**

A 電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。

Q **相手機は正常に動作していますか？**

A 相手機が正常に動作しているか、確認してもらってください。

受信したファクスを用紙の両面にプリントできない

Q **両面印刷が設定されていますか？**

A ＜リョウメンキロク＞を＜ ON ＞に設定してください。(→両面印刷：P.4-27)

コピーのトラブル

白紙が排出される

Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**トナーカートリッジは正しくセットされていますか？**
A	トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**トナーカートリッジにトナーは残っていますか？**
A	［トナー残量］を押し、トナー残量の確認をしてください。（→トナーカートリッジ：P.1-11） トナーカートリッジが寿命の場合は、トナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに交換してください。（→トナーカートリッジの交換時期：P.9-8）
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。（→使用可能な用紙：P.2-6）

印字が薄い、印字ムラが出る

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、薄くなったりムラになることがあります。 トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。トナー残量は［トナー残量］を押すことで確認できます。（→トナーカートリッジ：P.1-11）

コピーした用紙にスジが入る

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、用紙に白いスジが入ることがあります。 トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。トナー残量は［トナー残量］を押すことで確認できます。（→トナーカートリッジ：P.1-11）

コピーが汚い

Q	**本製品の読み取り部分や内部が汚れていませんか？**
A	本製品の読み取り部分や内部が汚れていると黒いスジが入ることがあります。読み取り部分や定着器の清掃をしてください。（→日常のお手入れ：P.9-2）

用紙がつまる

Q	**操作パネル部と後ろカバーは閉じられていますか？**
A	操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。(→本体内部につまった用紙を取り除く：P.10-4)
Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→用紙をセットする：P.2-9)
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)

コピーが曲がっている

Q	**原稿は正しくセットされていますか？**
A	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→原稿をセットする：P.2-4)
Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」)
A	原稿排紙トレイや排紙トレイの排紙口がふさがれていないか確認してください。(→各部の名称とはたらき：P.1-2)

コピーの質が良くない

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)
Q	**用紙の正しい面にコピーしていますか？**
A	用紙によっては裏と表があります。プリントの質が悪い場合は、用紙の別の面にプリントしてみてください。

左右(上下)開きで両面コピーしたのに、上下(左右)開きで両面コピーされる

Q	**横原稿でコピーしていませんか？**
A	横原稿で両面コピーした場合、<サユウビラキ>のときは上下開き、<ジョウゲビラキ>のときは、左右開きでコピーされます。(→両面コピー：P.3-6)

コピー中にアラームが鳴る、またはディスプレイに<メモリガ　イッパイデス>と表示される

Q	**メモリがいっぱいになっていませんか？**
A	メモリ残量を確認してください。(→メモリ残量を確認する：P.11-23)

プリントのトラブル

白紙が排出される

Q	**トナーカートリッジにトナーは残っていますか？**
A	［トナー残量］を押し、トナー残量の確認をしてください。（→トナーカートリッジ：P.1-11） トナーカートリッジが寿命の場合は、トナーカートリッジを交換してください。（→日常のお手入れ：P.9-2）
Q	**トナーカートリッジは正しくセットされていますか？**
A	トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）
Q	**トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか？**
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」）

印字が薄い、印字ムラが出る

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、薄くなったりムラになることがあります。トナーカートリッジを取り外して数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてください。トナー残量は［トナー残量］を押すことで確認できます。（→トナーカートリッジ：P.1-11）

プリントした用紙にスジが入る

Q	**トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか？**
A	トナーカートリッジを取り外し数回ゆっくりと振り、トナーを均一にならします。トナー残量は［トナー残量］を押すことで確認できます。（→トナーカートリッジ：P.1-11）

プリントが汚い

Q	**本製品の読み取り部分や内部が汚れていませんか？**
A	本製品の読み取り部分や内部が汚れていると黒いスジが入ることがあります。読み取り部分や定着器の清掃をしてください。（→日常のお手入れ：P.9-2）

用紙がつまる

Q	**操作パネル部と後ろカバーは閉じられていますか？**
A	操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。(→本体内部につまった用紙を取り除く：P.10-4)
Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→原稿をセットする：P.2-4)
Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)

プリントが曲がっている

Q	**用紙は正しくセットされていますか？**
A	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙カセットを組み立て、用紙をセットする」)
A	排紙トレイの排紙口がふさがれていないか確認してください。(→各部の名称とはたらき：P.1-2)

トナーが定着されない

Q	**正しい用紙がセットされていますか？**
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用紙：P.2-6)
Q	**用紙の正しい面にプリントしていますか？**
A	用紙によっては裏と表があります。プリントの質が悪い場合は、用紙の別の面にプリントしてみてください。

用紙の両面にプリントできない

Q	**プリンタドライバの両面印刷を設定しましたか？**
A	印刷方法を両面印刷に設定してください。詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

コンピュータからプリントできない

Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**本製品の主電源スイッチは入っていますか？**
A	本製品の主電源スイッチをオンにしてください。

Q　お使いのコンピュータにプリンタドライバは正しくインストールされていますか？

A　プリンタドライバが正しくインストールされていることを確認してください。（→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」）

Q　プリンタドライバの設定（用紙サイズや出力サイズ）は正しいですか？

A　設定内容を確認してください。詳細はプリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

Q　USB ケーブルは正しく接続されていますか？

A　プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。
接続されている場合は、きちんと奥まで差し込まれているか、ゆるくなっていないか抜けかかっていないかを確認してください。可能であれば、別の USB ケーブルに変更してみてください。
USB ケーブルの接続方法についてはスタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」を参照してください。

Q　お使いのコンピュータの USB ポートは正常に動作していますか？

A　お使いのコンピュータと本製品の再起動を行ってみてください。お使いのコンピュータに複数の USB ポートが複数ある場合は別の USB ポートに接続してみてください。

Q　コンピュータにプリントジョブ（印刷待ちデータ）が残っていませんか？

A　コンピュータからプリントを実行したあと、何らかの原因でプリントが中断した場合などに、プリントしたデータがプリントジョブ（印刷待ちデータ）として、コンピュータに残ることがあります。その場合、プリントを実行しても本製品が動作しない、または反応しないことがあります。以下の手順にて、プリントジョブ（印刷待ちデータ）を削除してから、再度プリントを実行してみてください。上記作業を行っても解決しない場合は、「プリント状況を確認／削除する」（→ P.5-7）を参照し、本体側でのプリントジョブも確認し、削除してみてください。

Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の場合：
1. ［CanonMF4200 Series CARPS2］のプリンタアイコンをダブルクリックします。
   - Windows Vista の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プリンタ］をクリックします。
   - Windows 2000の場合は、Windowsのタスクバーの［スタート］→［設定］→［プリンタ］をクリックします。
   - Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［プリンタと FAX］をクリックします。
   - Windows XP Home Edition の場合は、Windows のタスクバーの［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］をクリックします。
2. プリントジョブの一覧が表示されます。
   - すべてのプリントジョブを削除する場合：
［プリンタ］→［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックします。
   - 特定のプリントジョブを削除する場合：
削除したいプリントジョブを選択し右クリック→［キャンセル］をクリックします。

電話のトラブル

ダイヤルできない

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電源コードを接続し、電源を入れる」）
Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品と電源コンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップが電源に接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**主電源スイッチは入っていますか？**
A	主電源スイッチをオンにしてください。
Q	**電話回線の種類（ダイヤル／プッシュ）は正しく設定されていますか？**
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）

通話中に電話が切れる

Q	**電話回線は正しく接続されていますか？**
A	電話線コードが正しく接続されているか確認してください。（→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」）
Q	**電源コードは確実に差し込まれていますか？**
A	電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。
Q	**電話線に不具合がありませんか？**
A	別の電話線コードを使って、電話線コードが正常かどうか確認してください。

電話が通じない、または間違った番号にかかる

Q	**電話番号を入力する前に、発信音を確認しましたか？**
A	電話番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

ネットワークのトラブル

TCP/IP ネットワークから印刷できない

Q	**本製品とケーブルが正しく接続されていない。**
A	本製品がネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、本製品の電源を入れなおしてください。(→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」)
Q	**TCP/IP ネットワークが正しく設定されていない。**
A	IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。
Q	**印刷を行うコンピュータが正しく設定されていない。**
A	正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。(→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」)
A	印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、[コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] で確認できます。
Q	**印刷するファイル名が長すぎる。**
A	通常 LPR は、印刷に使用するアプリケーションソフトウェア名やファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が 255 バイト以上になると、正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

＜印刷するポート（P）＞にプリンタポート名称が表示されない

Q	**本製品とケーブルが正しく接続されていない。**
A	本製品がネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認したあと、本製品の電源を入れなおしてください。(→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」)
Q	**印刷を行うコンピュータが正しく設定されていない。**
A	正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。(→スタートアップガイド「コンピュータでのソフトウェア設定」「ネットワーク接続」または「コンピュータでのソフトウェア設定」「USB 接続」)
A	印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、[コントロールパネル] の [プリンタと FAX] または [プリンタ] で確認できます。

リモート UI やユーティリティソフトウェアで本製品を認識できない

Q	**SNMP のコミュニティ名が異なっている。**
A	本製品に設定されている SNMP のコミュニティ名と異なるコミュニティ名でユーティリティソフトウェアから本製品にアクセスすると、本製品を認識できません。SNMP のコミュニティ名を確認してください。(→ SNMP：P.6-5)

電力供給が止まったら

突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約 10 分間保存されます。電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

- 送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 外付け電話機を使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機を使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

メモ

内蔵バッテリを完全に充電するには主電源を入れてから約 6 時間かかります。充電が不十分だとメモリ内にデータがきちんと保存されない場合があります。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センター（巻末参照）にご連絡ください。
ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- 製品名（Satera MF4270）
- シリアル番号（本体裏面のラベルに記載されています）
- 購入先
- トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。

メモ

ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

11付録

各種機能を登録／設定する

設定メニューから機能内容を設定／変更することができます。現在の設定内容を確認するには、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押して＜レポート　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄−］または［+►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。
4. ［◄−］または［+►］を押して＜ユーザ　データリスト＞を選択し、［OK］を押します。

   プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。

設定メニューを使う

1. ［初期設定／登録］を押します。
2. ［◄−］または［+►］を押してメニューを選択し、［OK］を押します。

   ＜ヨウシ　セッテイ＞
   ＜オンリョウ　チョウセイ＞
   ＜ドウホウ＞
   ＜キョウツウ　シヨウ　セッテイ＞
   ＜コピー　シヨウ　セッテイ＞
   ＜ファクスセッテイ＞
   ＜アテサキヒョウ　シヨウセッテイ＞
   ＜プリント　セッテイ＞
   ＜タイマー　セッテイ＞
   ＜チョウセイ／　クリーニング＞
   ＜レポート　セッテイ＞
   ＜システム　カンリ　セッテイ＞

3. ［◄−］または［+►］を押してサブメニューを選択し、［OK］を押します。

   メモ

   サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」（→ P.11-4）を参照してください。

4. 設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、［OK］を押します。
5. 終了したら、［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

   メモ

   - ［OK］の前に［ストップ／リセット］を押した場合は、設定内容は保存されません。
   - ［初期設定／登録］を押して直前の画面に戻ります。

メニューの設定内容

以下の項目を設定できます。

メモ
以下、表中の**太字**は工場出荷時の設定です。

用紙設定

設定項目	設定内容
1 カセット	用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 (→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13)
1. ヨウシ　サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 (**A4**、B5、A5、エグゼクティブ、ヨウガタ　4 ゴウ、ヨウガタ　2 ゴウ、ハガキ、オウフクハガキ、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、GOVERNMENT-LETTER、GOVERNMENT-LEGAL、FOOLSCAP、LTR、LGL)
2. ヨウシノ　シュルイ	用紙カセットで使用する用紙の種類を選択します。 (**フツウシ**、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H、OHP　フィルム)
2 テザシトレイ	手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 (→用紙のサイズと種類を設定する：P.2-13)
1. ヨウシ　サイズ	手差しトレイにセットした用紙のサイズを選択します。 (**A4**、B5、A5、エグゼクティブ、ヨウガタ　4 ゴウ、ヨウガタ　2 ゴウ、ハガキ、オウフクハガキ、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、GOVERNMENT-LETTER、GOVERNMENT-LEGAL、FOOLSCAP、LTR、LGL)
2. ヨウシノ　シュルイ	手差しトレイで使用する用紙の種類を選択します。 (**フツウシ**、フツウシ L、アツガミ、アツガミ H、OHP　フィルム)

音量調整

設定項目	設定内容
1 ツウシン　オンリョウ	ファクス送信中の通信音を設定します。(0 ～ 3（**2**))
2 ニュウリョクオン	操作パネルキーの入力音を設定します。(0 ～ 3（**2**))
3 ケイコクオン	送信失敗などのエラーが起きたときの警告音を設定します。 (0 ～ 3（**2**))

同報

設定項目	設定内容
1 ドウホウ	同報送信の宛先を指定します。1 度に 124 件まで指定できます。(→同報送信：P.4-15)

共通仕様設定

設定項目	設定内容
1 ショキキノウノ　セッテイ	電源を入れたときに表示される待受画面を選択します。 ・ **コピー** ・ ファクス ・ スキャン
2 トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON * この機能は、プリントジョブについては無効になります。

コピー仕様設定

設定項目	設定内容
1 ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ	コピーの初期値を設定します。
1. ガシツ	コピーする原稿の種類を設定します。* ・ **モジ／シャシン** ・ モジ ・ シャシン ・ モジ／シャシン＋ * 濃度が＜ジドウ＞に設定されている場合、画質モードを選択すると読み取り濃度は自動的に＜シュドウ＞に切り替わります。
2. ヨミトリ　ノウド	コピー濃度を設定します。 ・ **シュドウ**（1 ～ 9（**5**）） ・ ジドウ* * ＜ジドウ＞を設定すると、画質モードは自動的に＜モジ＞に切り替わります。
3. バイリツ	コピーの倍率を設定します。
テイケイヘンバイ	用紙の規格に合わせた倍率を選択します。 （**100%**、115% B5 →A4、122% A5 →B5、129% STMT→LTR、141% A5 →A4、200% MAX.、50% MIN.、64%、70% A4 →A5、78% LGL→LTR、81% B5 →A5、86% A4 →B5）
シュドウ	1%刻みで倍率を入力します。（50% ～ 200%（**100%**））
4. ジドウソート	コピーを自動でソートするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5. リョウメン	自動的に両面コピーするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON（**ジョウゲビラキ**、サユウビラキ）
2 サイズ　ケイレツ	用紙サイズグループを選択します。* ・ **AB** ・ インチ ・ A * 用紙サイズグループを変更すると、定形変倍で選択できる拡大縮小率が切り替わります。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

ファクス設定

設定項目	設定内容
1 ジュシンモード	受信モードを選択します。（→スタートアップガイド「ファクス受信の設定」「受信モードを設定する」） ・ **ジドウ** ・ ルス TEL ・ FAX/TEL ・ シュドウ
2 キホントウロク	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ TEL バンゴウトウロク	お使いのファクス番号（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
2. ユーザリャクショウ　トウロク	発信元のユーザ名／会社名（スペースを含め最大 32 文字）を登録します。（→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」）
3. ハッシンモト　キロク	発信元情報を、各ページに印字するかどうかを設定します。 ・ **ON*** ＊ ＜ ON ＞を設定すると、＜ユーザ TEL バンゴウトウロク＞と＜ユーザリャクショウ　トウロク＞に登録した情報が各ページに印字されます。 ・ OFF
4. カイセン　シュルイ　センタク	電話回線の種類を自動で設定するか手動で設定するかを選択します。（→電話回線の種類：P.1-14）
ジドウ	電話回線の種類を自動で設定します。
シュドウ	電話回線の種類を手動で選択します。 ・ **プッシュカイセン** ・ ダイヤルカイセン（**20PPS**、10PPS）
5. ヒョウジュンモードノ　ヘンコウ	ファクスの初期値を設定します。
1. ヨミトリ　ノウド	ファクスの読み取り濃度を設定します。（1 ～ 9（**5**））
2. ガシツ	ファクスの画質を設定します。 ・ **ヒョウジュン** ・ ファイン ・ シャシン ・ スーパーファイン

ファクス設定	
3 ソウシン　キノウ　セッテイ	送信機能を設定します。
1. ジドウ　リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設定します。（→リダイヤル：P.4-17）
ON	リダイヤル方法を設定します。
リダイヤル　カイスウ	何回リダイヤルするかを設定します。（1 回～ 10 回（**2 回**））
リダイヤル　カンカク	リダイヤルまでの時間を設定します。（2 分～ 99 分（**2 分**））
OFF	リダイヤルしません。
2. ダイヤルジカイセン　カクニン	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
4 ジュシン　キノウ　セッテイ	受信機能を設定します。
1. F/T　ショウサイ　セッテイ	＜ FAX/TEL ＞モードの詳細項目を設定します。（→ファクス／ TEL 詳細設定：P.4-21）
ヨビダシ　カイシ　ジカン	着信に応答してから呼び出し音を鳴らすまでの時間を設定します。（4 秒～ 30 秒（**6 秒**））
ヨビダシ　ジカン	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。（10 秒～ 45 秒（**22 秒**））
ヨビダシゴノ　ドウサ	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終了するかを設定します。 ・ **ジュシン** ・ シュウリョウ
2. チャクシン　ヨビダシ	＜ジュシンモード＞が＜ジドウ＞に設定されている場合、外付け電話機の呼び出し音を鳴らすようにするかどうかを設定します。 この設定を＜ ON ＞にした場合、ファクス受信時は、呼び出し音でファクスを受信したことがわかるようになります。電話着信時は、外付け電話機が鳴っている間に受話器を取れば、相手と通話できます。
ON	外付け電話機が接続されている場合は、呼び出し音を鳴らします。
ヨビダシ　カイスウ	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。（1 回～ 16 回（**2 回**））
OFF	呼び出し音は鳴りません。（スリープモードに入っているときに、外付け電話機が鳴る場合があります。）
3. リモート　ジュシン	リモート受信するかどうかを設定します。（→リモート受信：P.4-25）
ON	リモート受信します。
リモート　ジュシン　ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することができます。 0 ～ 9 を使用した 2 桁の ID が設定できます。（初期値：**25**）
OFF	リモート受信しません。

ファクス設定	
4. ジュシン　プリント	受信したファクスをすべてメモリに保存してからプリントするか、受信と同時に各ページをプリントするかを設定します。（→受信した文書のプリント方法を選択する：P.4-26）
メモリジュシン	受信した文書をすべてメモリに保存してからプリントします。
プリントジュシン	受信と同時に各ページをプリントします。
5. アイテサキ　ハッシンモトキロク	相手先の発信元情報を、受信したファクスに印字するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
6. DM セイゲン	番号非通知のファクスの受信を制限できます。（→ DM 制限：P.4-26）
OFF	すべてのファクスを受信します。
ON	番号非通知のファクスは受信しません。
5 プリント　セッテイ	受信時のプリンタ機能を設定します。
1. ガゾウ　シュクショウ	受信画像がセットされている用紙よりも大きい場合に、受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。（→受信画像の縮小：P.4-27）
ON	セットされている用紙のサイズに合わせて画像を縮小します。
OFF	画像を縮小しません。
ガゾウ　ショウリャク	用紙サイズからはみ出す部分を最大 24mm まで省略してプリントします。
2. リョウメンキロク	受信画像を用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。（→両面印刷：P.4-27） ・ **OFF** ・ ON
3. インジケイゾク	トナーが残り少なくなった場合にプリントを継続するかどうかを設定します。受信したファクスおよびレポートのプリント時にのみ有効です。（→トナーカートリッジの交換時期：P.9-8） ・ **OFF** ・ ON

宛先表仕様設定

設定項目	設定内容
1 ワンタッチ　ダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。8 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.4-6)
ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
デンワバンゴウ	相手先のファクス／電話番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。
2 タンシュク　ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。100 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤルを登録／編集する：P.4-6)
ナマエ	相手先の名前（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
デンワバンゴウ	相手先のファクス／電話番号（スペースを含め最大 50 桁）を登録します。
3 グループ　ダイヤル	グループダイヤルを登録します。グループダイヤルは 8 件まで登録できます。1 つのグループダイヤルには最大 50 件まで宛先を登録できます。(→グループダイヤルに宛先を登録する：P.4-8)
ナマエ	グループ名（スペースを含め最大 20 文字）を登録します。
NO.0##=	登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの中から、グループダイヤルとして登録する宛先を指定します。

プリント設定

設定項目	設定内容
1 エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまでの時間を設定します。
ON	エラータイムアウト時間を設定します。(5 秒～ 300 秒（**15 秒**）)
OFF	エラータイムアウトを設定しません。

タイマー設定

設定項目	設定内容
1 ヒヅケ／ジコク　セッテイ	現在の日付と時刻を設定します。 （→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「日付／時刻を設定する」）
2 ヒヅケ／ジコク　タイプ	日付／時刻タイプ日付の表示形式を設定します。 ・ **YYYY MM/DD** ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
3 オートスリープ	本製品が一定時間（3 分〜 30 分（**5 分**））使用されない場合に、自動的にスリープモードに入るかどうかを設定します。 （→スリープモードを設定する：P.1-15） ・ **ON** ・ OFF

調整／クリーニング

設定項目	設定内容
1 テイチャクキノ　クリーニング	定着器ローラをクリーニングします。 （→定着器のお手入れ：P.9-5）
2 トクシュモード T	コピー、受信記録、レポートの印刷時に、印字のにじみを防ぐかどうかを設定をします。 この設定を< ON >にした場合、印字濃度が薄くなる可能性があります。 ・ **OFF** ・ ON
3 トクシュモード U	高温多湿、または低温低湿環境での印字品質を改善します。
OFF	通常環境では、この設定を使用します。
モード 1	低温低湿環境での印字品質を改善する場合に設定します。 また厚紙や封筒、はがきなど使用時の印字品質を改善する場合に設定します。
モード 2	高温多湿環境での印字品質を改善する場合に設定します。
4 トクシュモード V	小型用紙（B5、A5、エグゼクティブなど）がプリント中にカールするのを防ぐかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON

調整／クリーニング	
5 トクシュモード Y	低温環境でのトナーの定着を改善する場合に設定します。 この設定を< ON >にした場合、最初のコピーにかかる時間と、スリープモードから復帰するのにかかる時間が長くなります。 ・ **OFF** ・ ON

レポート設定

設定項目	設定内容
1 シヨウセッテイ	レポート設定を設定します。 (→レポート／リストの概要：P.11-16)
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。
エラージノミ　プリント	エラー時のみ、レポートをプリントします。
プリントシナイ	レポートをプリントしません。
プリントスル	原稿を送信するごとにレポートをプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントシナイ** ・ プリントスル ・ エラージノミ　プリント
3. ツウシンカンリ　レポート	60 回通信するごとに、通信管理レポートを自動的にプリントするかどうかを設定します。 ・ **プリントスル** ・ プリントシナイ
2 リストプリント	各種レポート／リストをプリントします。
1. ソウシンケッカ　レポート	送信結果レポートを手動でプリントします。
2. ジュシンケッカ　レポート	受信結果レポートを手動でプリントします。
3. ツウシンカンリ　レポート	通信管理レポートを手動でプリントします。
4. メモリデータ　リスト	メモリに保存されているジョブの一覧をプリントします。
5. メモリイメージ　プリント	予約されているジョブの情報と最初のページをプリントします。
6. ワンタッチ　ダイヤル　リスト	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。
7. タンシュク　ダイヤル　リスト	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧をプリントします。

レポート設定	
8. グループ　ダイヤル　リスト	グループダイヤルに登録されたグループの一覧をプリントします。
9. ユーザ　データ　リスト	メニューで登録した設定一覧をプリントします。(→ユーザデータリストをプリントする：P.11-3)

システム管理設定	
設定項目	**設定内容**
1 システムカンリシャ　セッテイ	<システム　カンリ　セッテイ>の内容を保護するため、システム管理者についての情報を設定します。暗証番号を設定すると、<システム　カンリ　セッテイ>に接続するたびに暗証番号を入力する必要があります。
1. カンリ　アンショウバンゴウ	システムパスワード 7 桁を登録します。
2 ネットワーク　セッテイ	ネットワーク設定を行います。(→第 6 章 ネットワーク)
1. TCP/IP セッテイ	TCP/IP ネットワークを設定します。
1. IP アドレス　ジドウシュトク	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。
ON	IP アドレスが自動的に割り当てられます。 ・ 1. DHCP (**ON**/OFF) ・ 2. BOOTP (**OFF**/ON) ・ 3. RARP (**OFF**/ON)
OFF	IP アドレスを手動で割り当てます。
2. IP アドレス	固定 IP アドレスを登録します。(初期値：**000.000.000.000**) (→ IP アドレス設定：P.6-3)
3. サブネット　マスク	固定サブネットマスクを登録します。 (初期値：**000.000.000.000**)
4. ゲートウェイアドレス	固定ゲートウェイアドレスを登録します。 (初期値：**000.000.000.000**)
5. LPD インサツ	プリント用アプリケーションに LPD を使うかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
6. RAW インサツ	プリント用アプリケーションに RAW を使うかどうかを設定します。
ON	RAW を使用します。
OFF	RAW を使用しません。

システム管理設定	
7. HTTP ヲ　シヨウ	リモート UI に対して HTTP（HyperText Transfer Protocol）を有効にするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
8. ポートバンゴウ　セッテイ	ポート番号を設定します。
1. LPD	0 ～ 65535（初期値：**515**）
2. RAW	0 ～ 65535（初期値：**9100**）
3. HTTP	0 ～ 65535（初期値：**80**）
4. SNMP	0 ～ 65535（初期値：**161**）
2. SNMP　セッテイ	SNMP の詳細を設定します。
1. SNMP ヲ　シヨウ	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 ・ **ON** ・ OFF
2. コミュニティメイ 1	SNMP コミュニティ名 1（初期値：**public**）を設定します。
3. コミュニティメイ 2	SNMP コミュニティ名 2 を設定します。
4. SNMP　カキコミ　カノウ　1	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **ON** ・ OFF
5. SNMP　カキコミ　カノウ　2	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定を変更できるようにします。 ・ **OFF** ・ ON
3. ETHERNET ドライバ	ネットワークの接続タイプを指定します。
1. ジドウ　ケンシュツ	Ethernet ドライバの検出方法を選択します。
ジドウ	通信モード（半二重／全二重）および Ethernet の種類（10Base-T/100Base-TX）を自動的に検出するよう設定します。
シュドウ	通信モードと Ethernet の種類を手動で設定します。
1. ツウシン　ホウシキ	通信モードを選択します。 ・ **ゼンニジュウ** ・ ハンニジュウ

システム管理設定	
2. ETHERNETノ　シュルイ	Ethernet の種類を選択します。 ・ **100　BASE-TX** ・ 10　BASE-T
2. MAC アドレス	MAC アドレスを確認します。
4. IP アドレス　カクニン	現在のネットワーク設定を確認します。
1. IP アドレス	IP アドレスを確認します。
2. サブネット　マスク	サブネットマスクを確認します。
3. ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを確認します。
5. キドウジカンノ　セッテイ	本製品がネットワーク通信を開始するのを遅らせる時間を設定します。（0 秒～ 300 秒（**60 秒**））
3 ツウシン　カンリセッテイ	ファクス機能を設定します。
1. メモリジュシン　セッテイ	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないようにするかどうかを設定します。（→メモリ受信：P.4-24）
OFF	メモリ受信を無効にします。
ON	メモリ受信を有効にします。
1. パスワード	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号を登録します。
2. ジカン　シテイ	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。
OFF	メモリ受信の時間を設定しません。
ON	メモリ受信の時間を設定します。 ・ カイシジコク（初期値：**00:00**） ・ シュウリョウジコク（初期値：**00:00**）
4 ソウシンキノウノ　セイゲン	宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。
1. リダイヤルノ　セイゲン	［リダイヤル／ポーズ］を押してリダイヤルする機能を無効にするかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
2. ファクス NO. カクニンニュウリョク	ファクスを送信するときに、入力したファクス番号を確認するかどうかを設定します。 ・ **OFF** ・ ON
5 ファームウェア　コウシン	本製品のファームウェアをバージョンアップする必要がある場合に実行します。

レポート／リストの概要

本製品で、以下のレポートとリストをプリントできます。

レポート／リスト	説明
グループダイヤルリスト	グループダイヤルに登録された宛先の一覧です。
受信結果レポート	受信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
送信結果レポート	送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧です。
通信管理レポート	最新 60 件の送受信履歴です。
メモリイメージプリント	予約されているジョブの情報と最初のページをプリントします。
メモリクリアレポート	電極供給が止まったためにメモリから削除された文書の一覧です。手動ではプリントできません。
メモリデータリスト	メモリに保存されているジョブの一覧です。
ユーザデータリスト	現在の設定の一覧および登録された発信元情報です。
ワンタッチダイヤルリスト	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧です。

レポートを自動でプリントする

送信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを自動でプリントするよう設定することができます。

メモ

レポートのプリントには以下の用紙を使用してください。

- 用紙サイズ：A4、オフィシオ、ブラジルーオフィシオ、メキシコーオフィシオ、フォリオ、ガヴァメントーレター、ガヴァメントーリーガル、FOOLSCAP、レター、リーガル

送信結果レポート

工場出荷時の初期値は＜エラージノミ　プリント＞に設定されています。

レポートのサンプルは、「送信結果レポート」（→ P.11-20）を参照してください。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄−］または［+►］を押して＜レポート　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄−］または［+►］を押して＜ショウセッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄−］または［+►］を押して＜ソウシンケッカレポート＞を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄−］または［+►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。**

＜エラージノミ　プリント＞：送信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。
＜プリントスル＞：原稿を送信するたびにレポートをプリントします。
＜プリントシナイ＞：レポートをプリントしません。

6. **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

レポート項目

送信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- **ウケツケ NO.：受付番号**
- **ツウシンモード：通信モード（G3/ECM）**
- **NO.：通信番号**
- **アイテサキ：相手先の名前／番号**
- **カイシジコク：通信した日付と時刻**
- **ページ：送信ページ数**
- **ツウシンケッカ：通信結果**
  - OK：通信は正常に終了しました。
  - NG：通信できませんでした。
  - STOP：終了前に通信が手動でキャンセルされました。
  - オウトウナシ：相手先から応答がありませんでした。
  - カミヅマリ：手動で送信中に ADF で紙づまりが起きました。
- **エラーコード：エラーコードの詳細については、「エラーコード」（→ P.10-17）を参照してください。**

受信結果レポート

工場出荷時の初期値は<プリント　スル>に設定されています。
レポートのサンプルは、「受信結果レポート」（→ P.11-20）を参照してください。

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄−］または［+►］を押して<レポート　セッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄−］または［+►］を押して<ショウセッテイ>を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄−］または［+►］を押して<ジュシンケッカ　レポート>を選択し、［OK］を押します。**

5. **［◄−］または［+►］を押して設定項目を選択し、［OK］を押します。**

<プリントシナイ>：レポートをプリントしません。
<プリントスル>：原稿を受信するたびにレポートをプリントします。
<エラージノミ　プリント>：受信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。

6. **［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。**

レポート項目

受信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- **ウケツケ NO.：受付番号**
- **ツウシンモード：通信モード（G3/ECM）**
- **NO.：通信番号**
- **アイテサキ：相手先の名前／番号（本製品に登録されている場合のみ表示）**
- **カイシジコク：通信した日付と時刻**
- **ページ：受信ページ数**
- **ツウシンケッカ：通信結果**
  - OK：受信は正常に終了しました。
  - NG：受信できませんでした。
  - STOP：終了前に受信が手動でキャンセルされました。
  - メモリフル：受信中にメモリがいっぱいになりました。
- **エラーコードの詳細については、「エラーコード」（→ P.10-17）を参照してください。**

通信管理レポート

工場出荷時の初期値は＜プリント　スル＞に設定されています。
レポートのサンプルは、「通信管理レポート」（→ P.11-21）を参照してください。

1. [初期設定／登録] を押します。

2. [◄−] または [+►] を押して＜レポート　セッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

3. [◄−] または [+►] を押して＜ショウセッテイ＞を選択し、[OK] を押します。

4. [◄−] または [+►] を押して＜ツウシンカンリ レポート＞を選択し、[OK] を押します。

5. [◄−] または [+►] を押して希望の設定を選択し、[OK] を押します。

＜プリントスル＞：60 通信ごとにレポートをプリントします。
＜プリントシナイ＞：レポートをプリントしません。

6. [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

レポート項目

通信管理レポートには、以下の項目が表示されます。

- NO.：通信番号（01 ～ 60）
- ウケツケ NO.：受付番号
- カイシジコク：通信した日付と時刻
- ツウシンモード：通信モード（G3/ECM）
- アイテサキ：相手先の名前／番号
- ページ：送信／受信ページ数
- ツウシンケッカ：通信結果
  - OK：受信は正常に終了しました。
  - NG：受信できませんでした。
- エラーコードの詳細については、「エラーコード」（→ P.10-17）を参照してください。

レポートサンプル

以下のレポートを自動でプリントできます。

送信結果レポート

2007 12/31 20:33 123XXXXXXX ｷﾔﾉﾝ P.001

****
*** ｿｳｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

ｳｹﾂｹNO.	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ
0008	ｿｳｼﾝ ECM	001	ｷﾔﾉﾝ ﾄｳｷｮｳ 333XXXXXXX	12 / 31 17:18	001	OK 00 ' 18

受信結果レポート

2007 12/31 20:33 123XXXXXXX ｷﾔﾉﾝ P.001

****
*** ｼﾞｭｼﾝｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ ***
****

ｳｹﾂｹNO.	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	NO.	ｱｲﾃｻｷ	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ
0010	ｼﾞｭｼﾝ G3	001		12 / 31 20:15	001	OK 00 ' 33

通信管理レポート

2007 12/31 20:34 123XXXXXXX　　　ｷﾔﾉﾝ　　　P.001

****
***　　ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ　　***
****

NO.	ｳｹﾂｹNO.	ｶｲｼｼﾞｺｸ	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ		ｱｲﾃｻｷ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｹｯｶ	
01	0001	12/31 15:50	ｿｳｼﾝ	ECM	333XXXXXXX	001	OK	00 ' 17
02	0002	12/31 15:57	ｿｳｼﾝ	G3	ｷﾔﾉﾝ ﾎﾝｼｬ 111XXXXXXX	000	NG 00A0	00 ' 00
03	0003	12/31 16:00	ｼﾞｭｼﾝ	ECM		001	OK	00 ' 25
04	0004	12/31 16:03	ｼﾞｭｼﾝ	ECM	111XXXXXXX	002	OK	00 ' 48
05	0005	12/31 16:06	ｿｳｼﾝ	ECM	333XXXXXXX	002	OK	00 ' 20
06	0006	12/31 16:14	ｿｳｼﾝ	G3	222XXXXXXX	000	NG 00FF	00 ' 00
07	0007	12/31 17:16	ｿｳｼﾝ	ECM	333XXXXXXX	001	OK	00 ' 14
58	0058	12/31 20:00	ｿｳｼﾝ	ECM	333XXXXXXX	001	OK	00 ' 18
59	0059	12/31 20:04	ｼﾞｭｼﾝ	G3		001	OK	00 '34
60	0060	12/31 20:15	ｼﾞｭｼﾝ	G3		001	OK	00 '33

レポート／リストを手動でプリントする

以下のレポートとリストを手動でプリントできます。

- 送信結果レポート
- 受信結果レポート
- 通信管理レポート
- メモリデータリスト
- メモリイメージプリント
- ワンタッチダイヤルリスト
- 短縮ダイヤルリスト
- グループダイヤルリスト
- ユーザデータリスト
  メモリにデータが何も登録されていない場合は、ディスプレイに＜データガ　アリマセン＞と表示されます。

メモ

- 各レポートとリストの情報は、「レポート／リストの概要」（→ P.11-16）を参照してください。
- レポートのプリントには以下の用紙を使用してください。
  - 用紙サイズ：A4、オフィシオ、ブラジルーオフィシオ、メキシコーオフィシオ、フォリオ、ガヴァメントーレター、ガヴァメントーリーガル、FOOLSCAP、レター、リーガル

1. **［初期設定／登録］を押します。**

2. **［◄−］または［+►］を押して＜レポート　セッテイ＞を選択し、［OK］を押します。**

3. **［◄−］または［+►］を押して＜リストプリント＞を選択し、［OK］を押します。**

4. **［◄−］または［+►］を押してレポートまたはリストを選択し、［OK］を押します。**

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。

メモリ残量を確認する

本製品の状態に応じたメモリ残量を確認できます。

1. [システムモニタ] を押します。

2. [◄−] または [+►] を押して<メモリ　ザンリョウ>を選択し、[OK] を押します。

例)

```
メモリ　ザ゛ンリョウ
                75%
```

3. [ストップ/リセット]を押して待受画面に戻ります。

プリント／スキャンのカウントを確認する

1. ［システムモニタ］を押します。
2. ［◄－］または［＋►］を押して<カウントヒョウジ>を選択し、［OK］を押します。
3. ［◄－］または［＋►］を押してプリントまたはスキャンのカウント数を確認します。
4. ［ストップ／リセット］を押して待受画面に戻ります。

用語集

数字

10Base-T

Ethernet の規格で、ツイストペアケーブルを使用します。「10」は伝送速度が 10Mbps（1 秒間 10 メガ bit）であることを表しています。

100Base-TX

Fast Ethernet の規格で、2 つのツイストペアからなるカテゴリ 5（データグレード）の UTP ケーブルを使用します。「100」は伝送速度が 100Mbps（1 秒間 100 メガ bit）であることを表しています。

A

ADF

自動給紙装置のことです。送信、コピー、およびスキャンする原稿を給紙します。

ASCII コード

米国規格協会が定めたデータ通信用の英数字のコード体系の 1 つです。7bit で 1 文字の数字、アルファベット、制御符号を表現します。

B

BOOTP（BOOTstrap Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のサーバから各パソコンがネットワーク設定情報を自動的に取得するためのプロトコルです。BOOTP を利用すると、ホスト名、ドメイン名、IP アドレスなどを各パソコンが自動的に検出できます。

bps

1 秒あたりのビット数です。ファクス機のデータ送受信速度を表します。

C

CNG

ファクス機が送信する信号で、ファクスの着信であることを識別します。受信機がこの信号を検出すると、ファクスの受信を自動的に開始します。ほとんどのファクス機は、CNG 信号を送信／検出します。

D

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のパソコンのネットワーク設定を自動的に行うプロトコルです。インターネットの標準プロトコルである TCP/IP のセットアップに必要な設定の多くは自動設定が可能です。

DNS（Domain Name System）

TCP/IP ネットワーク環境において、ホスト名から、対応する IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

DNS サーバ

ドメインネームシステムサーバ。IP アドレスとサーバのドメイン名との対応関係を記述したデータベースを管理し、要求に応じてホストサーバ名（例えば、www.w3.org）からその IP アドレス（例えば、18.176.0.27）を参照できるようにします。このため、クライアントは覚えにくい IP アドレスではなく、ホストサーバ名を指定してネットワークにアクセスすることができます。

dpi

1 インチあたりのドット数（dots per inch）で、プリンタの解像度を表す単位です。

E

ECM

エラー訂正モードです。ECM 対応ファクス機からの送受信の際に、システムやラインエラーを軽減する機能です。ECM は、電話回線の状態が良くない場所、または回線に干渉が頻発する場合に特に効果的です。

F

FAX/TEL 切り替え

この機能を使って、着信が電話かファクスかを自動的に検出するよう設定できます。着信がファクスの場合は、自動的に受信します。着信が電話の場合は、着信音が鳴ります。この機能を使って、1 本の電話回線で電話とファクスが利用できます。

お使いになる前に 1
原稿と用紙の取り扱い 2
コピー 3
送信と受信 4
プリントとスキャン 5
ネットワーク 6
リモート UI 7
システム管理設定 8
日常のメンテナンス 9
困ったときには 10
付録 11
目次
索引

G

G3、グループ 3 ファクス機

CCITT/ITU-T による定義です。送信に必要なデータ量を減らして画像を送信するエンコード方式を採用しています。このため、送信時間が短くなります。G3 ファクス機は、1 ページを 1 分以内で送信できます。G3 ファクス機で利用するエンコード方式は、Modified Huffman (MH)、Modified READ (MR)、Modified Modified READ (MMR)、および Joint Bi-level Image expert Group (JBIG*) です。

* 本製品は、JBIG 圧縮形式に対応していません。

H

HTTP（Hypertext Transfer Protocol）

サーバと各パソコンの通信に使用される TCP/IP プロトコルです。HTML (Hyper Text Markup Language) 形式のドキュメントをインターネット上で転送するために使用されます。

I

IP アドレス（Internet Protocol address）

インターネット上でパソコンを特定するために用いられる32ビットの数値によるアドレスです。128.121.4.5 のようにピリオドで 4 つに区切って記述します。

ITU-T

国際電気通信の標準を策定する委員会です。

L

LAN（Local Area Network）

同じ建物または比較的近い場所にあるサーバ、ワークステーション、パソコンを接続して構築されるネットワークシステムです。

LPD（Line Printer Daemon）

印刷ジョブの流れを制御するデーモンです。Daemon（デーモン）は特定のタスクを実行するため自動的に実行されるプログラムです。

LPR（Line PRinter daemon protocol）

TCP/IP ネットワークを経由して印刷を行うプロトコルです。

M

MAC アドレス（Media Access Control address）

LAN に接続されたパソコン、ネットワークプリンタなどのネットワークアダプタに割り当てられた固有のハードウェアアドレスです。

N

NetSpot

パソコン側からプリント環境の統一的管理・設定ができるキヤノンのネットワークプリンティング管理ソフトです。

P

PDF（Portable Document Format）

Adobe 社の提唱する業界標準のフォーマットです。さまざまなアプリケーションデータやイメージデータを、Adobe Acrobat を使用して圧縮した形式です。Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader（無償）で参照でき、異なるアプリケーションで作成した文書でも、元のレイアウトを維持したまま表示することが可能です。PDF ファイル形式の文書にはテキストやグラフィック、画像など複数の要素を含めることができます。

R

RARP（Reverse Address Resolution Protocol）

ネットワークアダプタのアドレス（MAC アドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。

RAW

Windows 2000/XP/Server 2003で用いられる印刷アプリケーションです。LPD より高速で印刷できます。

S

SMB（Server Message Block）

IBM、Intel、Microsoft が共同で開発した、ネットワーク上のコンピュータ間の通信プロトコルで、Windows ネットワークもこれを利用しています。ファイルサービスやプリントサービスを実現するためのネットワークプロトコルです。

SNMP（Simple Network Management Protocol）

TCP/IP ネットワークにおいて、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

Spool（Simultaneous Peripheral Operations On-Line）

プリンタ出力やファクス送信などにおいて、データを直接プリンタやモデムに送るのではなく、一時的に別の場所に貯めておき、あとでまとめて周辺機器に送信することです。

T

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットや WAN に接続するためのプロトコルです。

U

URL（Uniform Resource Locator）

インターネット上のウェブページなどの場所を特定する標準的な方法です。http://www.w3.org/default.html のように記述します。“http:” はウェブページでのクライアント、サーバー間の通信プロトコル、“www.w3.org” はそのウェブページが格納されているサーバのアドレス、“default.html” はそのウェブページのトップページのファイル名を意味します。

W

WAN（Wide Area Network）

遠隔地にあるコンピュータ同士（LAN 同士）を公衆回線網を使って接続したネットワークです。

あ

宛先表

宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機能です。宛先登録機能では、よく利用する宛先ファクス番号をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入力する手間を省くことができます。

イーサネット

複数のパソコンを接続するための業界標準 LAN システムです。イーサネットでは、複数のパケットに分割された状態でデータが転送されるため、パケットが他のパケットと衝突することなくスムーズに宛先のパソコンに届けられます。

インターネットプロトコル（Internet Protocol: IP）

インターネット上をデータがどのように転送されるかを記述したネットワーキングの一連の基本ルールです。インターネットプロトコルによってあるパソコンからのデータがパケットに分割され、特定の IP アドレスを持つ別のパソコンに届くようになります。

インタフェース

2 台のデバイスがお互いに通信できるようにする、デバイス間の接続を指します。本製品には USB インタフェースが搭載され、IBM や互換機に対応しています。

インタフェースケーブル

プリンタとコンピュータを接続するケーブルです。

インタフェースポート

本製品の背面にUSBポートが1つ搭載されています。本製品とコンピュータの接続にはこのポートにケーブルをつなぎます。

か

カーソル

本製品に番号や名前を登録するときに、ディスプレイに表示される、下線の記号です。

解像度

出力装置のドットの密度です。dpi で表します。解像度が低いと、文字や画像が荒く見えます。解像度が高いと、丸みや角がなめらかで、通常の活字のように見えます。解像度は、600 × 600dpi のように横と縦のデータで表されます。

給紙

用紙を本製品の用紙パスに送りこむことです。

クッキー（Cookie）

ウェブサイトにアクセスしたときに、ユーザのパソコンに記憶されるファイルです。再度そのウェブサイトにアクセスしたときに、以前にもアクセスしたユーザであることがクッキーによって分かるため、サイトに自動的にアクセスしたり、サイトの機能をカスタマイズしたりするときに使われます。

グループダイヤル

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録済みの各宛先を、グループとしてまとめて指定できます。同じ原稿を複数の相手先に送信する場合、1 回のキー操作で複数の宛先を指定できます。

ゲートウェイアドレス

ネットワークまたはウェブサイトの既定のアドレスです。単一のドメイン名とサイト入口が提供されます。

原稿

送受信データを含む文書全般を指します。

コミュニティ名

SNMP のための識別キーワードです。

さ

サブネット

IP アドレスはネットワークアドレス番号とホストアドレス番号から構成されており、そのうちネットワークアドレスをさらに分割したものです。

サブネットマスク

TCP/IP ネットワーク上で、ある IP アドレスがどの下位グループ（サブネット）に属するかを決める方法です。同じサブネットに属するデバイスは、IP アドレスのプリフィクスが共通しています。ネットワークをサブネットに分割すると、セキュリティとパフォーマンスの両面で効果的です。

自動リダイヤル

ファクスの相手先が話し中または応答しない場合、あるいは送信中にエラーが発生した場合、一定の時間をおいて同じ番号に自動的にダイヤルします。

シャシン

中程度の色調で、写真などの原稿を送信またはコピーするときの設定です。

受信

文書を受け取ることです。本製品では、複数のファクス受信方法の中からカスタマイズすることができます。

手動受信

外付け電話機を使ってすべての着信に応答する、ファクス受信方法です。受話器を取り、［スタート］を押してファクスを受信します。

スイッチングハブ

スイッチング機能が追加されたハブです。受信したパケットの送信先アドレスと内部のアドレステーブルを照らし合わせ、送信先の端末がつながっているポートにのみパケットを送出します。

スピードダイヤル

キーを数回押すだけで宛先を指定します。スピードダイヤルを使用するには、本製品に宛先を登録する必要があります。ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルも参照してください。

送信

文書を送ることです。本製品では、ファクス機能を使い、原稿をスキャンして送信することができます。

送信速度

電話回線を介してファクスが送られる速度です。bps も参照してください。

た

ダイヤル回線

ダイヤル発信信号をパルス信号で電話交換システムに送ります。

短縮ダイヤル

［短縮ダイヤル］とテンキーを使って 2 桁の番号を押すだけで、宛先を指定します。

通常ダイヤル

テンキーを使って、宛先を指定します。

通信管理レポート

本製品で送受信された通信の記録です。

テンキー

操作パネル上の数字が書いてある丸いキーで、通常の電話機のキーと同じ配置です。

通常のダイヤルには、テンキーを使います。名前の登録や、短縮ダイヤル番号の入力にも使用します。

転送

受信したファクスを、ほかの宛先に転送することです。例えば、オフィスのコピープリンタで受信した文書を、自宅の宛先に転送することができます。

トーンキー

ダイヤル発信から一時的にトーン発信に切り替えることができるキーです。オンラインデータサービスを利用するには、トーン発信が必要なことがあります。

同報送信

1 回の操作で、複数の相手先に原稿を送信します。（本製品のメモリを利用します。）

登録

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルを利用して、よくかける相手先を簡単に指定できるよう、本製品のメモリにファクス番号や名前などを保存する処理のことです。

トナー

トナーカートリッジに入っている、黒い樹脂コートされた粉末のことです。本製品の内部にある感光性ドラムの表面に、静電記録式の仕組みを利用してトナーを付けてプリントします。

トナー節約

印字品質をわずかに落として、トナーの消費量を少なくする機能です。

は

ファイル形式（TIFF、PDF、JPEG）

画像データの保存に用いるファイルフォーマットです。本製品では JPEG、PDF、TIFF の 3 つのファイルフォーマットに対応しています。

ファイン

小さい文字や線のある原稿用の画質（解像度）設定です。

プッシュ回線

ダイヤルした数字をピポパという音の信号で送る種類の電話回線です。

プロキシサーバ

ファイアーウォールの内側にあるクライアントからアクセス要求（HTTP、FTP など）を受け付け、クライアントの代理を務めるサーバの総称です。

プロトコル

ネットワークを流れるデータを制御する一連のルールです。FTP、DHCP、BOOTP、RARP、IPP、TCP/IP などがあります。

ポーズ

長距離電話番号を登録する場合、または一部の電話システムや内線番号から外線にかける場合に必要な区切り時間です。[リダイヤル／ポーズ] を押すと、電話番号の間にポーズが挿入されます。

ま

待ち受け

本製品の電源が入っていて、いつでも使用できる状態のことです。

モデム

電話回線で送信するためにデジタルデータを変換するデバイスです。受信元のモデムが、変換されたデータをコンピュータが理解できるデジタル形式に変換します。

ら

リモート UI（Remote User Interface）

ネットワーク接続されたパソコンから、Internet Explorer などのウェブブラウザを使って、本製品の機能を設定したり状態を確認したりできる機能です。離れた場所から本製品を操作できるので便利です。

リモート受信

本製品から離れたところにある外付け電話機で応答して、ファクスを受信します。リモート受信には、リモート受信 ID 番号を入力する必要があります。

リモート受信 ID

外付け電話機を使ってファクスを手動で受信する場合に必要な 2 桁の番号です。

レポート

本製品でプリントされた文書で、送受信されたファクスの情報が記載されています。

ログオン

認証のためパスワードを入力して、パソコンのセッションまたはサービスへのアクセスを開始することです。

わ

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーを 1 回押すだけで、登録された宛先を呼び出します。

ワンタッチダイヤルキー

ワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルとして登録した宛先を呼び出すときに使う操作パネル上のキーです。キーを 1 回押すだけで 1 件または複数の宛先を指定することができます。

索引

わ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号） **050-555-90024**

[受付時間] 〈平日〉9:00〜20:00
〈土日祝祭日〉10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

USRM1-2051-00